

EPSON
EXCEED YOUR VISION

取扱説明書

Offirio
オフイリオ プロジェクター

EB-1960

EB-1950

EB-1940W

マニュアル中の表示の意味

• 安全に関する表示

取扱説明書および製品には、製品を安全にお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、絵表示が使われています。

その表示と意味は次のとおりです。内容をよくご理解いただいた上で本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

• 一般情報に関する表示

注意	本機の故障や損傷の原因になるおそれがある内容を記載しています。
	関連する情報や知っておくと便利な情報を記載しています。
	関連事項や、より詳しい説明を記載しているページを示しています。
	マークの前のアンダーラインの引かれた用語は、用語解説で説明しています。「付録 用語解説」をご覧ください。  「用語解説」 p.134
【表記名】	リモコンまたは操作パネルのボタン名称を示しています。 例：【戻る】ボタン
[メニュー名]	環境設定メニューの項目を示しています。 例： [画質調整]から[明るさ]を選びます。 [画質調整] - [明るさ]

マニュアル中の表示の意味 2

はじめに

本機の特長 8

かんたん、楽に設置・投写・片付け	8
USBケーブルを接続して投写（USBディスプレイ）	8
本体の動きを検知して自動的にゆがみを補正	8
スライド式ヨコ補正	8
投写のための便利な機能	8
2種類の映像を同時に投写（2画面）	8
ワイド（WXGA）スクリーンで投写情報量をアップ（EB-1940Wのみ）	9
リモコンの便利な機能	9
書画カメラで手持ちの資料を拡大投写	9
USBストレージを接続してPDF、動画、画像を投写（スライドショー）	9
充実したセキュリティー機能	9
医用画像の投写に最適なカラーモード	9
こだわりの色調整	10
ネットワークに接続してフル活用	10
ネットワークに接続してコンピューターの画面を投写	10
携帯端末の映像をネットワーク経由で投写	10
コンピューターと簡単に接続できるクイックワイヤレス	10

各部の名称と働き 11

前面/上面	11
背面	12
底面	13
操作パネル	14
リモコン	15
リモコンの電池交換	17
リモコンの操作可能範囲	18

準備

設置する 20

いろいろな設置方法	20
設置方法	20
スクリーンサイズと投写距離の目安	21

接続する 23

コンピューターの接続	23
映像機器の接続	24
USB機器の接続	25
外部機器の接続	26
LANケーブルの接続	27

基本的な使い方

投写する 30

設置から投写までの流れ	30
入力信号を自動検出して切り替える（入力検出）	31
リモコンで目的の映像に切り替える	32
USBディスプレイで投写する	32
動作環境	32
初めて接続したとき	33
アンインストール	34

投写映像を調整する 36

台形ゆがみを補正する	36
自動で補正する	36
手動で補正する	37
映像のサイズを調整する	40
映像の高さを調整する	40
水平傾斜を調整する	40
ピントのズレを補正する	40
音量を調整する	41
画質を調整する	41
色相・彩度・明度の調整	41

ガンマの調整	42
映り具合を選ぶ（カラーモードの選択）	43
オートアイリス（自動絞り）を設定する	44
投写映像のアスペクト比を切り替える	44
切り替え方法	44
アスペクトモードを切り替える	45

便利な機能

投写機能 48

2種類の映像を同時に投写する(2画面)	48
2画面で投写できる入力ソース	48
操作方法	49
2画面で投写中の制限事項	51
コンピューターを使わずに投写する（スライドショー）	52
スライドショーで投写できるファイルの仕様	52
スライドショーの利用例	52
スライドショーの操作方法	53
選択した画像、動画を投写する	55
PDFファイルを投写する	56
フォルダー内の画像ファイルを連続投写する（スライドショー）	57
シナリオを再生する	58
シナリオ再生中の操作方法	58
画像ファイルの表示設定とスライドショーの動作設定	59
映像と音声を一時的に消す（AVミュート）	60
映像を停止させる（静止）	60
説明箇所を指し示す（ポインター）	61
映像を部分的に拡大する（Eズーム）	62
リモコンでマウスポインターを操作する（ワイヤレスマウス）	63
複数台のプロジェクターから投写した時の色差補正	64
補正手順の概要	64
IDを設定してリモコンを使用する	64
補正方法	66
ユーザーロゴの登録	67

セキュリティ機能 69

利用者を管理する（パスワードプロテクト）	69
----------------------	----

パスワードプロテクトの種類	69
パスワードプロテクトの設定方法	69
パスワードの認証	70
操作を制限する（操作ボタンロック）	71
盗難防止用ロック	72
ワイヤーロックの取り付け方	72

監視と制御 73

EasyMP Monitor!について	73
Webブラウザを使って設定を変更する（Web制御）	73
本機の設定	74
Web制御画面を表示する	74
Web Remote画面を表示する	74
メール通知機能で異常を通知する	76
異常通知メールの見方	76
SNMPを使って管理する	76
ESC/VP21コマンド	77
コマンドリスト	77
ケーブル配線	77
PJLinkについて	78
Crestron RoomView®について	79
コンピューターの画面上でプロジェクターを操作する	79

環境設定メニュー

環境設定メニューの操作 84

機能一覧 85

環境設定メニュー一覧	85
ネットワークメニュー	86
画質調整メニュー	86
映像メニュー	87
設定メニュー	89
拡張設定メニュー	90
ネットワークメニュー	92
ネットワークメニュー操作上のご注意	93
ソフトキーボードの操作	93

基本設定メニュー	94
有線LANメニュー	95
メールメニュー	95
その他メニュー	97
初期化メニュー	98
情報メニュー (表示のみ)	98
初期化メニュー	99

困ったときに

ヘルプの見方	101
故障かなと思ったら	102
インジケータの見方	102
インジケータを見てもわからないとき	105
映像に関するトラブル	106
映像が表示されない	106
動画が表示されない	107
自動的に投写が消える	107
この信号は本プロジェクターでは受けられません。と表示される	107
映像信号が入力されていません。と表示される	107
ぼやける、ピントが合わない、ゆがむ	108
ノイズが入る、乱れる	109
マウスカーソルがちらつく (USBディスプレイ投写時のみ)	109
映像が切れる (大きい)、小さい、アスペクトが合っていない、反転している	110
色合いが違う	110
暗い	111
投写開始時のトラブル	112
電源が入らない	112
その他のトラブル	112
音が出ない、小さすぎる	112
リモコンで操作できない	113
メッセージやメニューの言語を変更したい	114
プロジェクターに異常が起きてもメール通知されない	114
スライドショーで画像ファイル名が正しく表示されない	114
Webブラウザを使って設定を変更できない	115

Event IDについて	116
--------------	-----

メンテナンス

各部の掃除	118
本機の掃除	118
レンズの掃除	118
エアフィルターの掃除	118
消耗品の交換方法	119
ランプの交換	119
ランプの交換時期	119
ランプの交換方法	120
ランプ点灯時間の初期化	122
エアフィルターの交換	122
エアフィルターの交換時期	122
エアフィルターの交換方法	122

付録

オプション・消耗品一覧	125
オプション	125
消耗品	125
スクリーンサイズと投写距離	126
EB-1960/EB-1950の投写距離表	126
EB-1940Wの投写距離表	127
対応解像度一覧	129
対応解像度	129
コンピューター映像 (アナログRGB)	129
コンポーネントビデオ	129
コンポジットビデオ	129
HDMI入力端子、DisplayPort入力端子からの入力信号	129

仕様一覧 131
 本機仕様 131

外形寸法図 133

用語解説 134

一般のご注意 136
 表記について 136
 商標と著作権について 137

索引 138



はじめに

ここでは、本機の特長と各部の名称について説明しています。

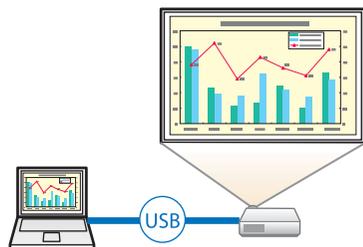
かんたん、楽に設置・投写・片付け

- コンセントの抜き差しで本機の電源をオン/オフ
- 大きなスクリーンにも短距離で投写可能
- レバー1つで簡単に高さを調整
- クールダウン不要ですばやく片付け

USBケーブルを接続して投写(USBディスプレイ)

コンピューターケーブルがなくても、USBケーブルを接続してコンピューターの画面を投写できます。

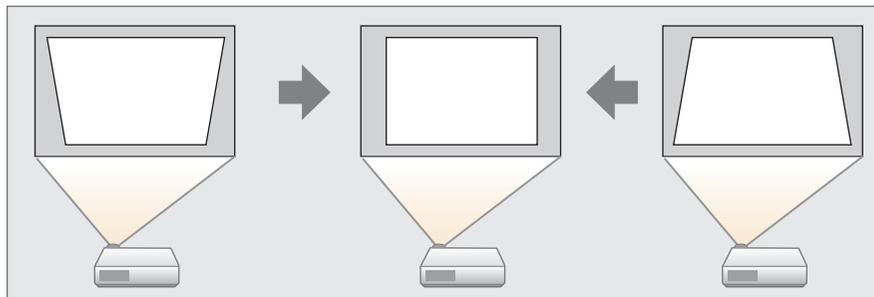
☛ 「USBディスプレイで投写する」 p.32



本体の動きを検知して自動的にゆがみを補正

プロジェクターを移動・設置したときに生じる投写映像のタテ方向の台形ゆがみを、自動的に補正して投写します。

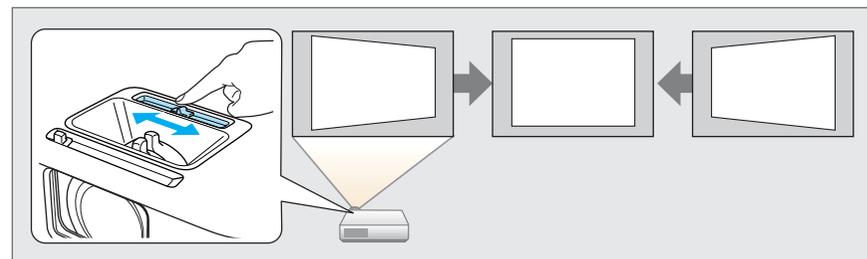
☛ 「自動で補正する」 p.36



スライド式ヨコ補正

投写映像のヨコ方向の台形ゆがみをすばやく補正できます。本機をスクリーンに対して平行に設置できないときに便利です。

☛ 「手で補正する」 p.37



投写のための便利な機能

2種類の映像を同時に投写(2画面)

投写画面を2つに分割し、2種類の映像を並べて投写します。2つの入力ソースの画像を1つのスクリーンに同時に投写して、テレビ会議やプレゼンテーションの伝達力・提案力を高めます。

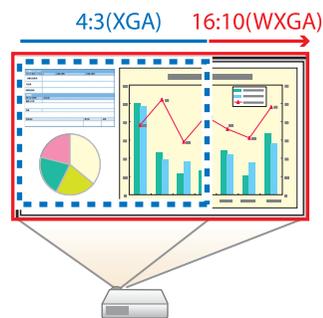
☛ 「2種類の映像を同時に投写する(2画面)」 p.48



ワイド(WXGA)スクリーンで投写情報量をアップ(EB-1940Wのみ)

16:10のWXGAワイド液晶ディスプレイを搭載したコンピューター画像をそのままのアスペクトで投写できます。ホワイトボードなどの横長のスクリーンを有効に幅広く使えます。

☛「投写映像のアスペクト比を切り替える」
p.44



リモコンの便利な機能

投写映像の部分拡大など、リモコンを使って遠隔操作ができます。その他にも、プレゼンテーション中に便利なポインターや、コンピューター用のマウスとしてリモコンを利用できます。

- ☛「説明箇所を指し示す（ポインター）」 p.61
- ☛「映像を部分的に拡大する（Eズーム）」 p.62
- ☛「リモコンでマウスポインターを操作する（ワイヤレスマウス）」 p.63

書画カメラで手持ちの資料を拡大投写

オプションの書画カメラを使うと、紙資料や立体物も投写できます。オートフォーカスでピント合わせが不要です。また、デジタルズームで拡大投写ができます。

☛「オプション」 p.125

USBストレージを接続してPDF、動画、画像を投写(スライドショー)

USBストレージやデジタルカメラを本機に接続して、保存されているファイルを投写できます。

PDF、動画、画像など多彩なファイル形式に対応しています。

☛「コンピューターを使わずに投写する（スライドショー）」 p.52

充実したセキュリティー機能

- **利用者を制限・管理するパスワードプロテクト**
パスワードを設定して、本機を使用する人を制限・管理することができます。
☛「利用者を管理する（パスワードプロテクト）」 p.69
- **操作パネルのボタン操作を制限する操作ボタンロック**
イベントや学校などで使用する際に本機の設定を無断で変更されたり、いたずらされるのを防止できます。
☛「操作を制限する（操作ボタンロック）」 p.71
- **多様な盗難防止の機構を装備**
本機には機器そのものを持ち出されないように、次の機構が備わっています。
 - セキュリティースロット
 - セキュリティーケーブル取付け部☛「盗難防止用ロック」 p.72

医用画像の投写に最適なカラーモード

エックス線写真などの医用画像を投写するためのカラーモードDICOM SIMを搭載しています。医用画像の画像規格「DICOM」に沿った画質で映像を投写できます。

(本機は医療機器ではありませんので、医療診断の用途ではご利用いただけません。)

☛ 「映り具合を選ぶ (カラーモードの選択)」 p.43

こだわりの色調整

映像の絶対色温度やRGB各色の強さの調整ができます。また、RGBCMYごとに色相、彩度、明度を調整して、細部にわたって色の調整ができます。

☛ 「画質を調整する」 p.41

ネットワークに接続してフル活用

ネットワークに接続してコンピューターの画面を投写

同梱のEasyMP Network Projection (アプリケーションソフト)を使うと、ネットワーク上のコンピューターと接続してコンピューターの画面を投写できます。

☛ 『EasyMP Network Projection操作ガイド』



携帯端末の映像をネットワーク経由で投写

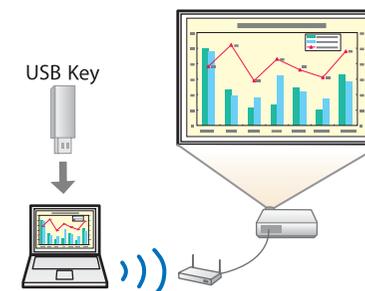
「Epson iProjection」をスマートフォンやタブレット型端末にインストールすると、端末内のデータをワイヤレスで投写できます。自由な位置から端末を操作して映像を投写できるので、会議やプレゼンテーションの幅が広がります。



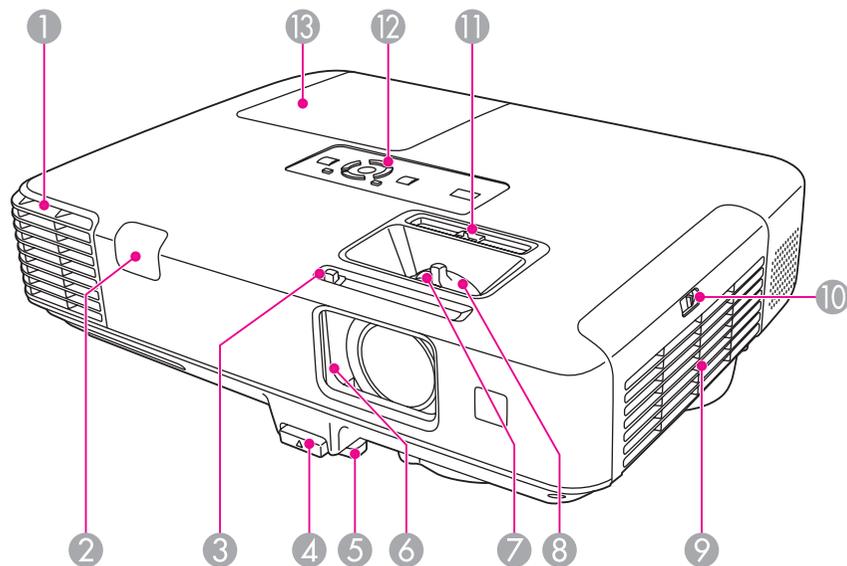
「Epson iProjection」は、App Storeから無料でダウンロードできます。App Storeへ接続する際の通信料はお客様の負担となります。

コンピューターと簡単に接続できるクイックワイヤレス

オプションのクイックワイヤレス用USBキーをコンピューターに接続するだけで、簡単にコンピューターの画面を投写できます。(無線LANに対応しているWindows搭載のコンピューターのみ)



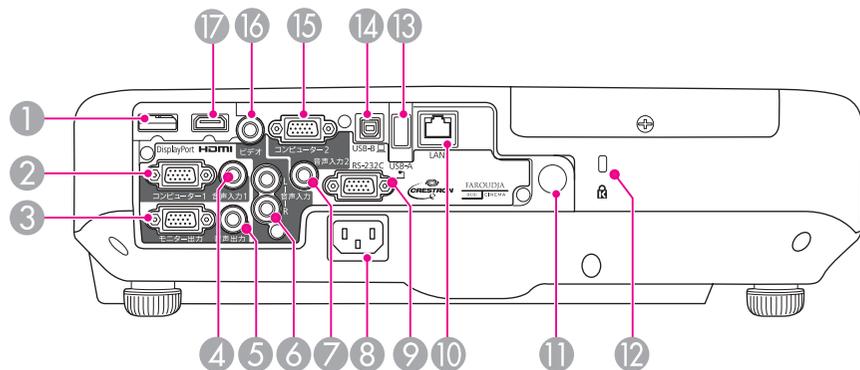
前面/上面



名称	働き
① 排気口	本機内部を冷却した空気の吐き出し口です。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>⚠ 注意</p> <p>投写中は手や顔を排気口に近づけたり、変形など、熱による悪影響を受けるものを排気口の近くに置かないでください。排気口から温風が出るため、やけどや変形、事故の原因となります。</p> </div>
② リモコン受光部	リモコン信号を受信します。
③ スライド式レンズカバー操作部	つまみをスライドさせてレンズカバーの開閉をします。
④ フットレバー	フットレバーを押して、フロントフットを伸縮させます。 ● 「映像の高さを調整する」 p.40

名称	働き
⑤ フロントフット	机上設置時に、フットを伸ばして映像の高さを調整します。 ● 「映像の高さを調整する」 p.40
⑥ スライド式レンズカバー	本機を使用しないときに閉じて、投写レンズを保護します。投写中に閉めると映像と音声を消すことができます。 ● 「映像と音声を一時的に消す (AVミュート)」 p.60
⑦ フォーカスリング	映像のピントを合わせます。 ● 「ピントのズレを補正する」 p.40
⑧ ズームリング	映像のサイズを調整します。 ● 「映像のサイズを調整する」 p.40
⑨ 吸気口 (エアフィルター)	本機内部を冷却するための空気を取り込みます。 ● 「エアフィルターの掃除」 p.118
⑩ エアフィルターカバー操作つまみ	エアフィルターカバーを開くときに操作します。 ● 「エアフィルターの交換」 p.122
⑪ ヨコ補正スライダー	投写映像のヨコ方向の台形ゆがみを補正します。 ● 「手で補正する」 p.37
⑫ 操作パネル	本機の操作をします。 ● 「操作パネル」 p.14
⑬ ランプカバー	ランプ交換時に、このカバーを開けて中のランプを交換します。 ● 「ランプの交換」 p.119

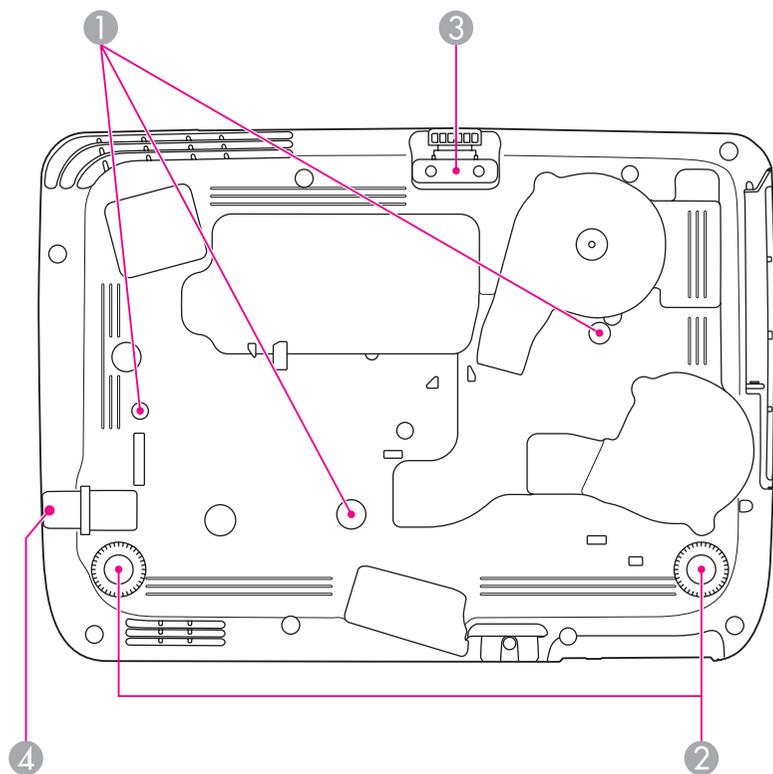
背面



名称	働き
① DisplayPort入力端子	DisplayPortに対応したコンピューターの信号を入力します。本機はHDCP▶に対応しています。
② コンピューター1入力端子	コンピューター映像信号やビデオ機器のコンポーネントビデオ信号を入力します。
③ モニター出力端子	コンピューター1入力端子から入力しているアナログRGB信号を外部モニターに出力します。他の端子から入力している信号やコンポーネントビデオ信号は出力できません。
④ 音声入力1端子	コンピューター1入力端子に接続した機器の音声を入力します。
⑤ 音声出力端子	現在投写している映像の音声を外部スピーカーに出力します。
⑥ 音声入力(L-R)端子	ビデオ入力端子に接続した機器の音声を入力します。
⑦ 音声入力2端子	コンピューター2入力端子に接続した機器の音声を入力します。
⑧ 電源端子	電源コードを接続します。 ▶「設置から投写までの流れ」 p.30

名称	働き
⑨ RS-232C端子	コンピューターから本機を制御するときにRS-232Cケーブルでコンピューターと接続します。制御用の端子で通常は使用しません。 ▶「ESC/VP21コマンド」 p.77
⑩ LAN端子	LANケーブルを接続して、ネットワークに接続します。
⑪ リモコン受光部	リモコン信号を受信します。
⑫ セキュリティスロット	Kensington社製のマイクロサーバーセキュリティシステムに対応したセキュリティスロットです。 ▶「盗難防止用ロック」 p.72
⑬ USB(TypeA)端子	<ul style="list-style-type: none"> USBメモリーやデジタルカメラを接続し、PDFファイルや動画、画像をスライドショーで投写します。 ▶「コンピューターを使わずに投写する（スライドショー）」 p.52 オプションの書画カメラを接続します。
⑭ USB(TypeB)端子	<ul style="list-style-type: none"> 市販のUSBケーブルでコンピューターと接続して、コンピューターの映像を投写します。 ▶「USBディスプレイで投写する」 p.32 ワイヤレスマウス機能を使うときに、市販のUSBケーブルでコンピューターと接続します。 ▶「リモコンでマウスポインターを操作する（ワイヤレスマウス）」 p.63
⑮ コンピューター2入力端子	コンピューター映像信号やビデオ機器のコンポーネントビデオ信号を入力します。
⑯ ビデオ入力端子	ビデオ機器のコンポジットビデオ信号を入力します。
⑰ HDMI入力端子	HDMIに対応したビデオ機器やコンピューターの信号を入力します。本機はHDCP▶に対応しています。 ▶「接続する」 p.23

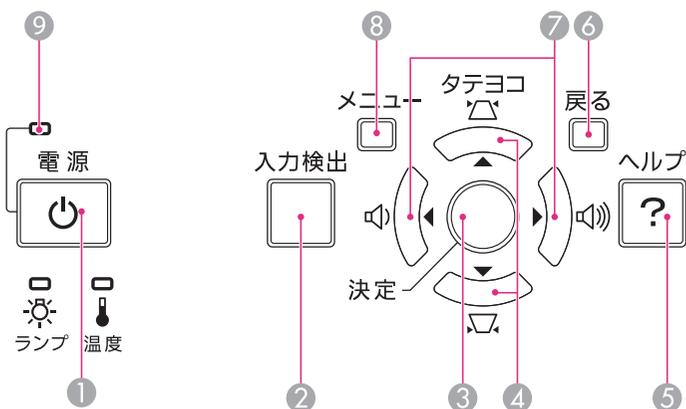
底面



名称	働き
① 天吊り固定部(3箇所)	天井から吊り下げて使うときに、オプションの天吊り金具を取り付けます。 ● 「設置する」 p.20 ● 「オプション」 p.125
② リアフット	机上設置時に、フットを伸縮させて水平方向の傾きを調整します。 ● 「水平傾斜を調整する」 p.40

名称	働き
③ フロントフット	机上設置時に、フットを伸ばして映像の高さを調整します。 ● 「映像の高さを調整する」 p.40
④ セキュリティーケーブル取付け部	市販の盗難防止用ワイヤーロックをこの部分に通して施錠します。 ● 「ワイヤーロックの取り付け方」 p.72

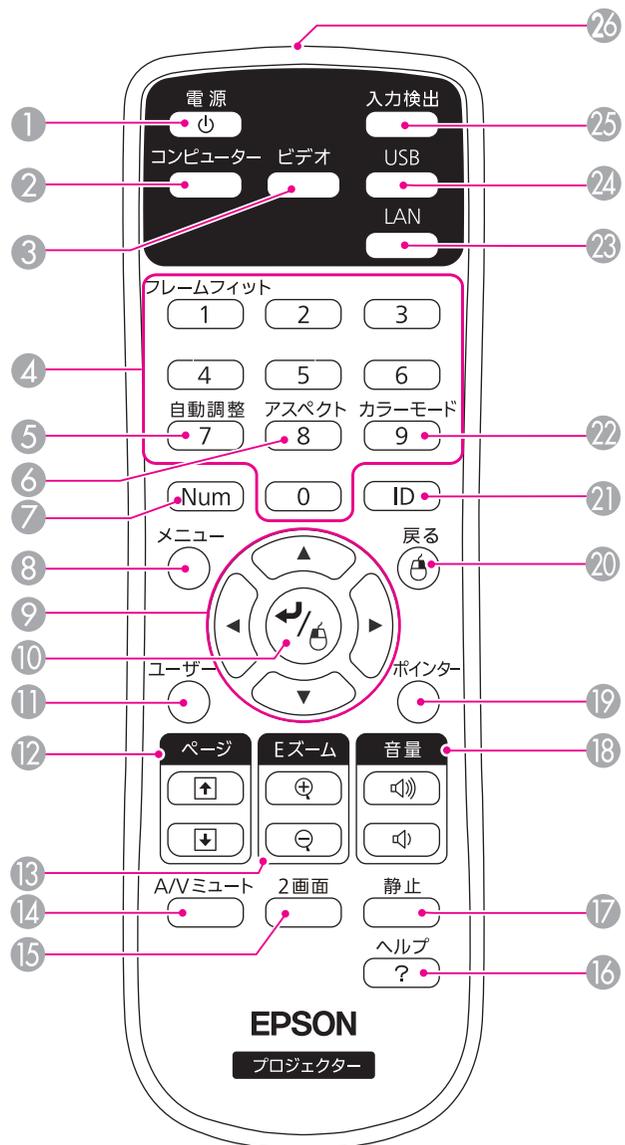
操作パネル



名称	働き
① 【  】ボタン	電源をオン/オフします。 ☛「設置から投写までの流れ」 p.30
② 【入力検出】ボタン	映像信号が入力されている入力端子からの映像に切り替えます。 ☛「入力信号を自動検出して切り替える（入力検出）」 p.31
③ 【決定】ボタン	<ul style="list-style-type: none"> 環境設定メニューやヘルプを表示中に押すと、項目を決定したり、1つ下の階層に進みます。 コンピューター入力端子から入力しているアナログRGB信号を投写中に押すと、トラッキング・同期・表示位置を最適な状態に自動調整します。
④ 【  】  】ボタン	<ul style="list-style-type: none"> 台形補正画面を表示して、タテヨコ方向の台形補正をします。 ☛「手で補正する」 p.37 環境設定メニューやヘルプを表示中に押すと、メニュー項目や設定値を選択します。 ☛「環境設定メニューの操作」 p.84 ☛「ヘルプの見方」 p.101

名称	働き
⑤ 【ヘルプ】ボタン	トラブルの対処方法を示すヘルプを表示/終了します。 ☛「ヘルプの見方」 p.101
⑥ 【戻る】ボタン	<ul style="list-style-type: none"> 実行中の機能を終了します。 環境設定メニュー表示中に押すと、1つ上の階層に戻ります。 ☛「環境設定メニューの操作」 p.84
⑦ 【  】  】ボタン	<ul style="list-style-type: none"> スピーカーから出力する音量を調整します。 【】音量を上げます。 【】音量を下げます。 ☛「音量を調整する」 p.41 台形補正画面の表示中は、ヨコ方向の台形補正をします。 ☛「タテヨコ補正」 p.37 環境設定メニューやヘルプを表示中に押すと、メニュー項目や設定値を選択します。 ☛「環境設定メニューの操作」 p.84 ☛「ヘルプの見方」 p.101
⑧ 【メニュー】ボタン	環境設定メニューを表示/終了します。 ☛「環境設定メニューの操作」 p.84
⑨ インジケーター	本機の状態を確認します。 ☛「インジケーターの見方」 p.102

リモコン



名称	働き
① 【 電源]ボタン	本機の電源をオン/オフします。 ☛「設置から投写までの流れ」 p.30
② 【 コンピューター]ボタン	押すたびに、コンピューター1入力端子、コンピューター2入力端子、DisplayPort入力端子からの映像に切り替えます。
③ 【 ビデオ]ボタン	押すたびに、ビデオ入力端子、HDMI入力端子からの映像に切り替えます。
④ テンキー ボタン	<ul style="list-style-type: none"> パスワードを入力します。 ☛「パスワードプロテクトの設定方法」 p.69 環境設定メニューの[ネットワーク]で数字を入力します。 フレームフィット機能は使えません。
⑤ 【 自動調整]ボタン	コンピューター入力端子から入力しているアナログRGB信号を投写中に押すと、トラッキング・同期・表示位置を最適な状態に自動調整します。
⑥ 【 アスペクト]ボタン	押すたびに、アスペクトモードが切り替わります。 ☛「投写映像のアスペクト比を切り替える」 p.44
⑦ 【 Num]ボタン	パスワードや数字を入力するときに、このボタンを押しながらテンキーボタンを押します。 ☛「パスワードプロテクトの設定方法」 p.69
⑧ 【 メニュー]ボタン	環境設定メニューを表示/終了します。 ☛「環境設定メニューの操作」 p.84
⑨ 【 環境設定]ボタン	<ul style="list-style-type: none"> 環境設定メニューやヘルプを表示中に押すと、メニュー項目や設定値の選択を行います。 ☛「環境設定メニューの操作」 p.84 ワイヤレスマウス機能時は、ボタンを押すと、押した方向にマウスポインターが移動します。 ☛「リモコンでマウスポインターを操作する(ワイヤレスマウス)」 p.63

名称	働き
⑩ 【←】ボタン	<ul style="list-style-type: none"> 環境設定メニューやヘルプを表示中に押すと、項目を決定したり、1つ下の階層に進みます。 ☛「環境設定メニューの操作」 p.84 ワイヤレスマウス機能時は、マウスの左ボタンとして機能します。 ☛「リモコンでマウスポインターを操作する（ワイヤレスマウス）」 p.63
⑪ 【ユーザー】ボタン	<p>環境設定メニューの項目のうちよく使われる6項目から任意に項目を選択して、このボタンに割り当てることができます。ボタンを押すと割り当てたメニュー項目の選択/調整画面が直接表示されるのでワンタッチで設定/調整の変更が行えます。</p> <p>☛「設定メニュー」 p.89</p> <p>初期設定では[節電モード]が割り当てられています。</p>
⑫ 【ページ】ボタン 【+】【-】	<p>以下のときに、PowerPointファイルなどのページを送り/戻しします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ワイヤレスマウス機能時 ☛「リモコンでマウスポインターを操作する（ワイヤレスマウス）」 p.63 USBディスプレイ時 ☛「USBディスプレイで投写する」 p.32 ネットワーク接続時 <p>スライドショーで投写しているときは、画像ファイルを送り/戻しします。</p>
⑬ 【Eズーム】ボタン 【@】【@】	<p>投写サイズを変えずに映像を拡大/縮小します。 ☛「映像を部分的に拡大する（Eズーム）」 p.62</p>
⑭ 【A/Vミュート】ボタン	<ul style="list-style-type: none"> 映像と音声を一時的に遮断/解除します。 ☛「映像と音声を一時的に消す（A/Vミュート）」 p.60 約5秒間押し続けると、設置モードを次のように切り替えることができます。 [フロント] ↔ [フロント・天吊り] [リア] ↔ [リア・天吊り]

名称	働き
⑮ 【2画面】ボタン	<p>2つの入力ソースの映像を、1つのスクリーンの左右に同時に投写するか、通常の1画面の投写にするかを切り替えます。 ☛「2種類の映像を同時に投写する(2画面)」 p.48</p>
⑯ 【ヘルプ】ボタン	<p>トラブルの対処方法を示すヘルプを表示/終了します。 ☛「ヘルプの見方」 p.101</p>
⑰ 【静止】ボタン	<p>映像を一時停止/解除します。 ☛「映像を停止させる（静止）」 p.60</p>
⑱ 【音量】ボタン 【<】【>】	<p>【<】音量を下げます。 【>】音量を上げます。 ☛「音量を調整する」 p.41</p>
⑲ 【ポインター】ボタン	<p>投写中の映像にポインターが表示されます。 ☛「説明箇所を指し示す（ポインター）」 p.61</p>
⑳ 【戻る】ボタン	<ul style="list-style-type: none"> 実行中の機能を終了します。 環境設定メニューを表示中に押すと、1つ上の階層に戻ります。 ☛「環境設定メニューの操作」 p.84 ワイヤレスマウス機能時は、マウスの右ボタンとして機能します。 ☛「リモコンでマウスポインターを操作する（ワイヤレスマウス）」 p.63
㉑ 【ID】ボタン	<p>リモコンで操作対象のプロジェクターのIDを選択するとき、このボタンを押しながらテンキーボタンを押します。 ☛「IDを設定してリモコンを使用する」 p.64</p>
㉒ 【カラーモード】ボタン	<p>押すたびにカラーモードが切り替わります。 ☛「映り具合を選ぶ（カラーモードの選択）」 p.43</p>
㉓ 【LAN】ボタン	<p>ネットワーク経由で接続している機器からの映像に切り替えます。</p>

名称	働き
②4 【USB】ボタン	押すたびに、以下の映像に切り替えます。 <ul style="list-style-type: none">• USBディスプレイ• USB(TypeA)端子に接続した機器からの映像
②5 【入力検出】ボタン	映像信号が入力されている入力端子からの映像に切り替えます。 ☛ 「入力信号を自動検出して切り替える（入力検出）」p.31
②6 リモコン発光部	リモコン信号を出力します。

リモコンの電池交換

使い続けているうちに、リモコンの反応が遅くなったり、操作できなくなったときは電池の寿命が考えられます。新しい電池と交換してください。交換用の電池は単3形マンガンあるいはアルカリ乾電池2本を用意してください。単3形マンガンあるいはアルカリ乾電池以外の電池は使用しないでください。

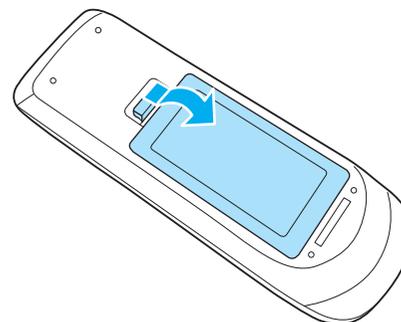
注意

電池を取り扱う前に、以下のマニュアルを必ずお読みください。

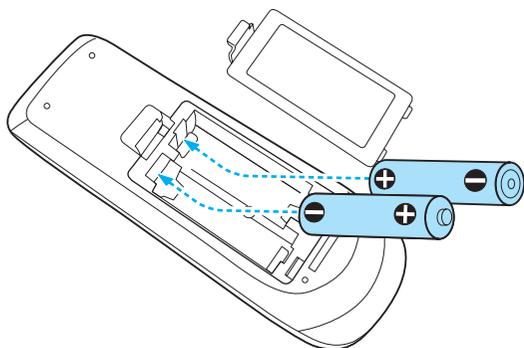
☛ 『安全にお使いいただくために』

1 電池カバーを外します。

電池カバーのツメを押さえながら、上へ持ち上げます。



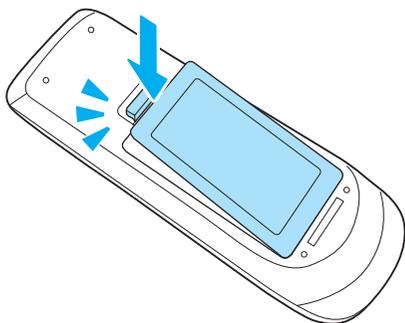
2 新しい電池と交換します。



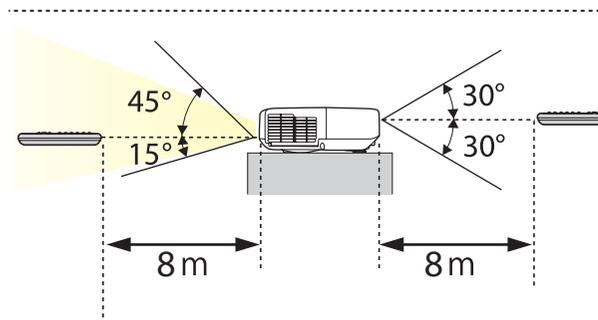
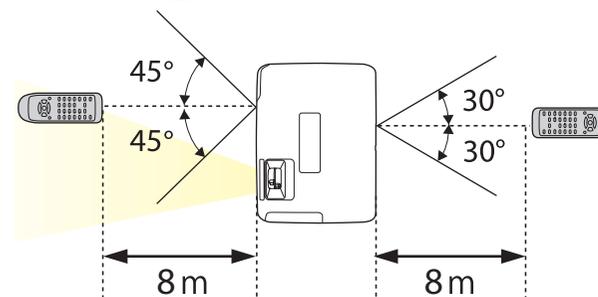
⚠ 注意

電池ホルダー内の表示を確認し、(+)(-)を正しく入れてください。
電池の使い方を誤ると、電池の破裂・液もれにより、火災・けが・製品腐食の原因となることがあります。

- 3** 電池カバーを取り付けます。
カチッと音がするまでカバーを押し込みます。



リモコンの操作可能範囲





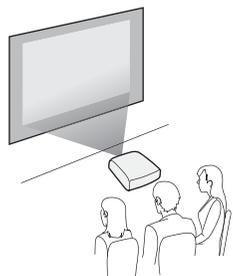
準備

ここでは、本機の設置方法と投写機器の接続方法について説明します。

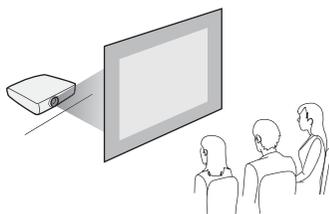
いろいろな設置方法

本機の投写方法は、次の4種類があります。設置場所の条件に合わせて設置してください。

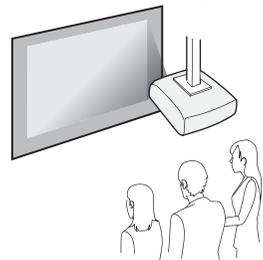
- 正面から投写する(フロント投写)



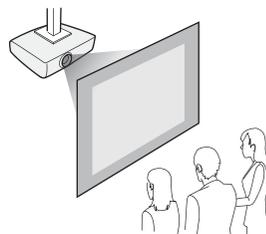
- リアスクリーンへ裏側から投写する(リア投写)



- 天吊りして正面から投写する(フロント・天吊り投写)



- 天吊りしてリアスクリーンへ裏側から投写する(リア・天吊り投写)



⚠ 警告

- 天井への取り付け(天吊り設置)工事は、特別な技術が必要となります。正しく工事が行われないと、落下によりけがや事故の原因となります。
- プロジェクターの天吊り固定部に、ネジゆるみ止め用接着剤・潤滑剤・油などが付着するとケースが割れ、プロジェクターが落下し事故やけがの原因となります。
天吊り設置や天吊り金具の調整に際しては、ネジゆるみ止め用接着剤・潤滑剤・油などを使用しないでください。
- 本機の吸気口・排気口をふさがないでください。吸気口・排気口をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

注意

本機を縦置き状態にして投写しないでください。故障の原因となります。

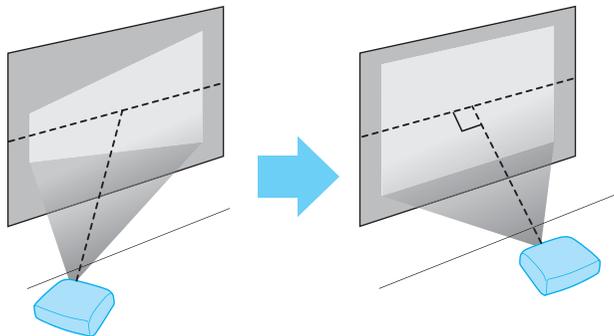


- 天吊りするには、オプションの天吊り金具が必要です。
☛ 「オプション」 p.125
- 設置モードの初期設定は[フロント]です。[フロント]から[リア]に切り替えるには、環境設定メニューで設定します。
☛ [拡張設定]-[設置モード] p.90
- リモコンの【A/Vミュート】ボタンを約5秒間押し続けると、設置モードを次のように切り替えることができます。
[フロント] ↔ [フロント・天吊り]
[リア] ↔ [リア・天吊り]

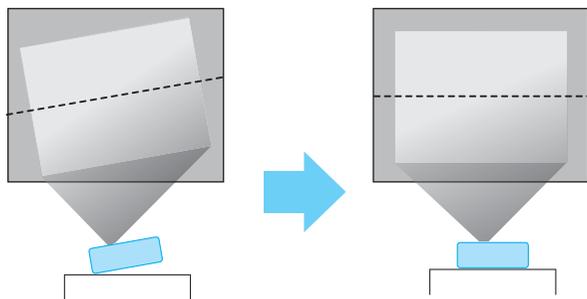
設置方法

プロジェクターは以下のように設置してください。

- スクリーンに対して平行にします。
スクリーンに対して斜めに設置すると、投写映像が台形にゆがみます。



- 水平に置きます。
傾けて設置すると、投写映像も傾きます。



- 本機を平行に設置できないときは、以下を参照してください。
 - ☛ 「台形ゆがみを補正する」 p.36
- 本機を水平に設置できないときは、以下を参照してください。
 - ☛ 「水平傾斜を調整する」 p.40
 - ☛ 「台形ゆがみを補正する」 p.36

スクリーンサイズと投写距離の目安

本機からスクリーンまでの距離により投写サイズが決まります。下図を参照して、適切なサイズで投写できる位置に本機を設置してください。下図は、ズームを最大にしたときの最短投写距離の目安です。投写距離の詳細は以下を参照してください。

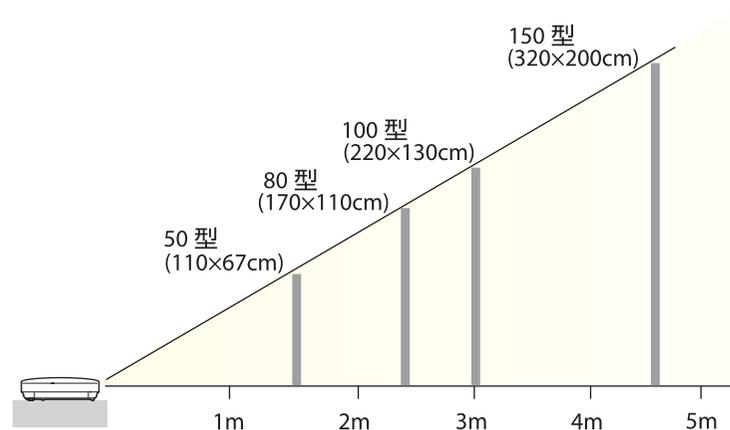
☛ 「スクリーンサイズと投写距離」 p.126



台形ゆがみを補正すると、投写映像のサイズが小さくなります。

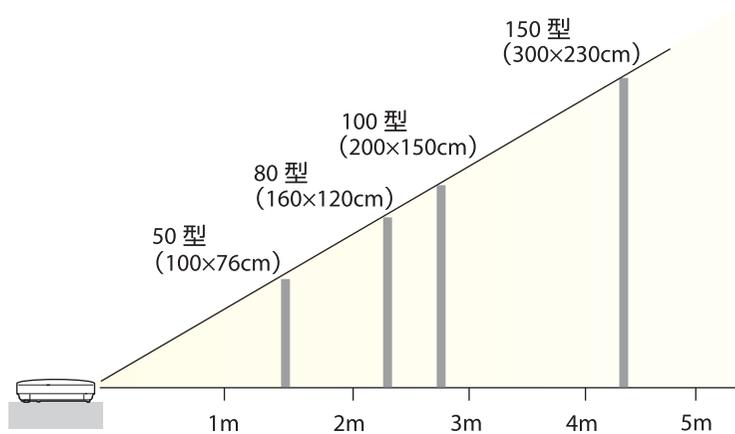
16 : 10スクリーンサイズ

EB-1940Wの場合



4 : 3スクリーンサイズ

EB-1960/EB-1950の場合



接続する機器により、端子名称、位置や向きが異なります。

コンピューターの接続

コンピューターの映像を投写するには、以下の方法で接続します。

① 同梱のコンピューターケーブルを使用するとき

コンピューターのディスプレイ出力端子と本機のコンピューター入力端子を接続します。

音声を本機のスピーカーから出力するときは、市販のオーディオケーブルで、コンピューターの音声出力端子と本機の音声入力1または音声入力2端子を接続します。

② 市販のUSBケーブルを使用するとき

コンピューターのUSB端子と本機のUSB(TypeB)端子を接続します。

映像の投写と同時に、コンピューターの音声も転送できます。

③ 市販のHDMIケーブルを使用するとき

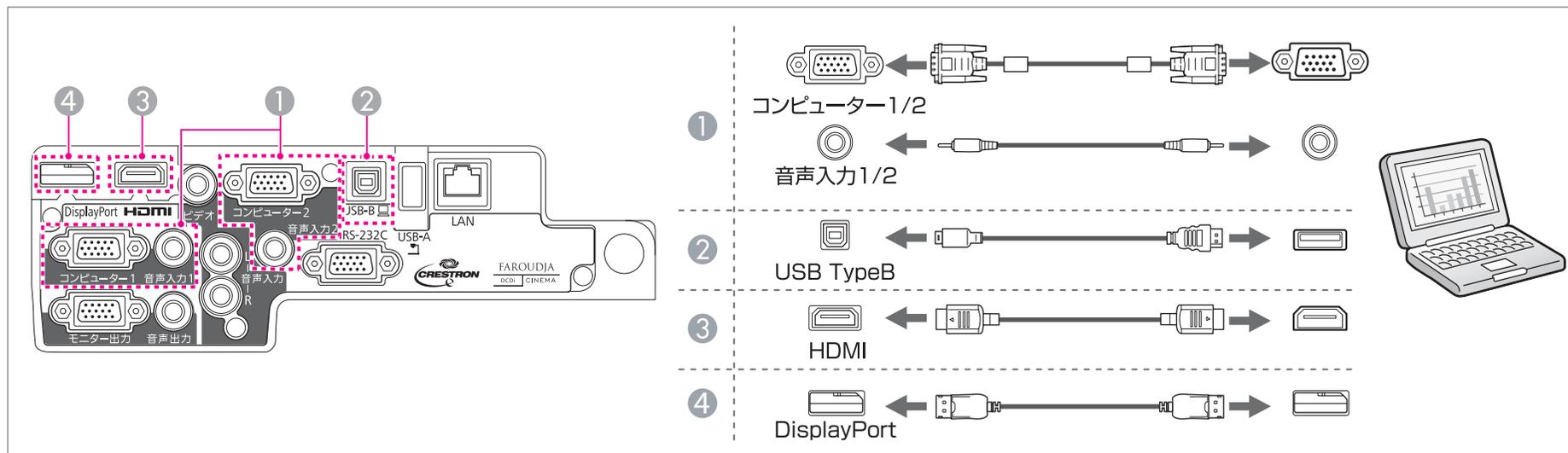
コンピューターのHDMI端子と本機のHDMI入力端子を接続します。

映像の投写と同時に、コンピューターの音声も転送できます。

④ 市販のDisplayPortケーブルを使用するとき

コンピューターのDisplayPort端子と本機のDisplayPort入力端子を接続します。

映像の投写と同時に、コンピューターの音声も転送できます。



- 本機は、USBケーブルでコンピューターと接続してコンピューターの映像を投写できます。この機能をUSBディスプレイと呼びます。
 ● 「USBディスプレイで投写する」 [p.32](#)
- 市販のDisplayPortケーブルにはロックがついているものがあります。ケーブルを取り外すときは、ケーブルのコネクター部分にあるボタンを押しながらケーブルを抜いてください。

映像機器の接続

DVDプレーヤーやVHSビデオなどの映像を投写するには、以下の方法で接続します。

① 市販のビデオケーブルを使用するとき

映像機器のビデオ出力端子と本機のビデオ入力端子を接続します。

音声を本機のスピーカーから出力するときは、市販のオーディオケーブルで、映像機器の音声出力端子と本機の音声入力(L-R)端子を接続します。

② オプションのコンポーネントビデオケーブルを使用するとき

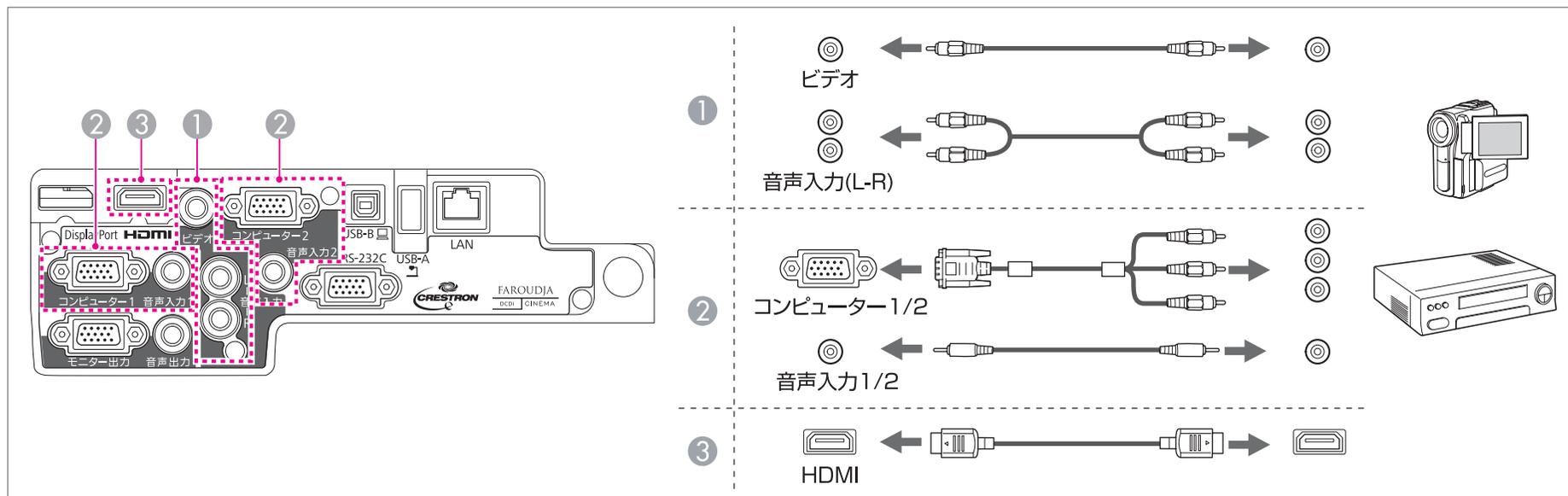
● 「オプション」 [p.125](#)

映像機器のコンポーネント出力端子と本機のコンピューター入力端子を接続します。

音声を本機のスピーカーから出力するときは、市販のオーディオケーブルで、映像機器の音声出力端子と本機の音声入力1または音声入力2端子を接続します。

③ 市販のHDMIケーブルを使用するとき

映像機器のHDMI端子と本機のHDMI入力端子を接続します。
映像の投写と同時に、映像機器の音声も転送できます。



注意

- 接続機器の電源が入った状態で接続すると、故障の原因となります。
- プラグの向きや形状が異なった状態で無理に押し込まないでください。機器の破損や故障の原因になります。

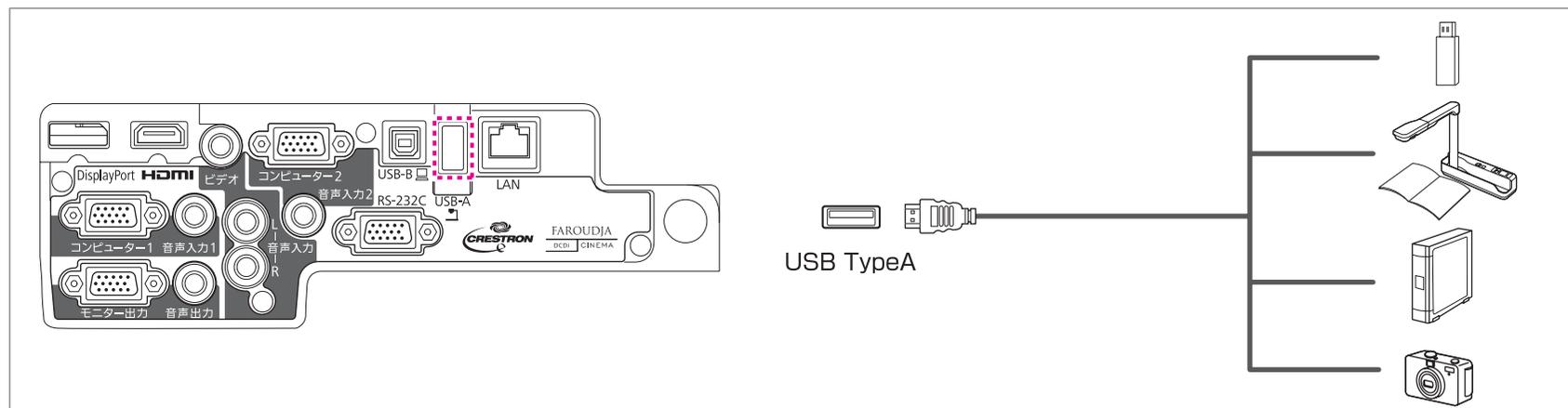


- 接続する機器が特有の端子形状をしているときは、その機器に同梱またはオプションのケーブルで接続してください。
- 市販の2RCA(L・R)/ステレオミニピンオーディオケーブルを使うときは、「抵抗なし」と表記されているものをお使いください。

USB機器の接続

オプションの書画カメラ、USBメモリー、USB対応のハードディスクやデジタルカメラなど、USB機器を接続できます。

USB機器に同梱のUSBケーブルで、USB機器と本機のUSB(TypeA)端子を接続します。



USB機器を接続したときは、USBメモリーやデジタルカメラ内のファイルをスライドショーで再生します。

👉 「スライドショーの利用例」 [p.52](#)

注意

- USBハブを使用すると、正しく動作しません。デジタルカメラやUSB機器を直接本機に接続してください。
- USB対応のハードディスクを接続して使用する際は、必ずハードディスクに付属のACアダプターを接続してください。
- デジタルカメラやハードディスクの接続には、各機器に同梱または指定のUSBケーブルをお使いください。
- USBケーブルの長さは、3m以下のものをお使いください。ケーブル長が3mを超えると、スライドショーが正しく動作しないことがあります。

USB機器の取り外し方

投写終了後は、本機からUSB機器を取り外します。デジタルカメラやハードディスクなどは、各機器の電源をオフにしてから取り外してください。

外部機器の接続

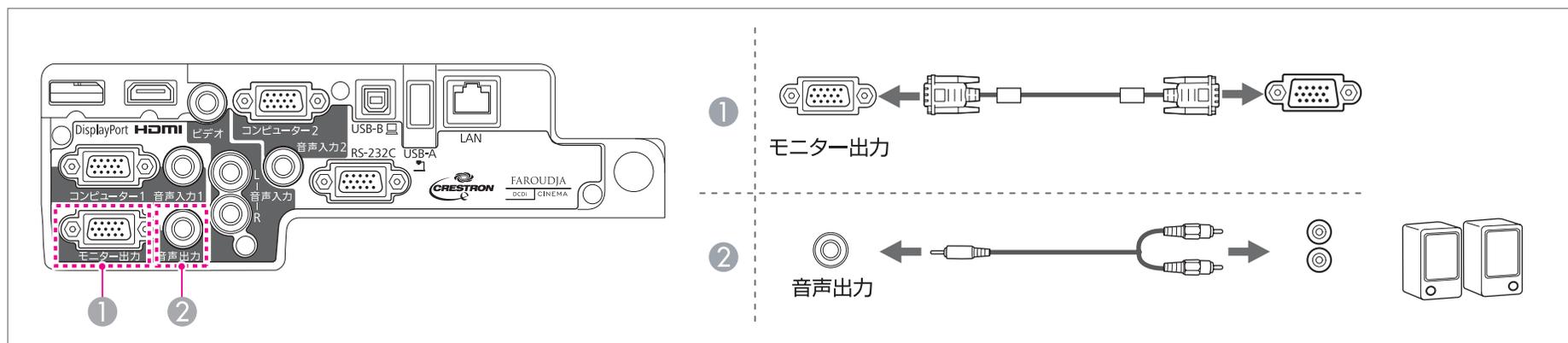
外部モニターやスピーカーを接続すると、映像や音声を外部に出力できます。

- ① 映像を外部モニターに出力するとき

外部モニターに付属のケーブルで、外部モニターと本機のモニター出力端子を接続します。

② 音声を外部スピーカーに出力するとき

市販のオーディオケーブルで外部スピーカーと本機の音声出力端子を接続します。

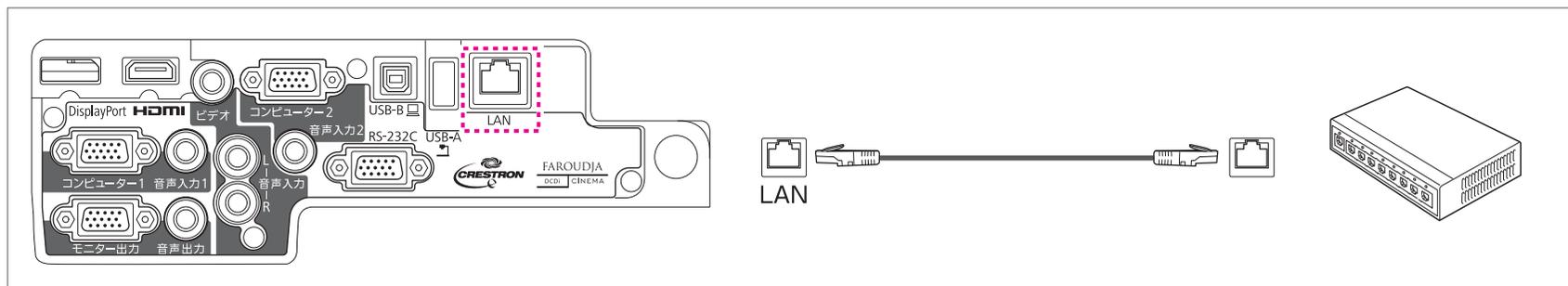


- [待機モード]を[通信オン]に設定すると、本機がスタンバイ状態のときでも映像を外部モニターに出力できます。
 ● [拡張設定]-[待機モード] p.90
- 外部モニターに出力できるのは、コンピューター1入力端子から入力しているアナログRGB信号のみです。他の端子から入力している信号やコンポーネントビデオ信号は出力できません。
- 台形補正などの設定ゲージや環境設定メニュー、ヘルプは外部モニターに出力されません。
- 音声出力端子にオーディオケーブルのプラグを差し込むと、音声の出力先が外部に切り替わり、本機の内蔵スピーカーからは音声がなくなります。

LANケーブルの接続

市販の100BASE-TXまたは10BASE-TタイプのLANケーブルで、ネットワークハブなどのLAN端子と本機のLAN端子を接続します。

コンピューターとプロジェクターをネットワークで接続して映像を投写したり、プロジェクターの状態を確認したりできます。



誤作動防止のために、LANケーブルはカテゴリ-5以上のシールド付きをお使いください。

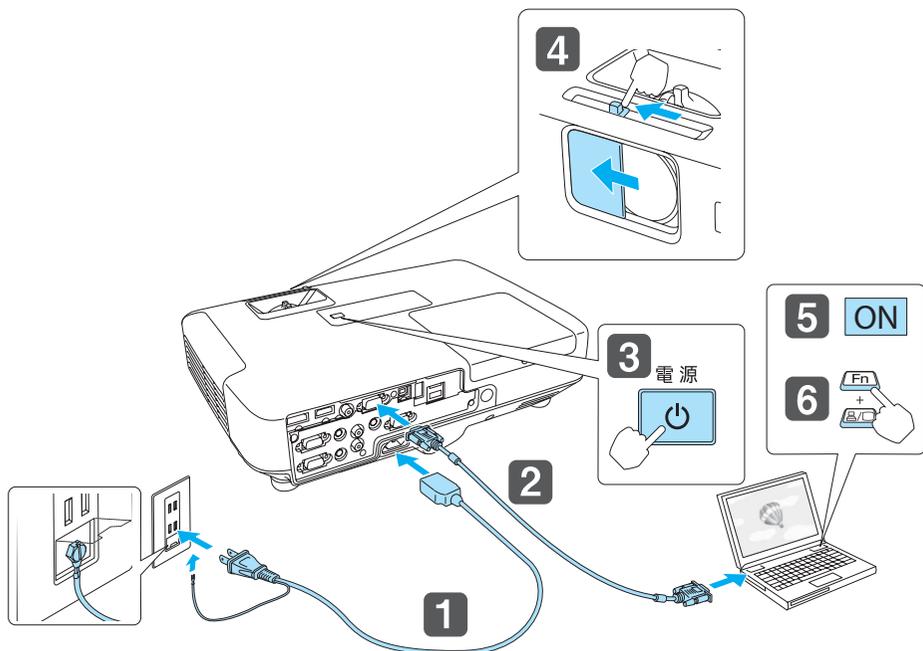


基本的な使い方

ここでは、映像の投写方法と映像補正方法について説明しています。

設置から投写までの流れ

コンピューターをコンピューターケーブルで接続して、映像を投写する手順を説明します。



1 本機とコンセントを電源コードで接続します。

警告

必ず接地接続を行ってください。

接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

2 本機とコンピューターをコンピューターケーブルで接続します。

3 本機の電源を入れます。

4 レンズカバーを開けます。

5 コンピューターの電源を入れます。

6 コンピューターの画面出力先を切り替えます。

ノート型コンピューターを使用するときは、コンピューター側の画面出力切り替えが必要です。

Fnキー(ファンクションキー)を押したまま⌘/⌥キーを押します。



- 使用するコンピューターにより、切り替え方法が異なります。コンピューターの取扱説明書を参照してください。
- 本機の電源を切るときは、【】ボタンを2回押してください。

映像が投写されないときは、以下の方法で投写する映像を切り替えます。

- 操作パネルまたはリモコンの【入力検出】ボタンを押します。
 - ☞ 「入力信号を自動検出して切り替える (入力検出)」 [p.31](#)
- リモコンから目的の入力端子のボタンを押します。
 - ☞ 「リモコンで目的の映像に切り替える」 [p.32](#)



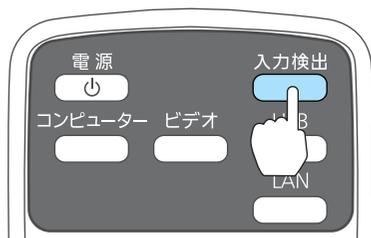
映像が正常に投写されたら、必要に応じて投写映像を補正してください。

- ☞ 「台形ゆがみを補正する」 [p.36](#)
- ☞ 「ピントのズレを補正する」 [p.40](#)

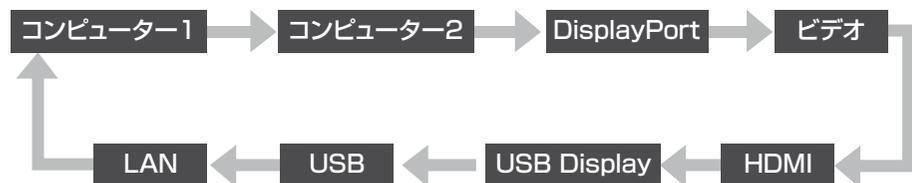
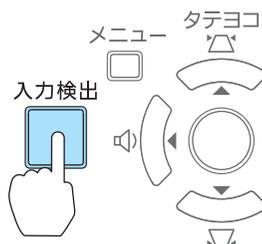
入力信号を自動検出して切り替える(入力検出)

【入力検出】ボタンを押して、映像信号が入力されている入力端子の映像を投写します。

リモコンの場合



操作パネルの場合



複数の機器を接続しているときは、目的の映像が投写されるまで【入力検出】ボタンを繰り返し押します。

ビデオ機器を接続しているときは、再生状態にしてから操作を開始してください。



映像信号がなにも入力されていないときは、以下の画面が表示されます。

【入力検出】

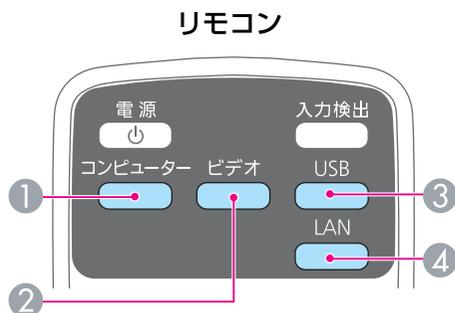
	映像信号
コンピューター1	なし
コンピューター2	なし
DisplayPort	なし
ビデオ	なし
HDMI	なし
USB Display	なし
USB	なし
LAN	なし

・映像信号を入力してください。
 ・ボタンで入力ソースを選択できます。

【◀】:選択 【▶】:決定 【戻る】:終了

リモコンで目的の映像に切り替える

以下のリモコンのボタンを押すと、目的の映像に直接切り替えることができます。



- ① 押すたびに、以下の入力端子からの映像に切り替えます。
 - コンピューター1入力端子
 - コンピューター2入力端子
 - DisplayPort入力端子
- ② 押すたびに、以下の入力端子からの映像に切り替えます。
 - ビデオ入力端子
 - HDMI入力端子
- ③ 押すたびに、以下の映像に切り替えます。
 - USBディスプレイ
 - USB(TypeA)端子に接続した機器からの映像
- ④ ネットワーク経由で接続している機器からの映像に切り替えます。

USBディスプレイで投写する

本機は、USBケーブルでコンピューターと接続してコンピューターの映像を投写できます。

USBケーブル1本で、映像の投写と音声の転送ができます。

動作環境

Windowsの場合

OS	Windows 2000*1	
	Windows XP	Professional 32ビット Home Edition 32ビット Tablet PC Edition 32ビット
	Windows Vista	Ultimate 32ビット Enterprise 32ビット Business 32ビット Home Premium 32ビット Home Basic 32ビット
	Windows 7	Ultimate 32/64ビット Enterprise 32/64ビット Professional 32/64ビット Home Premium 32/64ビット Home Basic 32ビット Starter 32ビット
CPU	Mobile Pentium III 1.2GHz以上 推奨：Pentium M 1.6GHz以上	
メモリー容量	256MB以上 推奨：512MB以上	
ハードディスク 空き容量	20MB以上	

ディスプレイ	640x480 以上、1600x1200 以下の解像度 16ビットカラー以上の表示色
--------	---

※1 Service Pack 4のみ

Mac OS Xの場合

OS	Mac OS X 10.5.x 32ビット Mac OS X 10.6.x 32/64ビット Mac OS X 10.7.x 32/64ビット
CPU	Power PC G4 1GHz以上 推奨：Core Duo 1.83GHz以上
メモリー容量	512MB以上
ハードディスク 空き容量	20MB以上
ディスプレイ	640x480以上、1680x1200以下の解像度 16ビットカラー以上の表示色

初めて接続したとき

初めて接続したときは、ドライバーのインストールが必要です。インストールはWindowsとMac OS Xで手順が異なります。



- 次回接続時はドライバーのインストールは不要です。
- 他の入力端子からの映像を投写しているときは、入力ソースをUSB Displayに切り替えます。
- 市販のUSBケーブルを使用します。
- USBハブを使用すると、正しく動作しません。直接本機に接続してください。

Windowsの場合

- 1** USBケーブルで、コンピューターのUSB端子と本機のUSB(TypeB)端子を接続します。



Windows 2000またはWindows XPの場合、再起動の確認メッセージが表示されることがあります。[いいえ]を選択します。

Windows 2000の場合

[コンピュータ] - [EPSON PJ_UD] - [EMP_UDSE.EXE]の順にダブルクリックします。

Windows XPの場合

自動的にドライバーのインストールが開始します。

Windows Vista/Windows 7の場合

ダイアログが表示されたら、[EMP_UDSE.exeの実行]をクリックします。

- 2** 使用許諾画面が表示されたら、[同意する]を選択します。

3 コンピューターの映像が投写されます。

コンピューターの映像が投写されるまでに、しばらく時間がかかることがあります。コンピューターの映像が投写されるまではUSBケーブルを抜いたり、本機の電源を切ったりせずにそのままの状態でお待ちください。

4 終了するときはUSBケーブルを取り外します。

USBケーブルを取り外すときは、[ハードウェアの安全な取り外し]は必要ありません。



- 自動的にインストールされないときにはコンピューターで [マイコンピュータ] - [EPSON_PJ_UD] - [EMP_UDSE.EXE] の順にダブルクリックします。
- 万一、投写されないときにはコンピューターで [すべてのプログラム] - [EPSON Projector] - [Epson USB Display] - [Epson USB Display Vx.xx] の順にクリックします。
- Windows 2000搭載のコンピューターをユーザー権限でお使いのときは、Windowsのエラーメッセージが表示され使用できないことがあります。この場合は、Windowsをアップデートして最新の状態にしてから再度、接続し直してください。
詳細は、お買い上げの販売店または以下に記載の連絡先にご相談ください。
☛ [「お問い合わせ先」](#)

Mac OS Xの場合**1** USBケーブルで、コンピューターのUSB端子と本機のUSB(TypeB)端子を接続します。

FinderにUSBディスプレイのセットアップフォルダーが表示されます。

2 [USB Display Installer]アイコンをダブルクリックします。**3** 画面の指示に従って、インストールを進めます。**4** 使用許諾画面が表示されたら、[同意する]を選択します。

管理者権限のパスワードを入力して、インストールを開始します。

インストールが完了すると、DockとメニューバーにUSBディスプレイのアイコンが表示されます。

5 コンピューターの映像が投写されます。

コンピューターの映像が投写されるまでに、しばらく時間がかかることがあります。コンピューターの映像が投写されるまではUSBケーブルを抜いたり、本機の電源を切ったりせずにそのままの状態でお待ちください。

6 終了するときは、メニューバーまたはDockの[USB Display]アイコンから[切断]を選択します。その後にUSBケーブルを取り外します。

- FinderにUSBディスプレイのセットアップフォルダーが自動的に表示されないときは、コンピューターで [EPSON PJ_UD] - [USB Display Installer] の順にダブルクリックしてください。
- 万一、投写されないときにはDockの[USB Display]アイコンをクリックします。
- Dockに[USB Display]アイコンがないときは、アプリケーションフォルダーの[USB Display]をダブルクリックします。
- Dockの[USB Display]アイコンから[終了]を選択すると、次回USBケーブル接続時にUSBディスプレイが自動起動しなくなります。

アンインストール**Windows 2000の場合****1** [スタート] - [設定] - [コントロールパネル]の順にクリックします。

- 2 [アプリケーションの追加と削除]をダブルクリックします。
- 3 [プログラムの変更と削除]をクリックします。
- 4 [Epson USB Display]を選択して、[変更/削除]をクリックします。

Windows XPの場合

- 1 [スタート] - [コントロールパネル]の順にクリックします。
- 2 [プログラムの追加と削除]をダブルクリックします。
- 3 [Epson USB Display]を選択して、[削除]をクリックします。

Windows Vista/Windows 7の場合

- 1 [スタート] - [コントロールパネル]の順にクリックします。
- 2 [プログラム]の[プログラムのアンインストール]をクリックします。
- 3 [Epson USB Display]を選択して、[アンインストール]をクリックします。

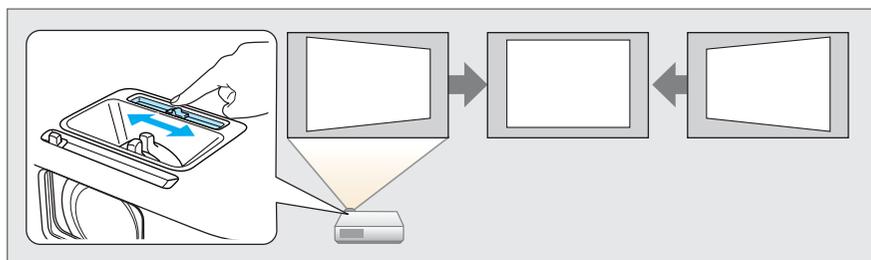
Mac OS Xの場合

- 1 [アプリケーション] - [USB Display] - [Tool]の順にダブルクリックします。
- 2 [USB Display UnInstaller]を実行します。

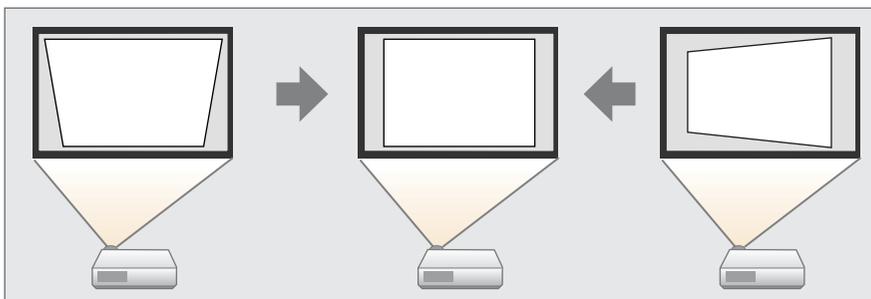
台形ゆがみを補正する

投写映像の台形ゆがみを補正するには、以下の方法があります。

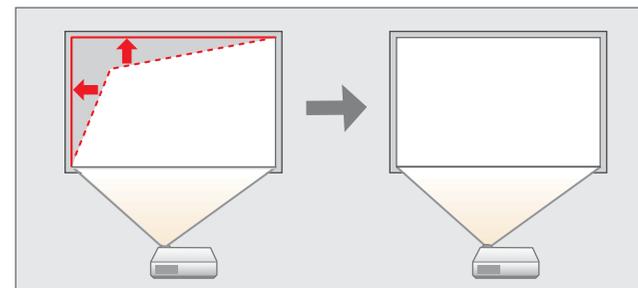
- 自動で補正する(自動タテ補正)
- 手動で補正する(スライド式ヨコ補正)
ヨコ方向の台形のゆがみをヨコ補正スライダーで補正します。



- 手動で補正する(タテヨコ補正)
タテ方向とヨコ方向の台形ゆがみを個別に補正します。



- 手動で補正する(Quick Corner)
4つのコーナーを個別に補正します。



 台形ゆがみを補正すると、投写映像のサイズが小さくなります。

自動で補正する

自動タテ補正

本機を移動したり傾けたときなど、プロジェクターが動きを感知すると、投写映像のタテ方向の台形ゆがみを自動的に補正します。この機能を自動タテ補正といいます。

本機を動かすと、調整用の画面が表示された後に投写映像が補正されます。

自動タテ補正で投写映像を正しく補正できる条件は、以下のとおりです。

補正角度：上下約30°



- 自動タテ補正が機能するのは、[設置モード]で[フロント]を選択しているときのみです。
 ● [拡張設定]-[設置モード] p.90
- 自動タテ補正を機能させたくないときは、[自動タテ補正]を[オフ]に設定してください。
 ● [設定]-[台形補正]-[タテヨコ]-[自動タテ補正] p.89

手動で補正する

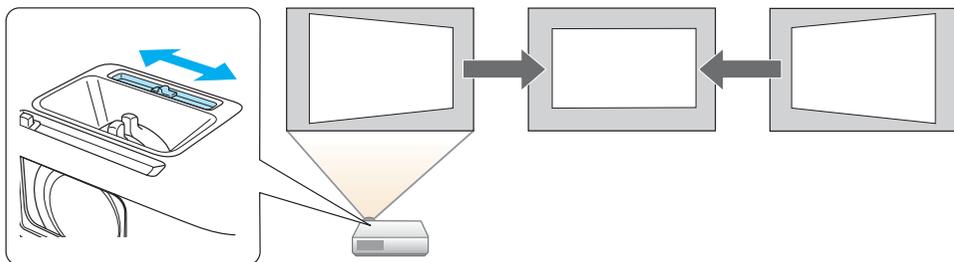
台形ゆがみを手動で微調整します。

タテヨコ補正で投写映像を正しく補正できる条件は、以下のとおりです。

補正角度：左右約30°/上下約30°

スライド式ヨコ補正

ヨコ補正スライダーを左右に移動させ、ヨコ方向の台形ゆがみを補正します。



- スライド式ヨコ補正を使用するときは、[スライド式ヨコ補正]を[オン]に設定してください。
 ● [設定]-[台形補正]-[タテヨコ]-[スライド式ヨコ補正] p.89
- ヨコ方向の台形ゆがみは、タテヨコ補正でも補正できます。

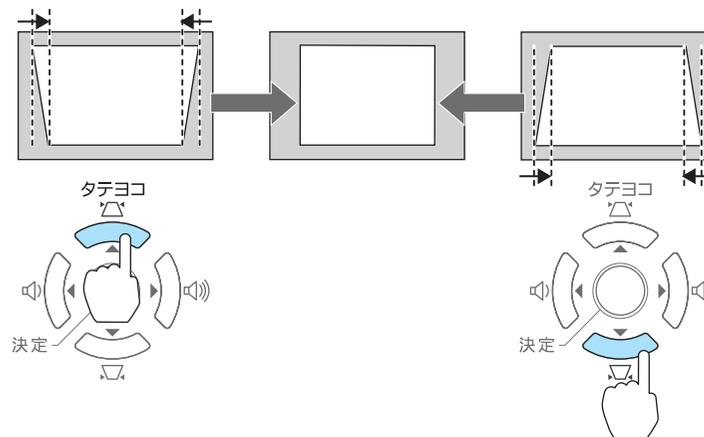
タテヨコ補正

タテ方向とヨコ方向の台形ゆがみを個別に補正します。

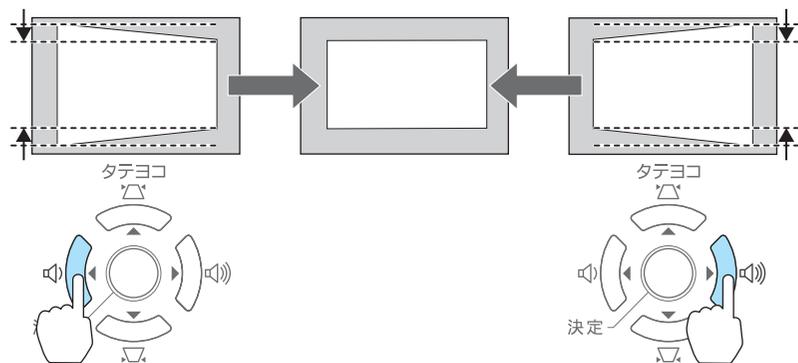
- 1 投写中に操作パネルの【△】【▽】ボタンを押して、台形補正画面を表示します。



- 2 下記のボタンを押して、台形ゆがみを補正します。
 タテ補正は【△】【▽】ボタンを押します。



ヨコ補正は、【◀】【▶】ボタンを押します。



タテヨコ補正は環境設定メニューからも設定できます。
 ● [設定]-[台形補正]-[タテヨコ] p.89

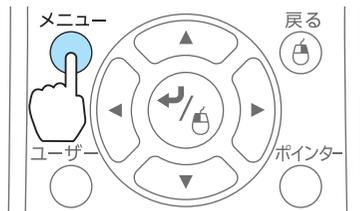
Quick Corner

スクリーンに合わせて投写映像の4つのコーナーを個別に補正します。

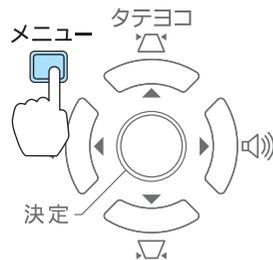
1 投写中に【メニュー】ボタンを押します。

● 「環境設定メニューの操作」 p.84

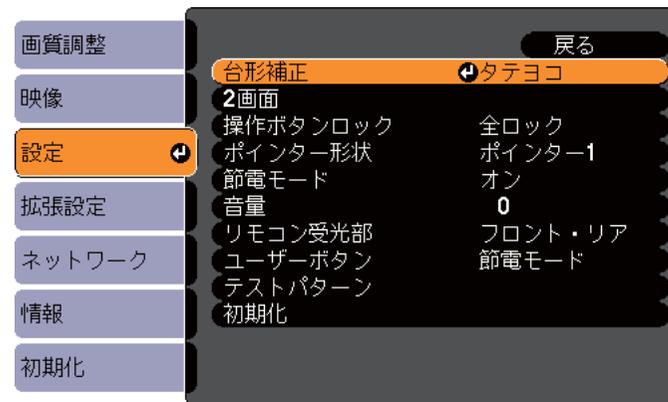
リモコンの場合



操作パネルの場合



2 [設定]から [台形補正] を選択します。



[戻る]:戻る [◆]:選択 [⏎]:決定 [メニュー]:終了

3 [Quick Corner] を選択し [↵] ボタンを押します。



[戻る]:戻る [◆]:選択 [⏎]:決定 [メニュー]:終了

4 補正するコーナーをリモコンの【▲】【▼】【⬅】【➡】ボタン、または操作パネルの【△】【▽】【◀】【▶】ボタンで選択して、【↵】ボタンを押します。



【◆/◇】: 選択
 【○】: 決定
 【戻る】: 戻る(2秒間押下で初期化/切替)

- 5** リモコンの【】【】【】【】ボタン、または操作パネルの【】【】【】【】ボタンでコーナーの位置を補正します。

【】ボタンを押すと、手順4の補正するエリアを選択する画面が表示されます。

補正中に「これ以上調整できません。」と表示されたときは、グレーの三角で示す部分が補正量の限界に達したことを示しています。



【◆/◇】: 調整
 【戻る】/【○】: 戻る

- 6** 手順4と5を繰り返して補正が必要なコーナーすべてを補正します。

- 7** 補正を終了するには、【戻る】ボタンを押します。

[台形補正]を[Quick Corner]に変更したので、以降は操作パネルの【】【】ボタンを押すと手順4のコーナーを選択する画面が表示されます。操作パネルの【】【】ボタンを押したときにタテヨコ補正をしたいときは、[台形補正]を[タテヨコ]に変更してください。

☛ [設定]-[台形補正]-[タテヨコ] p.89



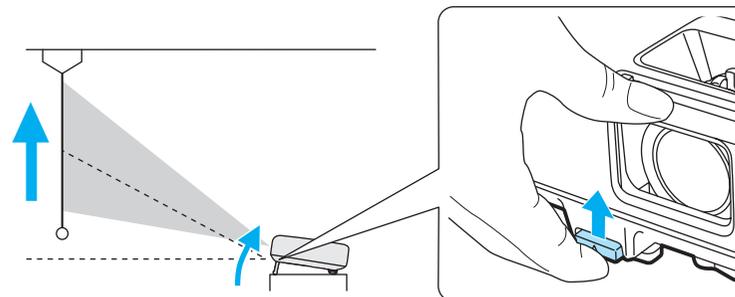
手順4のコーナーを選択する画面で【戻る】ボタンを約2秒間押し続けると、以下の画面が表示されます。



【Quick Corner初期化】：Quick Cornerで補正した結果を初期化します。

【タテヨコへ切替】：補正方法を【タテヨコ】に切り替えます。

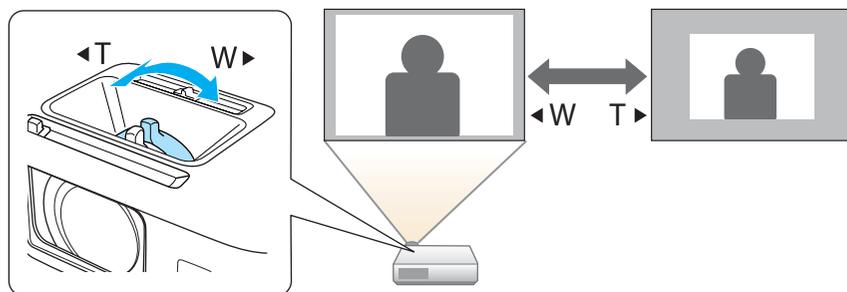
☛ 「設定メニュー」 p.89



傾斜角度が大きくなると、ピントが合いにくくなります。傾斜角度が小さくなるように設置してください。

映像のサイズを調整する

ズームリングを回して、投写映像のサイズを調整します。

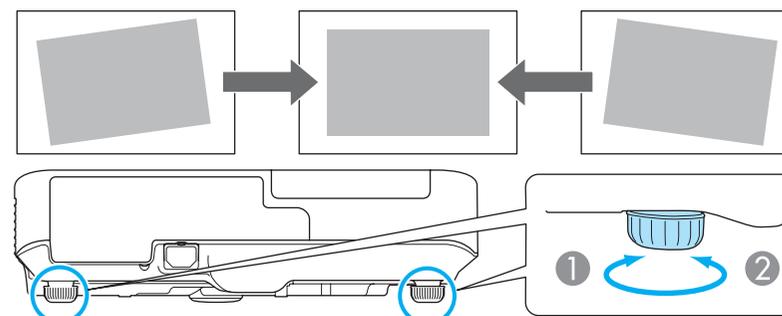


映像の高さを調整する

フットレバーを押して、フロントフットを伸ばします。最大16度まで傾けて、映像の高さを調整できます。

水平傾斜を調整する

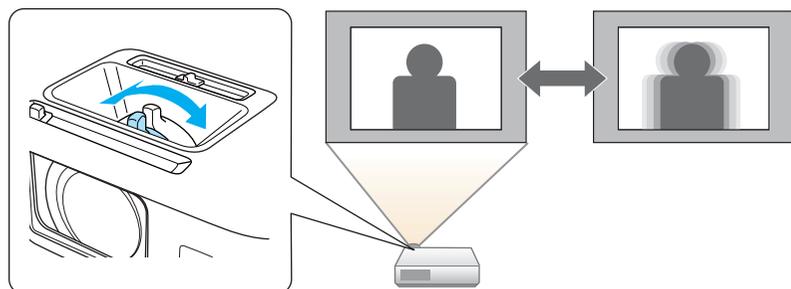
リアフットを伸縮して本機の水平方向の傾きを調整します。



- ① リアフットを伸ばします。
- ② リアフットを縮めます。

ピントのズレを補正する

ピントのズレを補正するには、フォーカスリングで調整します。



- 環境設定メニューから調整する。
 ● [設定] - [音量] p.89

⚠ 注意

初めから音量を上げすぎないでください。
 突然大きな音が出て、聴力障害の原因になることがあります。電源を切る前に音量(ボリューム)を下げておき、電源を入れた後で徐々に上げてください。

音量を調整する

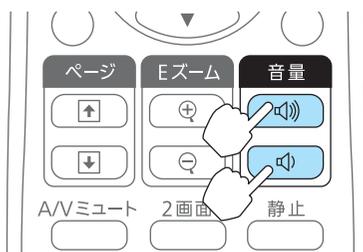
音量を調整するには、以下の方法があります。

- 操作パネルまたはリモコンの【音量】ボタンを押して調整する。

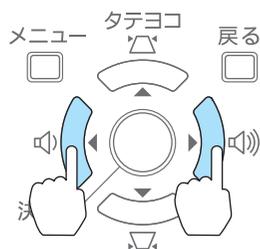
【↵】音量を下げます。

【⏪】音量を上げます。

リモコンの場合



操作パネルの場合



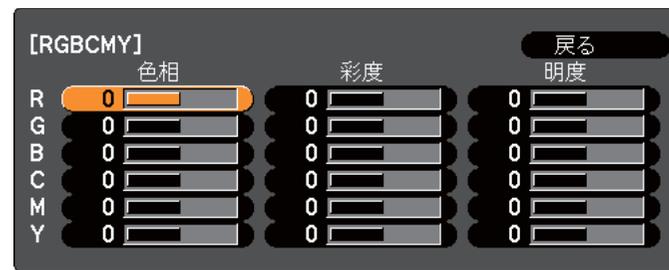
画質を調整する

色相・彩度・明度の調整

R(赤)G(緑)B(青)C(シアン)M(マゼンタ)Y(イエロー)の各色について、色相、彩度、明度を調整します。

設定は環境設定メニューから行います。

- [画質調整] - [アドバンスト] - [RGBCMY] p.86



【戻る】:戻る 【↵】:選択 【⏪】:決定 【メニュー】:終了

色相	映像全体の色味を、青系～緑系～赤系へと調整します。
彩度	映像全体の鮮やかさを調整します。
明度	映像全体の色の明るさを調整します。

ガンマの調整

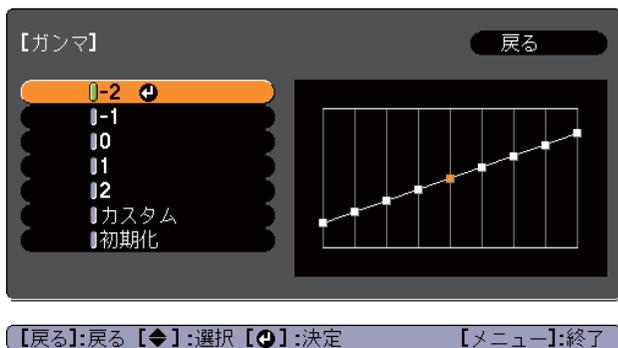
接続する機器の違いにより生じる、投写映像の発色の違いを調整します。

設定は環境設定メニューから行います。

☛ [画質調整] - [アドバンスト] - [ガンマ] p.86

補正值を選んで調整する

☛ [画質調整] - [アドバンスト] - [ガンマ] p.86



数値が小さいほど、映像の暗い部分が明るくなり、明るい部分は色の濃淡が小さくなります。数値が大きいと、映像全体の明るさを抑えてメリハリのある映像になります。

[画質調整]メニューの[カラーモード]で[DICOM SIM]を選択したときは、投写サイズに応じた補正值を選択します。

- 投写サイズが120インチ以下：より大きい数値を選択します。
- 投写サイズが120インチ以上：より小さい数値を選択します。

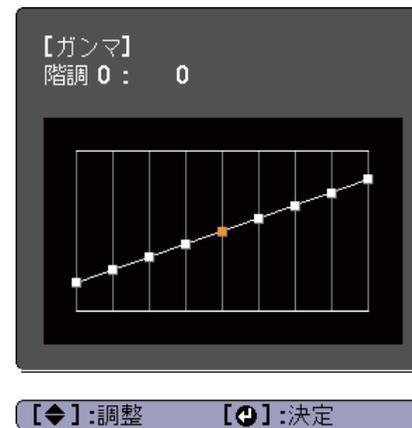
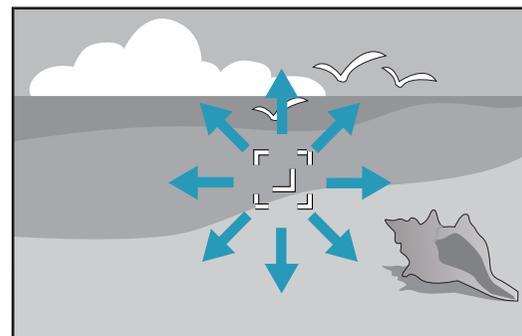


お使いの設置環境やスクリーンの仕様によっては、医用画像を正しく再現できない場合があります。

映像を見ながら調整する

☛ [画質調整] - [アドバンスト] - [ガンマ] - [カスタム] - [映像から調整する] p.86

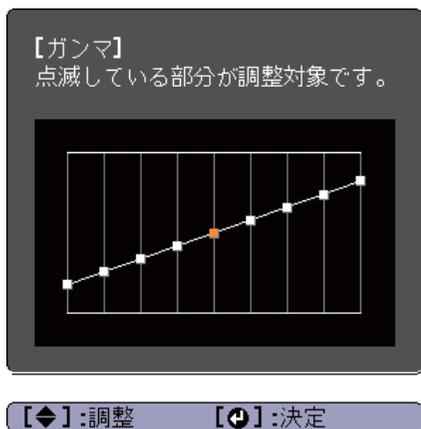
投写中の映像に表示されるカーソルで明るさを変更したい場所を選んで調整します。



ガンマ調整グラフで調整する

☛ [画質調整] - [アドバンスト] - [ガンマ] - [カスタム] - [グラフから調整する] p.86

ガンマ調整グラフを見ながら調整します。



映り具合を選ぶ(カラーモードの選択)

投写時の環境に応じて次の設定から選択するだけで、簡単に最適な画質で投写できます。モードによって投写の明るさが変わります。

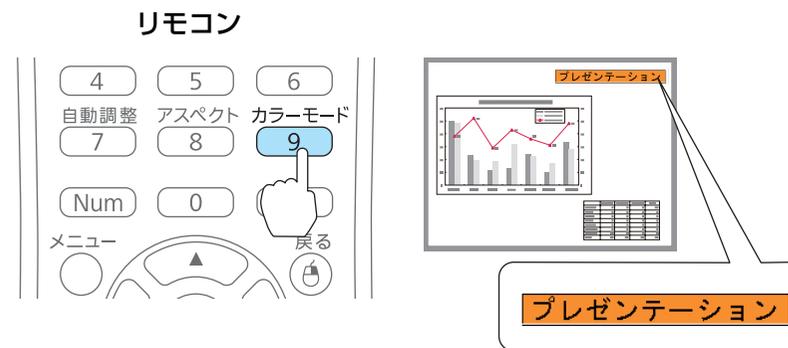
モード名	使い方
ダイナミック	明るい部屋での使用に最適です。一番明るいモードで、暗部の階調表現に優れています。
プレゼンテーション	明るい部屋で、カラーの資料を使ってプレゼンテーションを行うのに最適です。
シアター	暗い部屋で、映画を楽しむのに最適です。自然な色合いの映像になります。
フォト※1	明るい部屋で、写真などの静止画像を投写するのに最適です。鮮やかで、コントラストのある映像になります。
スポーツ※2	明るい部屋で、テレビ番組などを楽しむのに最適です。鮮やかで、臨場感のある映像になります。
sRGB	sRGB▶に準拠した映像になります。

モード名	使い方
黒板	黒板(緑色)に投写しても、スクリーンに投写したときのような自然な色合いの映像になります。
ホワイトボード	ホワイトボードを使ってプレゼンテーションを行うのに最適です。
DICOM SIM※1	エックス線写真などの医用画像を投写するのに最適です。陰影のくっきりした映像になります。なお、本機は医療機器ではありませんので、医療診断の用途ではご利用いただけません。

※1 RGB信号入力時と入力ソースがUSB Display/USB/LANのときのみ選択できません。

※2 コンポーネントビデオ信号入力時と、入力ソースがビデオのときのみ選択できます。

【カラーモード】ボタンを押すたびに画面上にカラーモード名が表示され、カラーモードが切り替わります。



カラーモードは環境設定メニューからも設定できます。
 [画質調整]-[カラーモード] p.86

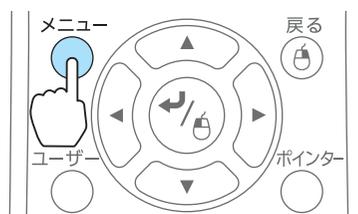
オートアイリス(自動絞り)を設定する

表示される映像の明るさに合わせて、光量を自動的に設定することで、奥行きと深みのある画像が楽しめます。

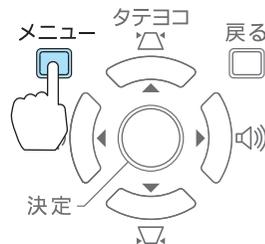
1 【メニュー】ボタンを押します。

● 「環境設定メニューの操作」 p.84

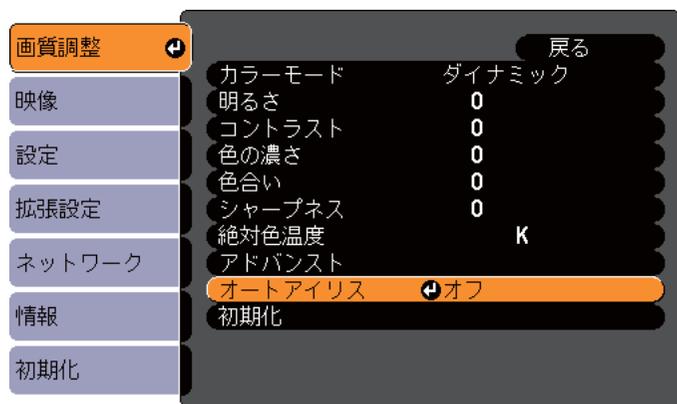
リモコンの場合



操作パネルの場合



2 【画質調整】 から 【オートアイリス】 を選びます。



【戻る】:戻る 【◀▶】:選択 【▶】:決定 【メニュー】:終了

3 【オン】を選択します。

設定値はカラーモードごとに保存されます。

4 【メニュー】ボタンを押して設定を終了します。



【カラーモード】が【ダイナミック】または【シアター】に設定されているときに限り、オートアイリスの設定ができます。

投写映像のアスペクト比を切り替える

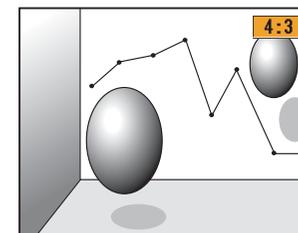
入力信号の種類、縦横比、解像度に合わせて、投写映像のアスペクト比を切り替えます。

投写している映像の種類により、選択できるアスペクトモードは異なります。

切り替え方法

リモコンの【アスペクト】ボタンを押すたびに画面上にアスペクトモード名が表示され、アスペクト比が切り替わります。

リモコン





アスペクト比は環境設定メニューからも設定できます。

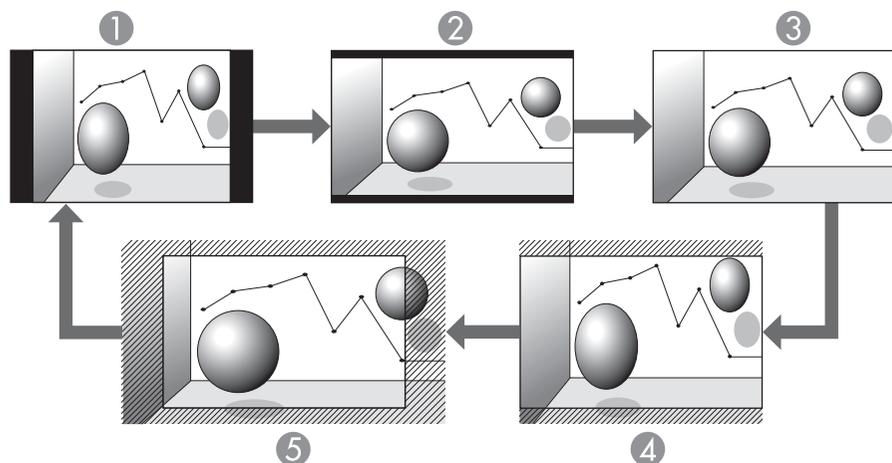
☛ [映像]-[アスペクト] p.87

アスペクトモードを切り替える

ビデオ機器の映像またはHDMI入力端子、DisplayPort入力端子からの映像を投写しているとき(EB-1940Wの場合)

【アスペクト】ボタンを押すたびに、アスペクトモードが、[ノーマル]または[オート]、[16:9]、[フル]、[ズーム]、[リアル]の順で切り替わります。

例：1080p信号入力時(解像度1920x1080、アスペクト比16:9)



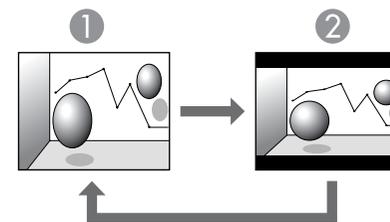
- ① ノーマルまたはオート
- ② 16:9
- ③ フル
- ④ ズーム
- ⑤ リアル

ビデオ機器の映像を投写しているとき(EB-1960/EB-1950の場合)

【アスペクト】ボタンを押すたびに、アスペクトモードが、[4:3]、[16:9]の順で切り替わります。

720p/1080i信号入力時に[4:3]に設定すると、ズーム4:3表示(映像の左右をカットした表示)になります。

例：720p信号入力時(解像度1280x720、アスペクト比16:9)

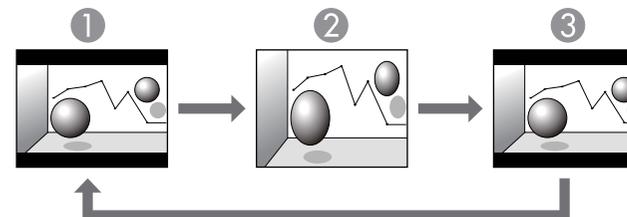


- ① 4:3
- ② 16:9

HDMI入力端子またはDisplayPort入力端子からの映像を投写しているとき(EB-1960/EB-1950の場合)

アスペクトボタンを押すたびに、アスペクトモードが、[ノーマル]または[オート]、[4:3]、[16:9]の順で切り替わります。

例：1080p信号入力時(解像度1920x1080、アスペクト比16:9)



- ① ノーマルまたはオート
- ② 4:3

③ 16:9

コンピューターの映像を投写しているとき

各アスペクトモードに切り替えたときの投写例は以下のとおりです。

EB-1940Wの場合

アスペクトモード	入力信号	
	XGA 1024X768(4:3)	WXGA 1280X800(16:10)
[ノーマル]		
[16:9]		
[フル]		
[ズーム]		

アスペクトモード	入力信号	
	XGA 1024X768(4:3)	WXGA 1280X800(16:10)
[リアル]		

EB-1960/EB-1950の場合

アスペクトモード	入力信号	
	XGA 1024X768(4:3)	WXGA 1280X800(16:10)
[ノーマル]		
[4:3]		
[16:9]		



投写映像が欠けてすべてが投写できないときは、お使いのコンピューターのパネルサイズに合わせて環境設定メニューの[入力解像度]を[ワイド]または[ノーマル]に設定してください。

☞ [映像]-[入力解像度] p.87

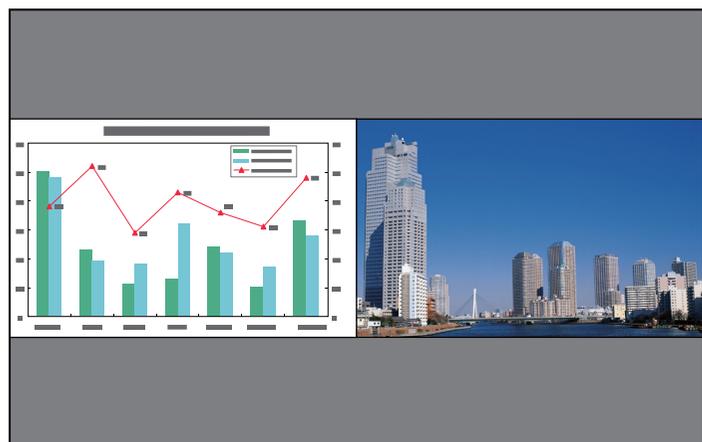


便利な機能

ここでは、プレゼンテーションなどに効果的な機能と、セキュリティー機能について説明しています。

2種類の映像を同時に投写する(2画面)

2つの入力ソースからの映像を、1つのスクリーンの左右に同時に投写できます。



2画面で投写できる入力ソース

2画面で投写できる入力ソースの組み合わせは以下のとおりです。

左画面ソース	右画面ソース							
	コンピューター1	コンピューター2	Display Port	ビデオ	HDMI	USB Display	USB	LAN
コンピューター1	-	-	✓	✓	✓	✓	✓	✓
コンピューター2	-	-	✓	✓	✓	✓	✓	✓
Display Port	✓	✓	-	✓	-	✓	✓	✓
ビデオ	✓	✓	✓	-	✓	✓	✓	✓
HDMI	✓	✓	-	✓	-	✓	✓	✓

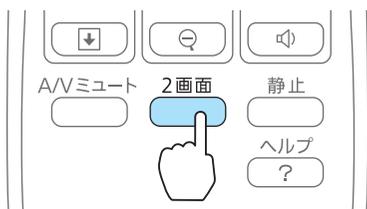
左画面ソース	右画面ソース							
	コンピューター1	コンピューター2	Display Port	ビデオ	HDMI	USB Display	USB	LAN
USB Display	✓	✓	✓	✓	✓	-	-	-
USB	✓	✓	✓	✓	✓	-	-	-
LAN	✓	✓	✓	✓	✓	-	-	-

操作方法

2画面で投写する

- 1 投写中にリモコンの【2画面】ボタンを押します。
投写している入力ソースの映像が左画面に投写されます。

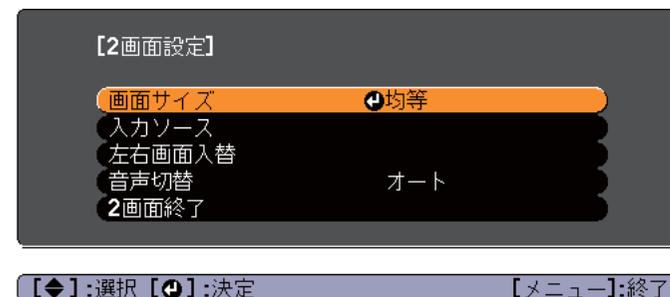
リモコン



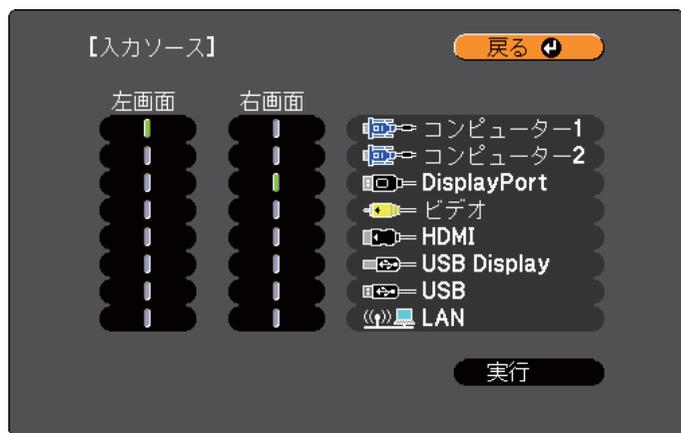
環境設定メニューからも同様の操作ができます。

☞ 【設定】-【2画面】 p.89

- 2 【メニュー】ボタンを押します。
2画面設定画面が表示されます。



- 3 【入力ソース】を選択して【↵】ボタンを押します。
- 4 【左画面】、【右画面】でそれぞれ投写する入力ソースを選択します。



【戻る】/【↶】:戻る 【↷】:選択 【メニュー】:終了

投写できる組み合わせの入力ソースのみ選択できます。

☛ 「2画面で投写できる入力ソース」 p.48



2画面投写中に以下のボタンを押したときも入力ソース画面が表示されます。

- 入力検出ボタン
- コンピューターボタン
- ビデオボタン
- USBボタン
- LANボタン

5 【実行】を選択して【↶】ボタンを押します。

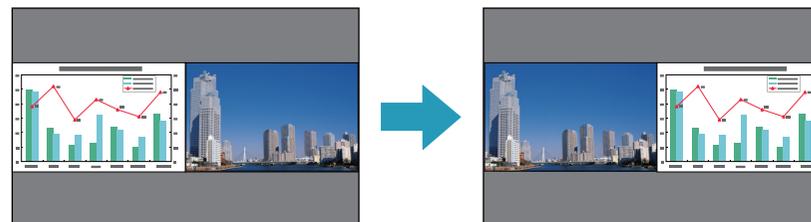
2画面で投写中に各画面の入力ソースを切り替えるときは、手順2から始めます。

左画面/右画面を入れ替える

投写映像を左右で入れ替えるときは、以下の操作を行います。

1 2画面で投写中に【メニュー】ボタンを押します。

2 【左右画面入替】を選択して【↶】ボタンを押します。
投写映像の左右が入れ替わります。



左画面/右画面の画面サイズを切り替える

1 2画面で投写中に【メニュー】ボタンを押します。

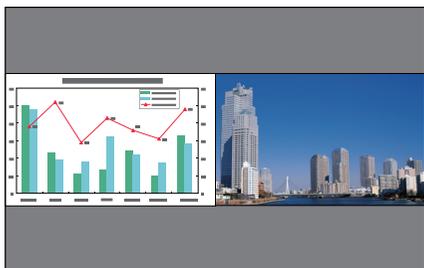
2 【画面サイズ】を選択して【↶】ボタンを押します。

3 表示したい画面サイズを選択して【↶】ボタンを押します。

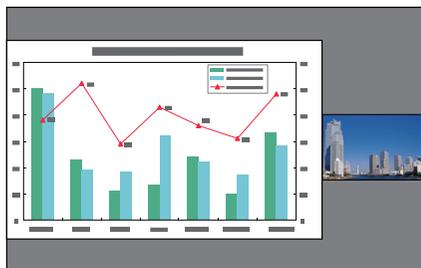


画面サイズ設定後の投写イメージは以下のとおりです。

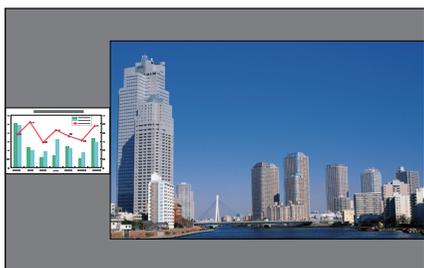
【均等】



【左拡大】



【右拡大】



- 左画面、右画面の両方を同時に拡大することはできません。
- 片方の画面を拡大したときは、もう片方の画面は縮小されます。
- 入力している映像信号によっては、【均等】に設定しても左右の画面が同じサイズに見えない場合があります。

2画面を終了する

2画面を終了するときは、【戻る】ボタンを押します。

以下の操作でも2画面を終了できます。

- リモコンの【2画面】ボタンを押す。

- 環境設定メニューから【2画面終了】を選択する。

☛ 【設定】-【2画面設定】 p.89

2画面で投写中の制限事項

操作に関する制限事項

2画面で投写中は、以下の操作はできません。

- 環境設定メニューの設定
- Eズーム
- アスペクトモードの切り替え(アスペクトモードは【ノーマル】が適用されます。)
- リモコンの【ユーザー】ボタンでの操作
- オートアイリス

ヘルプを表示できるのは、映像信号が入力されていないとき、または異常・警告通知が表示されたときのみです。

映像に関する制限事項

- 右画面の映像には、【画質調整】メニューの初期値が適用されます。ただし、【カラーモード】、【絶対色温度】、【アドバンスト】は、左画面で投写している映像の設定値が適用されます。
- 右画面の映像には、【プログレッシブ変換】、【ノイズリダクション】の設定値は【オフ】が適用されます。
☛ 「映像メニュー」 p.87
- 映像信号が入力されていないときの表示画面は背景表示で設定されている色になります。【ロゴ】に設定されているときは【青】になります。
- AVミュートを実行したときの表示画面は【黒】になります。

コンピューターを使わずに投写する(スライドショー)

USBメモリーやUSBハードディスクなどのUSBストレージを本機に装着して、保存されているファイルをコンピューターを使わずに投写できます。この機能をスライドショーといいます。



- セキュリティ機能が付いているUSBストレージは、使用できないことがあります。
- スライドショーで投写時は、操作パネルの【凸】【凸】ボタンを押しても台形補正できません。

スライドショーで投写できるファイルの仕様

種類	ファイルタイプ (拡張子)	備考
静止画	.jpg	以下の場合は投写できません。 ・ CMYKカラーモード形式 ・ プログレッシブ形式 ・ 解像度が8192x8192を超えるもの JPEGファイルの特性上、圧縮率が高いと画像がきれいに投写されないことがあります。
	.bmp	解像度が1280x800を超えるものは投写できません。
	.gif	• 解像度が1280x800を超えるものは投写できません。 • アニメーションGIFは投写できません。
	.png	解像度が1280x800を超えるものは投写できません。

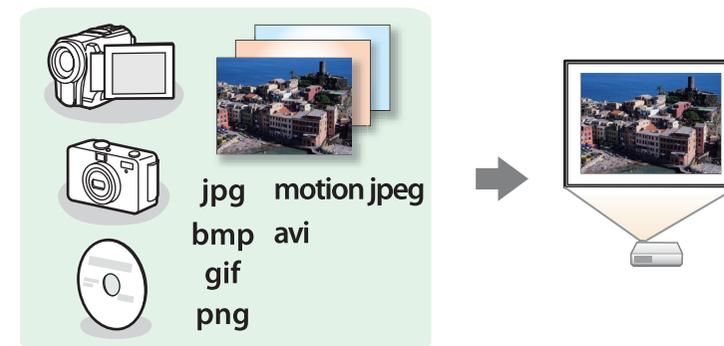
種類	ファイルタイプ (拡張子)	備考
動画	.avi	• 解像度が1280x720を超えるものは投写できません。 • 音声フォーマットがリニアPCM、ADPCM以外の音声は再生できません。
シナリオ	.fse	EasyMP Slide ConverterでPowerPointファイルを変換したファイル形式です。
PDFコンテンツ	.pdf	• バージョンが1.7以下のPDFファイルを投写できません。 • 暗号化されているPDFファイルは投写できません。



- USB対応のハードディスクを接続して使用する際は、必ずハードディスクに付属のACアダプターを接続してください。
- 一部のファイルシステムに対応できないことがありますので、Windows上でフォーマットしたメディアをお使いください。
- メディアはFAT16/32でフォーマットしてください。

スライドショーの利用例

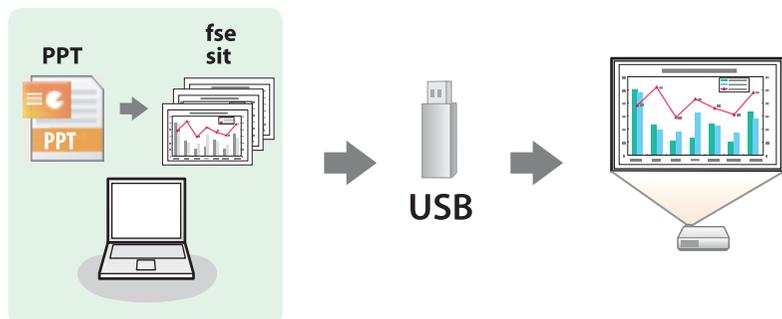
USBストレージに保存したファイルを投写する



☛ 「選択した画像、動画を投写する」 p.55

- ☛ 「フォルダー内の画像ファイルを連続投写する（スライドショー）」
p.57

EasyMP Slide Converterで変換したPowerPointファイルを投写する



EasyMP Slide ConverterでPowerPointファイルをシナリオに変換する方法は、以下のマニュアルをご覧ください。

- ☛ 『EasyMP Slide Converter操作ガイド』

スライドショーの操作方法

以降、リモコンで操作を行ったときを例に説明していますが、操作パネルでも同様の操作を行えます。

起動する

- 1 入力ソースをUSBに切り替えます。**
 - ☛ 「リモコンで目的の映像に切り替える」 p.32
- 2 プロジェクターに、USBストレージをセットします。**
 - ☛ 「USB機器の接続」 p.25

スライドショーが起動して、ファイル一覧画面が表示されます。

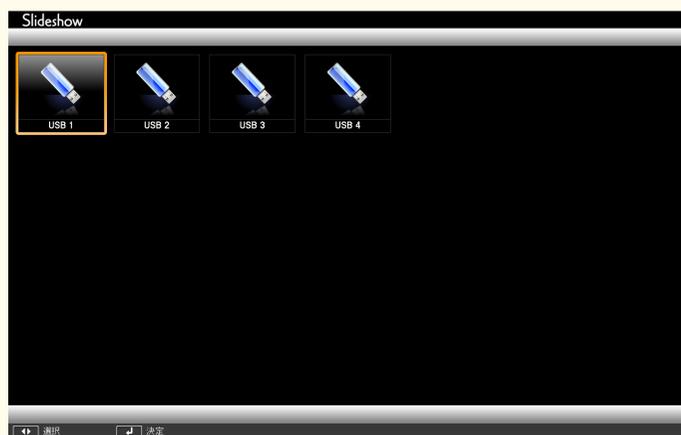
- 以下のファイルはサムネイル表示(ファイルの内容が小さい画像で表示)されます。
 - JPEGファイル
 - FSEファイル(スライドの1枚目の画像)
 - PDFファイル(PDFの1ページ目の画像)
 - AVIファイル(動画の始めから15秒付近の画像)
- それ以外のファイルとフォルダーは次表のようにアイコンで表示されます。

アイコン	ファイル	アイコン	ファイル
	FSEファイル※		BMPファイル
	JPEGファイル※		GIFファイル
	AVI(Motion JPEG) ファイル※		PNGファイル
	PDFファイル※		

※ サムネイル表示できない場合は、アイコンで表示されます。



- USBカードリーダーにメモリーカードをセットして本機に接続することができます。ただし、市販のUSBカードリーダーには本機で使用できないものもあります。
- 以下の画面(ドライブの選択画面)が表示されたときは、【】【】【】【】ボタンを押して使用するドライブを選択し、【】ボタンを押します。



- ドライブの選択画面を表示するには、ファイル一覧画面上部の「ドライブの選択」にカーソルを合わせて【】ボタンを押します。

投写する

- 1 【】【】【】【】ボタンを押して、操作の対象となるファイルまたはフォルダーを選択します。



現在表示中の画面にすべてのファイルやフォルダーが表示しきれていない場合は、リモコンの【】ボタンを押すか、画面下部の「次のページ」にカーソルを合わせて【】ボタンを押します。

前の画面に戻る場合は、リモコンの【】ボタンを押すか、画面上部の「前のページ」にカーソルを合わせて【】ボタンを押します。

- 2 【】ボタンを押します。

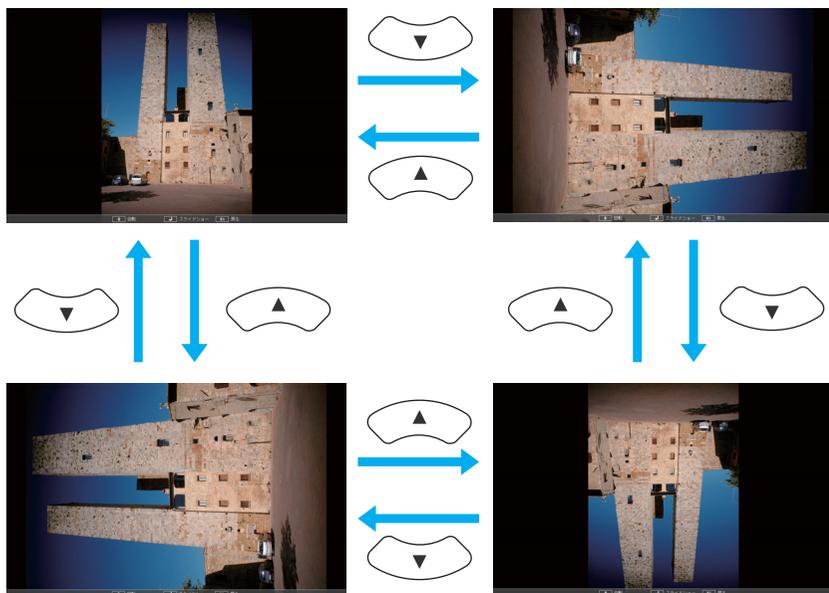
選択した映像が表示されます。

フォルダーを選択したときは、フォルダー内のファイルが表示されます。フォルダーを開いた画面で、「上へ戻る」を選択して【】ボタンを押すとフォルダーを開く前の画面に戻ります。

画像を回転する

再生した画像を90°単位で回転できます。スライドショー実行時に再生される画像も回転できます。

- 1 画像を再生するか、スライドショーを実行します。
- 2 画像が再生されたら、【】ボタンまたは【】ボタンを押します。



終了する

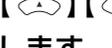
スライドショーを終了するには、接続しているUSB機器を本機のUSB端子から取り外します。デジタルカメラやハードディスクなどは、各機器の電源をオフにしてから取り外してください。

選択した画像、動画を投写する

注意

USBストレージにアクセス中はUSBストレージの接続を外さないでください。スライドショーに異常が発生する場合があります。

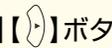
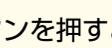
- 1 スライドショーを起動します。
ファイル一覧画面が表示されます。
☛ 「起動する」 p.53

- 2 【】【】【】【】ボタンを押して、投写するファイルを選択します。



- 3 【】ボタンを押します。
画像または動画の再生が始まります。



画像を再生中に【】【】ボタンを押すと、画像ファイルの送り/戻しができます。

- 4** 再生を終了するとき、次の操作を行います。
- 静止画を投写中：【戻る】ボタンを押す。
 - 動画を投写中：【戻る】ボタンを押して表示されるメッセージ画面で、[終了]を選択して【↶】ボタンを押す。
- 再生を終了すると、ファイル一覧画面に戻ります。

PDFファイルを投写する

スライドショーでPDFファイルを投写できます。PDFファイルのページの送り/戻しや拡大・回転ができます。

- 1** スライドショーを起動します。
ファイル一覧画面が表示されます。
☛ 「起動する」 p.53
- 2** 【⏪】【⏩】【⏴】【⏵】ボタンを押して、投写するPDFファイルを選択します。



拡張子が.pdf以外のときは、ファイル一覧画面にファイルが表示されません。

- 3** 【↶】ボタンを押します。
PDFファイルの最初のページが全体表示されます。

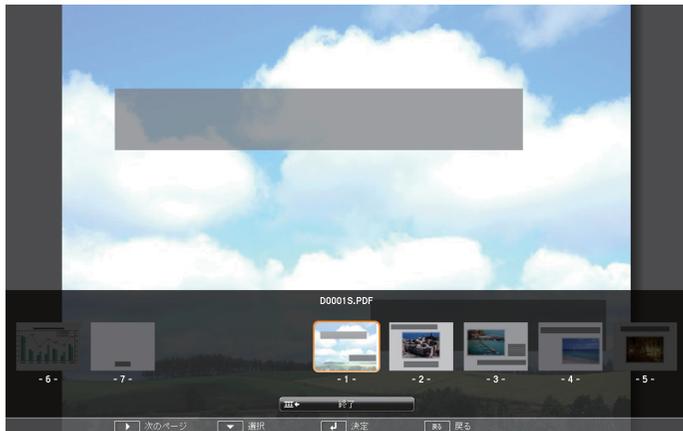


PDFファイルを表示中は以下の操作ができます。

- ページの送り/戻し
全体表示中に【⏪】【⏩】ボタンを押すと、ページが送り/戻しされます。

● ページの選択

【戻る】ボタンを押すと、ページ選択メニューが表示されます。



【】【】ボタンで投写したいページを選択して【】ボタンを押すと、選択したページが表示されます。

ページ選択メニューを表示中に【戻る】ボタンを押すと、ページ選択メニューは消えます。

● ページを拡大して表示

全体表示中に【】ボタンを押すと、表示が拡大されます。

縦長のページは投写画面の横幅いっぱい、横長のページは投写画面の縦幅いっぱい拡大されます。

拡大表示中に【】ボタンを押すと、全体表示に戻ります。

● ページのスクロール

拡大表示中に【】【】【】【】ボタンを押すと、ページがスクロールされます。

● ページの回転

全体表示中に【】【】ボタンを押すと、PDFのすべてのページが90度回転して表示されます。

PDFファイルの表示を終了する

1 PDFファイルを表示中に【戻る】ボタンを押します。
ページ選択メニューが表示されます。

2 【】【】ボタンを押して、[EXIT]を選択します。

3 【】ボタンを押します。
PDFファイルの表示を終了し、ファイル選択画面が表示されます。



スライドショーのPDF再生では、以下の操作はできません。

- ・パスワードの解除
- ・電子署名の表示
- ・JPEG2000画像の表示
- ・透明効果の表示
- ・マルチメディアコンテンツの再生
- ・3Dアートワークの表示
- ・注釈の表示

フォルダー内の画像ファイルを連続投写する(スライドショー)

フォルダー内の画像ファイルを順番に1つずつ投写できます。この機能をスライドショーと呼びます。以下の手順でスライドショーを実行します。



スライドショーでファイルを自動的に切り替えて表示するには、スライドショーの[オプション]で[表示時間設定]を[なし]以外に設定してください。初期設定は3秒に設定されています。

☛ 「画像ファイルの表示設定とスライドショーの動作設定」
p.59

- 1** スライドショーを起動します。
ファイル一覧画面が表示されます。
☛ 「起動する」 p.53
- 2** 【】【】【】【】ボタンを押して、スライドショーを実行するフォルダーにカーソルを合わせ【】ボタンを押します。
- 3** ファイル一覧画面の下部で[スライドショー]を選択して、【】ボタンを押します。
スライドショーが実行され、自動的にフォルダー内の画像ファイルが順次1つずつ投写されます。
最後まで投写すると、自動的にファイル一覧表示に戻ります。オプション画面で[繰り返し再生]を[オン]に設定しているときは、最後まで投写すると最初から投写を繰り返します。
☛ 「画像ファイルの表示設定とスライドショーの動作設定」
p.59
スライドショー投写中は次画面に送る、前画面に戻す、再生を中止することができます。



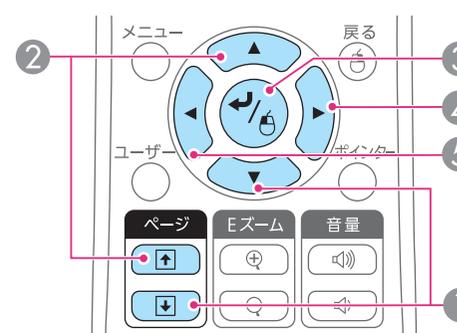
オプション画面で[表示時間設定]を[なし]に設定している場合、スライドショー再生を実行しても自動的にファイルが切り替わりません。【】ボタン、【】ボタンまたは【】ボタンを押して、次のファイルを投写します。

シナリオを再生する

- 1** スライドショーを起動します。
ファイル一覧画面が表示されます。
☛ 「起動する」 p.53
- 2** 【】【】【】【】ボタンを押して、再生するシナリオを選択します。
- 3** 【】ボタンを押します。
再生を開始します。

シナリオ再生中の操作方法

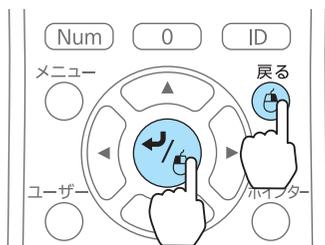
画面切り替え



- ① 次のスライド
- ② 前のスライド
- ③ 次のスライド、またはアニメーション
- ④ 次のスライド、またはアニメーション(アニメーションの効果は再生されません。)

- 5 前のスライド、またはアニメーション(アニメーションの効果は再生されません。)

再生の中止



【戻る】ボタンを押すと、「シナリオ再生を終了しますか？」とメッセージが表示されます。[終了]を選択して【決定】ボタンを押すと終了します。

【戻る】を選択して【決定】ボタンを押すと再生を続けます。

次の機能はスライドショーでファイルを投写しているときも同様に使えます。

- 静止
 - ☛ 「映像を停止させる（静止）」 p.60
- AVミュート
 - ☛ 「映像と音声を一時的に消す（AVミュート）」 p.60
- Eズーム
 - ☛ 「映像を部分的に拡大する（Eズーム）」 p.62
- ポインタ
 - ☛ 「説明箇所を指し示す（ポインタ）」 p.61

画像ファイルの表示設定とスライドショーの動作設定

ファイルの表示順序やスライドショーの動作をオプション画面で設定できます。

- 1 ファイル一覧画面下部の[オプション]を選択して【↵】ボタンを押します。

- 2 次のオプション画面が表示されますので、各項目を設定します。変更したい項目の設定にカーソルを合わせて【↵】ボタンを押すと、設定が有効になります。

各項目の詳細は次の表のとおりです。

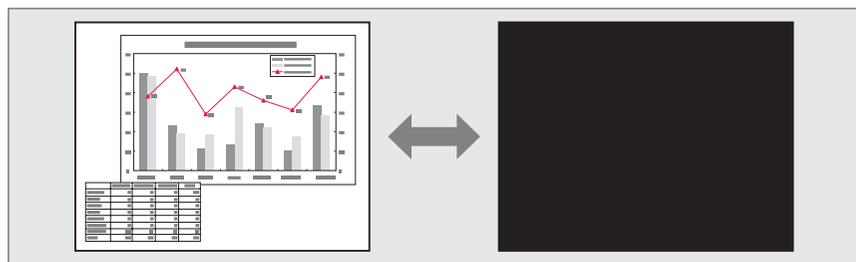


表示順序設定	表示するファイルの順序を、[ファイル名順]、[更新日付順]から選択します。
ソート方向	ファイルの並び替え方向を、[昇順]、[降順]から選択します。
繰り返し再生	繰り返しスライドショーを実行するかを設定します。
表示時間設定	スライドショー再生で、1つのファイルを表示する時間を設定します。[なし](0)~60秒までの設定ができます。[なし]に設定したときは、自動送りは無効となります。
画面切替効果	スライドを切り替えるときの画面効果を設定します。

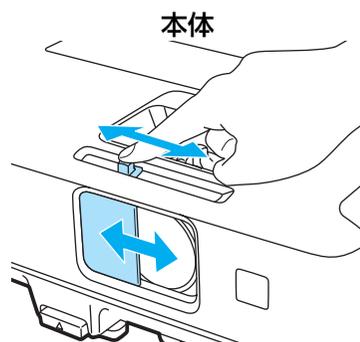
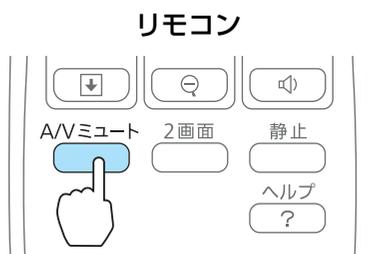
- 3** 【】【】【】【】ボタンを押して【OK】にカーソルを合わせて、【】ボタンを押します。
- 設定が適用されます。
- 設定を適用したくない場合は、【キャンセル】にカーソルを合わせて、【】ボタンを押します。

映像と音声を一時的に消す(A/Vミュート)

スクリーンの映像を消して聴衆を話しに集中させたいときや、ファイルの切り替え操作などを見せたくないときに使います。



【A/Vミュート】ボタンを押す、またはレンズカバーを閉/開するたびにA/Vミュートが実行/解除されます。



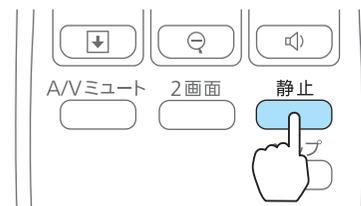
- 動画の場合は、A/Vミュート中も映像と音声は進んでいますので、遮断したときの場面からは再開できません。
- 【A/Vミュート】ボタンを押したときに表示される画面は、環境設定メニューから選択できます。
 - ☛ 【拡張設定】-【表示設定】-【A/Vミュート】 p.90
- レンズカバーを閉じた状態が約30分続くとレンズカバータイマーが機能し、自動的に電源がオフになります。レンズカバータイマーを機能させたくないときは、【レンズカバータイマー】を【オフ】にします。
 - ☛ 【拡張設定】-【動作設定】-【レンズカバータイマー】 p.90
- A/Vミュート中もランプは点灯しているので、ランプ点灯時間に累積されます。

映像を停止させる(静止)

静止を実行したときの画面が投写されたままになりますので、動画の一場面を静止画で投写できます。また、ファイル切り替えの前に静止を実行すれば、操作内容を投写せずに操作できます。

【静止】ボタンを押すたびに静止が実行/解除されます。

リモコン

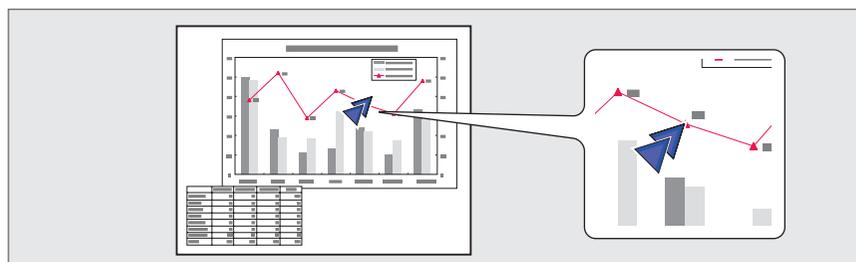




- 音声は停止しません。
- 動画の場合は、停止している間も映像は進んでいますので、静止したときの場面からは再開できません。
- 環境設定メニューやヘルプを表示中に【静止】ボタンを押すと、表示中のメニュー・ヘルプは消去されます。
- Eズーム実行中も、静止機能で停止できます。

説明箇所を指し示す(ポインター)

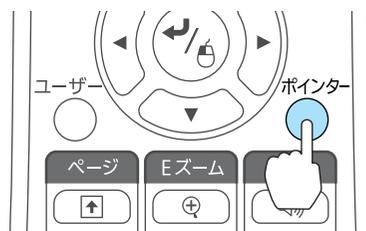
ポインターで映像を指し示し、どこを説明しているかを明確にしたり、注目させるときに使います。



1 ポインターを表示します。

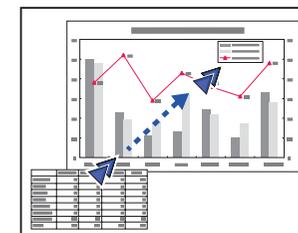
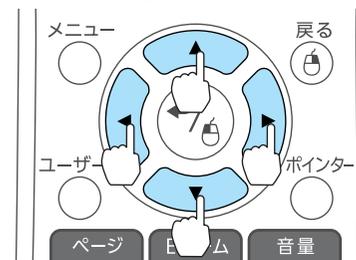
【ポインター】ボタンを押すたびに表示/非表示が切り替わります。

リモコン



2 ポインターアイコン(➤)を移動します。

リモコン



隣り合う【◀】【▶】【↶】【↷】ボタンを組み合わせると斜め方向にも移動することができます。

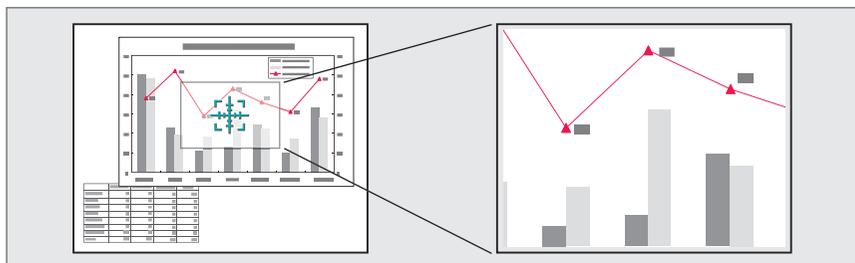


ポインターアイコンの形状は環境設定メニューから設定できます。

☞ 【設定】-[ポインター形状] p.89

映像を部分的に拡大する(Eズーム)

グラフや表の細目などを拡大して見せたいときに便利です。

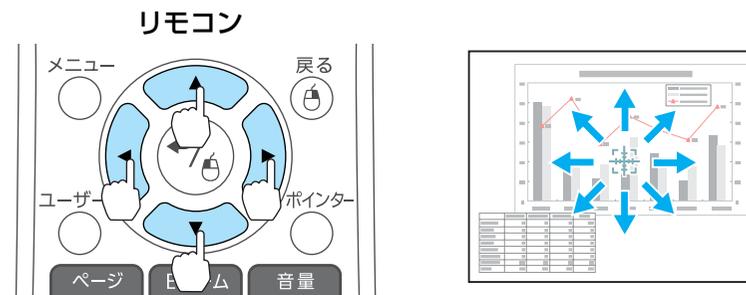


1 Eズームを開始します。

【⊕】ボタンを押すと、ターゲットスコープ(🎯)が表示されます。

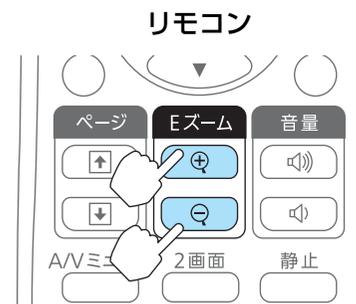


2 拡大表示したい部分にターゲットスコープ(🎯)を移動させます。



隣り合う【△】【▽】【◇】【○】ボタンを組み合わせると斜め方向にも移動することができます。

3 拡大します。



【⊕】ボタン：押すたびに拡大されます。ボタンを押し続けると、すばやく拡大できます。

【⊖】ボタン：拡大した結果を縮小します。

【戻る】ボタン：Eズームを解除します。

- 画面上に倍率が表示されます。1～4倍まで、25段階で拡大できます。
- 拡大投写中に【△】【▽】【◇】【○】ボタンを押すと、映像をスクロールできます。

リモコンでマウスポインターを操作する(ワイヤレスマウス)

本機のリモコンでコンピューターのマウスポインターを操作できます。この機能をワイヤレスマウスと呼びます。

ワイヤレスマウスの対応OSは以下の通りです。

	Windows	Mac OS X
OS	Windows 2000 Windows XP Windows Vista Windows 7	Mac OS X 10.3.x Mac OS X 10.4.x Mac OS X 10.5.x Mac OS X 10.6.x Mac OS X 10.7.x

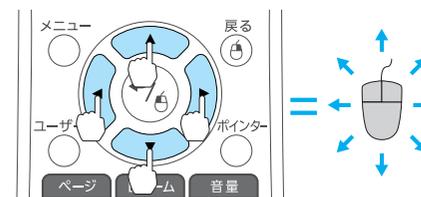
※ OSのバージョンによりワイヤレスマウス機能を使用できない場合があります。

ワイヤレスマウスを実行するには、以下の設定をします。

- 1** 本機とコンピューターを市販のUSBケーブルで接続します。
☛ 「コンピューターの接続」 p.23
- 2** 入力ソースを以下のいずれかに切り替えます。
 - USB Display
 - コンピューター
 - HDMI
 - DisplayPort
 ☛ 「リモコンで目的の映像に切り替える」 p.32

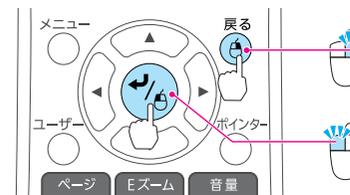
設定した後はマウスポインターを次のように操作できます。

マウスポインターの移動



【↑】【↓】【←】【→】ボタン：
マウスポインターを移動します。

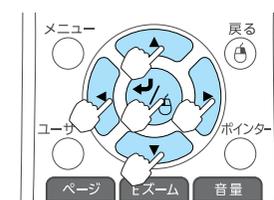
マウスクリック



【戻る】ボタン：マウスの右クリックの働きをします。

【↵】ボタン：マウスの左クリックの働きをします。ダブルクリックのときはすばやく2回押します。

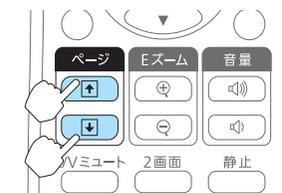
ドラッグ&ドロップ



【↵】ボタンを押したまま、【↑】【↓】【←】【→】ボタンを押してドラッグします。

任意の場所で【↵】ボタンを離すと、ドロップします。

ページの送り/戻し



【←】ボタン：ページを戻します。

【→】ボタン：ページを送ります。



- 隣り合う【】【】【】【】ボタンを組み合わせて押すと斜め方向にも移動することができます。
- コンピューターでマウスボタンの左右を逆に設定している場合は、リモコンでの操作も逆になります。
- 以下のときは、ワイヤレスマウス機能は動作しません。
 - ・環境設定メニューやヘルプを表示しているとき
 - ・ワイヤレスマウス以外の機能を実行しているとき(音量調整など)。
 ただし、Eズームやポインター機能を使用しているときは、ページの送り/戻しのみ操作できます。

複数台のプロジェクターから投写した時の色差補正

本機を複数台並べて並列投写したとき、それぞれの映像の明るさと色合いの違いをマルチスクリーンカラーアジャストメント機能で補正することができます。



補正を行ってもそれぞれの映像の明るさと色合いは完全に一致しないこともあります。

補正手順の概要

複数台設置されているプロジェクターの中で補正が必要なプロジェクターに対して1台ずつ以下の操作を行い補正します。

1. プロジェクターIDを設定する

補正対象のプロジェクターを限定して操作できるように、対象となるプロジェクターにプロジェクターIDを設定します。

2. 色差補正を行う

複数台を投写した状態で色差補正を行います。黒から白を5段階に区分し各段階をレベル1～5と呼び、この5レベルすべてに対して次の2点の補正を行います。

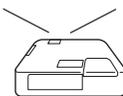
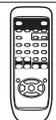
- 明るさの補正
映像の明るさが揃うように補正します。
- 色の補正
映像の色味が合うように補正します。

IDを設定してリモコンを使用する

プロジェクターにIDを設定すると、リモコンから操作できるプロジェクターを限定できます。

プロジェクターには1～9までのIDを設定できます。初期値はオフになっています。

リモコンでは、操作対象のプロジェクターIDを0～9の中から選択できます。プロジェクターIDとリモコンで選択するIDの組み合わせ例は、以下の通りです。

リモコン操作	組み合わせの例		解説
○(可)		プロジェクターID：1	プロジェクターIDとリモコンで選択したIDが同じなのでプロジェクターをリモコンで操作できます。
		リモコンで選択したID：1	
○(可)		プロジェクターID：オフ	プロジェクターIDをオフに設定すると、リモコンのID設定に関わらず、プロジェクターをリモコンで操作できます。

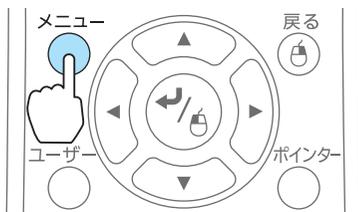
リモコン操作	組み合わせの例		解説
		リモコンで選択したID : 1	
○(可)		プロジェクターID : 1	リモコンでIDを0に設定すると、プロジェクターのID設定に関わらず、プロジェクターをリモコンで操作できます。
		リモコンで選択したID : 0	
×(不可)		プロジェクターID : 1	プロジェクターIDとリモコンで選択したIDが一致しないので、プロジェクターをリモコンで操作できません。
		リモコンで選択したID : 3	

プロジェクターのIDを設定する

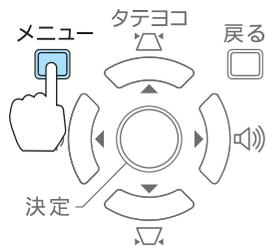
1 投写中に【メニュー】ボタンを押します。

☞ 「環境設定メニューの操作」 p.84

リモコンの場合



操作パネルの場合

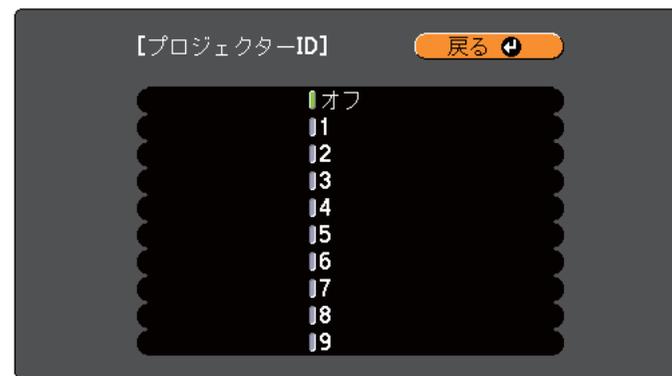


2 [拡張設定]から[プロジェクターID]を選びます。



[戻る]:戻る [◆]:選択 [決定]:決定 [メニュー]:終了

3 設定したいIDを選び【決定】ボタンを押します。



[戻る]/[決定]:戻る [◆]:選択 [メニュー]:終了

4 【メニュー】ボタンを押して設定を終了します。

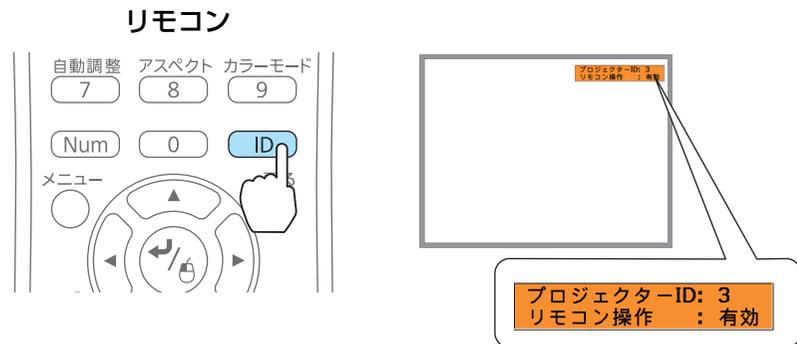
リモコンで操作対象のプロジェクトターのIDを選択する



IDの選択はプロジェクトターの電源を入れるたびに行ってください。
電源投入時、リモコンのID設定は0になっています。

- 1 操作するプロジェクトターのリモコン受光部にリモコンを向けて、リモコンの【ID】ボタンを押します。

ボタンを押すと、投写画面に現在のプロジェクトターIDが表示されます。表示は約3秒経つと消えます。



- 2 【ID】ボタンを押したまま、操作対象プロジェクトターのIDと同じ数字のボタンを押します。

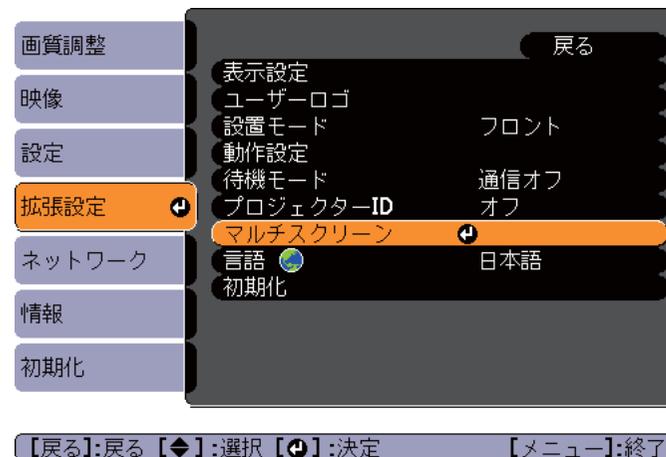


操作対象のプロジェクトターが選択されます。

補正方法

複数台を投写した状態でプロジェクトターごとの明るさと色合いの差が縮まるように補正します。

- 1 【メニュー】ボタンを押します。
☞ 「環境設定メニューの操作」 p.84
- 2 【拡張設定】から【マルチスクリーン】を選びます。



- 3 【調整レベル】で補正するレベルを選択します。
 - レベルを選択するたびに、選択したレベルのパターンが表示されます。
 - どのレベルから調整を始めてもかまいませんが、通常は1から5あるいは5から1のように、暗い順あるいは明るい順に補正します。
- 4 【明るさ補正】で明るさの補正をします。

- [レベル5]を選択しているときは、複数あるプロジェクターのうち最も暗い映像に合わせます。
- [レベル1]を選択しているときは、複数あるプロジェクターのうち最も明るい映像に合わせます。
- [レベル2]～[レベル4]を選択しているときは、複数あるプロジェクターのうち中間の明るさの映像に合わせます。
- 【決定】ボタンを押すたびにパターン表示/通常の映像表示が切り替わりますので、実際の映像で補正結果の確認や補正を行うこともできます。

5 [色補正(緑-赤)]と[色補正(青-黄)]を補正します。

6 すべてのレベルを補正し終わるまで、手順3～5を繰り返し行います。

7 補正がすべて終了したら、【メニュー】ボタンを押して設定を終了します。

ユーザーロゴの登録

現在表示している映像をユーザーロゴとして登録します。

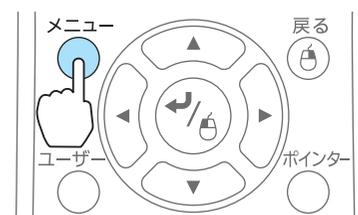


ユーザーロゴは一度登録すると、初期設定状態には戻せません。

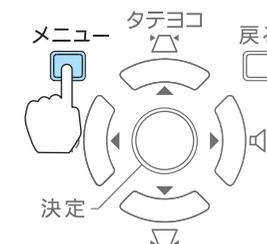
1 ユーザーロゴとして登録したい映像を投写し、【メニュー】ボタンを押します。

☞ 「環境設定メニューの操作」 p.84

リモコンの場合



操作パネルの場合



2 [拡張設定]から[ユーザーロゴ]を選びます。



【戻る】:戻る 【◆】:選択 【↵】:決定 【メニュー】:終了



- [パスワードプロテクト]で[ユーザーロゴ保護]を[オン]に設定しているときは、メッセージが表示され操作することはできません。[ユーザーロゴ保護]を[オフ]にしてから操作してください。
- 「利用者を管理する (パスワードプロテクト)」 p.69
- 台形補正、Eズーム、アスペクト、ズーム調整を行っているときに[ユーザーロゴ]を選択すると、実行している機能は一時的に解除されます。

3 「現在投写されている映像の一部をユーザーロゴとして使いますか？」と表示されるので、[はい]を選択します。

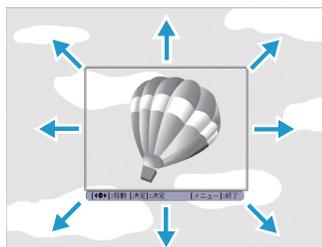
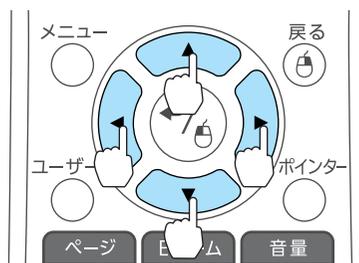


リモコンまたは操作パネルの【↶】ボタンを押すと、映像信号の実際の解像度に切り替わるため、信号によっては画面サイズが変わることがあります。

4 登録する映像と選択枠が表示されるので、ユーザーロゴとして使う位置を選択します。

プロジェクターの操作パネルでも同様の操作を行えます。

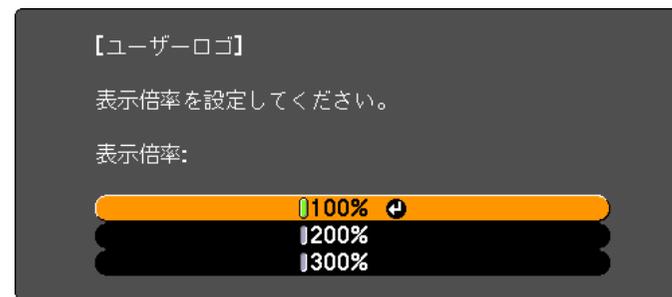
リモコン



登録できるサイズは400x300ドットです。

5 【↶】ボタンを押すと「この映像を使用しますか？」と表示されるので、[はい]を選択します。

6 表示倍率設定画面で倍率を選択します。



【戻る】:戻る 【◆】:選択 【⊕】:決定 【メニュー】:終了

7 「この映像を保存しますか？」とメッセージが表示されるので、[はい]を選択します。

映像が保存されます。保存が終了すると「ユーザーロゴの設定が終了しました。」とメッセージが表示されます。



- ユーザーロゴの登録を実行すると、先に登録されているユーザーロゴは消去されます。
- 保存にはしばらく時間がかかります。保存している間は、本機や接続している機器を操作しないでください。故障の原因になります。

本機には、次の充実したセキュリティ機能が備わっています。

- パスワードプロテクト
本機を使用する人を制限・管理できます。
- 操作ボタンロック
本機の設定を無断で変更されたり、いたずらされるのを防止できます。
☛ 「操作を制限する（操作ボタンロック）」 p.71
- 盗難防止用ロック
本機には機器そのものを持ち出されないように、盗難防止の機構が備わっています。
☛ 「盗難防止用ロック」 p.72

利用者を管理する(パスワードプロテクト)

パスワードプロテクト機能を有効にすると、電源を入れてもパスワードを知らない人は投写できません。さらに、電源を入れたときに表示される社名ロゴ等を変更できなくなります。この結果、本機を持ち出しても使用できないため、盗難等の防止につながります。ご購入時は、パスワードプロテクト機能は無効になっています。

パスワードプロテクトの種類

本機のパスワードプロテクトは利用シーンに応じて次の3種類の設定ができます。

- [電源投入時]
[電源投入時]を[オン]にすると、電源コードで本機とコンセントを接続後、最初に電源を入れたとき(ダイレクトパワーオンも同様)に、事前に設定してあるパスワードの入力が要求されます。正しいパスワードを入力しないと、投写は開始しません。

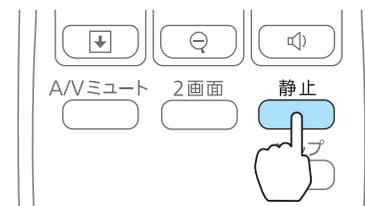
- [ユーザーロゴ保護]
せっかくプロジェクターの所有者を明示するためにユーザーロゴを登録していても、ロゴ表示を変更されては意味がありません。[ユーザーロゴ保護]を[オン]にすると、ユーザーロゴに関する次の設定変更を禁止できます。
 - ユーザーロゴのキャプチャー
 - [表示設定]の[背景表示]、[スタートアップスクリーン]、[AVミュート]の設定
☛ [拡張設定]-[表示設定] p.90
- [ネットワーク保護]
[ネットワーク保護]を[オン]にすると、[ネットワーク]の設定変更を禁止できます。
☛ 「ネットワークメニュー」 p.92

パスワードプロテクトの設定方法

パスワードプロテクトの設定は、下記の手順で行います。

- 1** 投写中に【静止】ボタンを約5秒間押し続けます。
パスワードプロテクト設定メニューが表示されます。

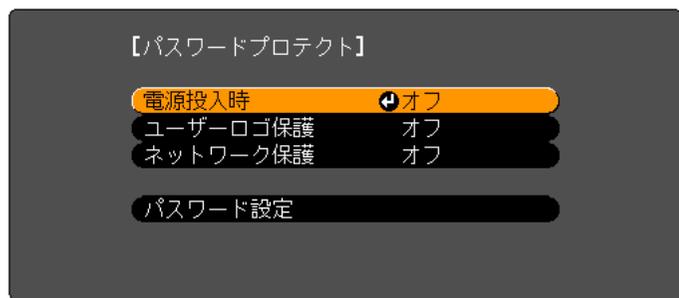
リモコン





- すでにパスワードプロテクトが有効になっていると、パスワードの入力が要求されます。パスワードを正しく入力するとパスワードプロテクト設定メニューが表示されます。
 ● 「パスワードの認証」 p.70
- パスワード設定をしたときは、盗難防止の効果をさらに高めるために製品同梱のパスワードプロテクトシールを本機のお好きな位置に貼ってください。

2 設定したいパスワードプロテクトの種類を選択し、【←】ボタンを押します。



【◆】:選択 【⊙】:決定

【メニュー】:終了

3 【オン】を選択し、【←】ボタンを押します。

【戻る】ボタンを押して、手順2の画面に戻ります。

4 パスワードを設定します。

- (1) 【パスワード設定】を選択し、【←】ボタンを押します。
- (2) 「パスワードを変更しますか？」と表示されるので、【はい】を選択し、【←】ボタンを押します。初期設定でパスワードは「0000」に設定されています。必ず任意のパスワードに変更してください。【いいえ】を選択すると、手順2の画面に戻ります。

- (3) 【Num】ボタンを押したまま、テンキー部の数字のボタンで4桁の数字を入力します。入力したパスワードは「****」と表示されます。4桁目を入力すると、確認画面に切り替わります。

リモコン

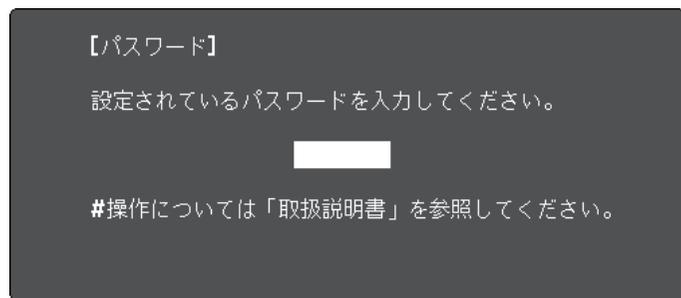


- (4) 入力したパスワードを再度入力します。「パスワード設定が終了しました。」とメッセージが表示されます。間違えてパスワードを入力した場合は、メッセージが表示されますのでパスワード設定をやり直してください。

パスワードの認証

パスワードの入力画面が表示されたら、設定してあるパスワードをリモコンで入力します。

【Num】ボタンを押したまま、テンキー部の数字のボタンを押してパスワードを入力します。



[0-9]:入力

正しいパスワードを入力すると、一時的にパスワードプロテクトが解除されます。

注意

- パスワードに関してお問い合わせいただいた際は、お客様のお名前や連絡先などをお聞きし、お客様から返送いただいた『お客様情報+正式保証書発行カード』と照合しご本人様であることを確認させていただきます。同梱の『お客様情報+正式保証書発行カード』に必要事項を記入して、必ず返送してください。
- 間違ったパスワードを続けて3回入力した場合は、「プロジェクターの動作を停止します。」と、メッセージが約5分間表示され、本機がスタンバイ状態になります。この場合は、電源プラグを抜いて差し直し、本機の電源を入れます。パスワードの入力を求める画面が表示されますので、パスワードを正しく入力してください。
- 万一、パスワードを忘れてしまったときは、画面に表示されている問い合わせコード：xxxxxの番号を控えて、プロジェクターインフォメーションセンターにご連絡いただき、その指示に従ってください。
☛ 『お問い合わせ先』
- 上記の操作を繰り返し、間違ったパスワードを続けて30回入力した場合は、次のメッセージが表示されパスワード入力もできなくなります。「プロジェクターの動作を停止します。各修理窓口へ修理を依頼してください。」
☛ 『お問い合わせ先』

操作を制限する(操作ボタンロック)

次のどちらかを選んで本機のお操作パネルのボタンをロックできます。

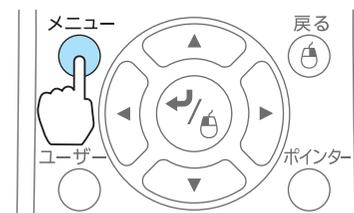
- 全ロック
操作パネルのボタンをすべてロックします。操作パネルからは電源のオン/オフを含めまったく操作できなくなります。
- 操作ロック
操作パネルの【】ボタンを除くすべてのボタンをロックします。

イベントやショーなどで投写中に本機のお操作をできないようにしたり、学校などで操作できるボタンを制限したいときに便利です。リモコンからは通常どおり操作できます。

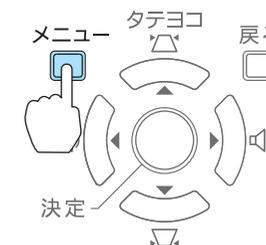
1 投写中に【メニュー】ボタンを押します。

☛ 『環境設定メニューの操作』 p.84

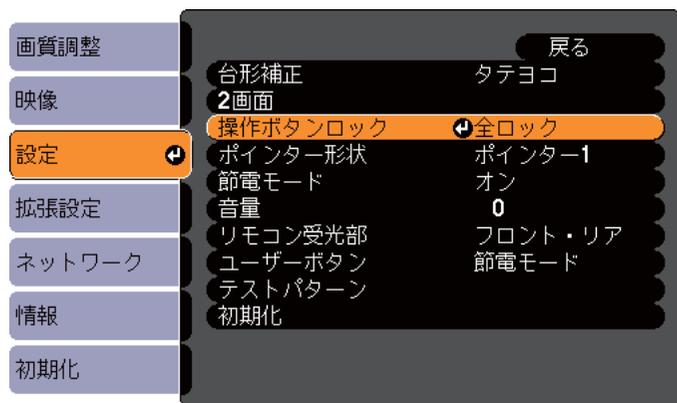
リモコンの場合



操作パネルの場合



2 [設定]から [操作ボタンロック]を選びます。



【戻る】:戻る 【◀▶】:選択 【↵】:決定 【メニュー】:終了

3 目的に応じて、[全ロック]または[操作ロック]を選択します。



【戻る】:戻る 【◀▶】:選択 【↵】:決定 【メニュー】:終了

4 確認のメッセージが表示されるので、[はい]を選びます。
設定に従い、操作パネルのボタンがロックされます。



操作パネルのボタンロックを解除するには、次の2通りの方法があります。

- [操作ボタンロック]で[オフ]を選びます。
☛ 【設定】-[操作ボタンロック] p.89
- 操作パネルの【↵】ボタンを約7秒間押し続けると、メッセージが表示され、ロックが解除されます。

盗難防止用ロック

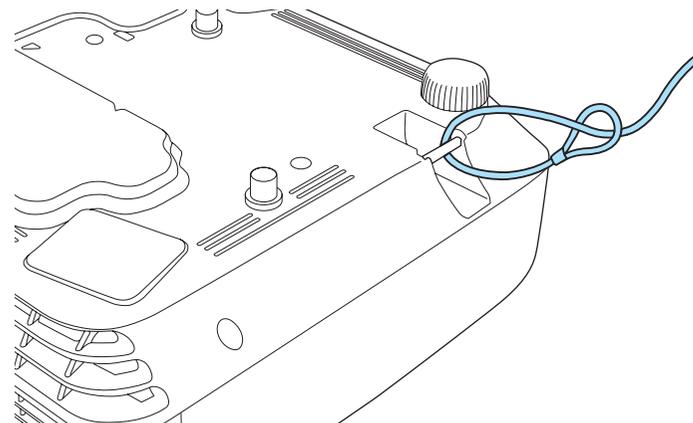
本機には機器そのものを持ち出されないように、次の機構が備わっています。

- セキュリティーロット
Kensington社製のマイクロサーバーセキュリティーシステムに対応したセキュリティーロットです。
マイクロサーバーセキュリティーシステムについての詳細は、以下をご覧ください。
☛ <http://www.kensington.com/>
- セキュリティーケーブル取付け部
市販の盗難防止用ワイヤーロックなどを通して、机や柱などに固定できます。

ワイヤーロックの取り付け方

盗難防止用ワイヤーロックのワイヤーを通します。

ワイヤーロックの施錠方法は、ワイヤーロックに添付の取扱説明書をご覧ください。



EasyMP Monitorについて

EasyMP Monitorを使うと、ネットワーク上の複数のエプソンプロジェクターの状態をコンピューターのモニターに表示して確認したり、コンピューターから制御したりできます。

EasyMP Monitorは以下のWebサイトからダウンロードしてください。

<http://www.epson.jp/download/>

EasyMP Monitorでできる監視・制御の概要は次のとおりです。

● 監視・制御するプロジェクターの登録

ネットワーク上のプロジェクターを自動検索し、検出された中から登録するプロジェクターを選ぶことができます。
目的のプロジェクターのIPアドレスを入力し登録できます。

● 登録したプロジェクターのうち、一括して監視・制御するものをまとめてグループ登録できます。

● 登録したプロジェクターの状態監視

プロジェクターの電源の状態(オン/オフ)や異常・警告などの対処が必要な状態になっていないかなどをアイコンで視覚的に確認できます。
気になるグループまたは特定のプロジェクターを選択して、ランプの累積点灯時間や選択されている入力ソース、異常・警告の内容などの詳細情報を確認できます。

● 登録したプロジェクターの制御

グループ単位で一括して、あるいは特定のプロジェクターだけを選んで電源の状態(オン/オフ)を切り替えたり、入力ソースを切り替えたりできます。

Web制御機能を使いプロジェクターの環境設定メニューの設定を変更できます。

タイマー設定で決まった日時に定例の制御を行えます。

● メール通知機能の設定

登録したプロジェクターに異常などの対処が必要な状態が発生した場合に、それらの状態がメールで通知されるようにメールアドレスなどの設定ができます。

● 登録したプロジェクターへのメッセージ送信

EasyMP MonitorのプラグインMessage Broadcastingを使って、登録したプロジェクターへJPEGファイルを同時に送信できます。

Message BroadcastingはWebサイトからダウンロードしてください。

Webブラウザを使って設定を変更する(Web制御)

本機とネットワーク接続したコンピューターのWebブラウザを利用して、コンピューターから本機の設定や制御が行えます。この機能を使えば、本機と離れた場所から、設定や制御の操作ができます。また、キーボードを使って設定内容を入力できるので、文字の入力を伴う設定も容易にできます。

Webブラウザは、Microsoft Internet Explorer6.0以降を使用してください。Mac OS Xをお使いの場合は、Safariを使用してください。



【待機モード】を【通信オン】に設定しておく、本機がスタンバイ状態(電源OFFの状態)でも、Webブラウザを使った設定や制御ができます。

☛ 【拡張設定】-[待機モード] p.90

本機の設定

本機の環境設定メニューで設定する項目をWebブラウザ上で設定できます。設定した内容は、環境設定メニューに反映されます。また、Webブラウザでのみ設定できる項目もあります。

Webブラウザで設定できない環境設定メニューの項目

- 設定メニュー - テストパターン
 - 設定メニュー - ポインター形状
 - 設定メニュー - ユーザーボタン
 - 拡張設定メニュー - ユーザーロゴ
 - 拡張設定メニュー - 言語
 - 拡張設定メニュー - 動作設定 - 高地モード
 - 拡張設定メニュー - 動作設定 - レンズカバータイマー
 - 初期化メニュー - 全初期化、ランプ点灯時間初期化
- 各メニューの項目の内容は本機の環境設定メニューと同じです。

☞ 「環境設定メニュー」 p.83

Webブラウザでのみ設定できる項目

- SNMPコミュニティ名(半角英数字で最大32文字)
- Monitorパスワード(半角英数字で最大16文字)

Web制御画面を表示する

以下の手順で、Web制御画面を表示します。

コンピューターとプロジェクターをネットワークに接続できる状態にしておきます。



ご使用のWebブラウザで、プロキシサーバーを使用して接続するように設定されていると、Web制御画面を表示できません。表示したい場合は、プロキシサーバーを使用しないで接続するように設定してください。

- 1 コンピューターでWebブラウザを起動します。
- 2 Webブラウザのアドレス入力部に、プロジェクターのIPアドレスを入力し、コンピューターのキーボードのEnterキーを押します。
Web制御画面が表示されます。
プロジェクターの環境設定メニューのネットワークメニューでWeb制御パスワードを設定しているときは、パスワードを入力する画面が表示されます。
- 3 ユーザーIDとパスワードを入力する画面が表示されます。
ユーザーIDに「EPSONWEB」と入力します。
パスワードの初期設定は「admin」です。



- パスワードの設定が無効でも、ユーザーIDを入力します。ユーザーIDは変更できません。
- パスワードの変更は、環境設定メニューのネットワークメニューから行ってください。
☞ [ネットワーク]-[基本設定]-[Web制御パスワード] p.94

Web Remote画面を表示する

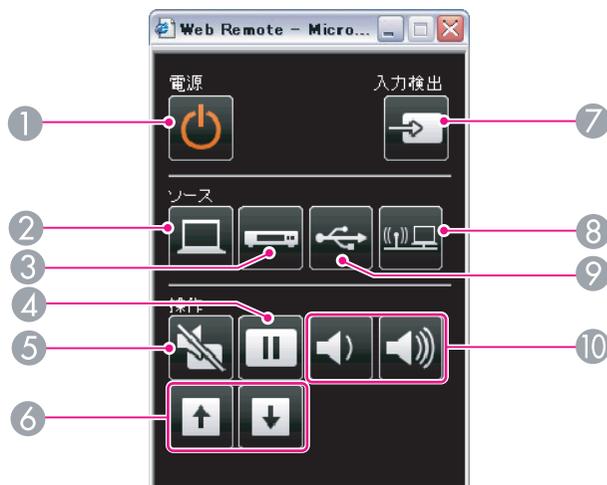
Web Remote機能では、プロジェクターのリモコンでの操作をWebブラウザで行うことができます。

- 1 Web制御画面を表示します。

2 Web Remoteをクリックします。



3 Web Remote画面が表示されます。



名称	働き
① 【 電源 】ボタン	本機の電源をオン/オフします。 ☛「設置から投写までの流れ」 p.30
② 【 コンピューター 】ボタン	押すたびに、以下の入力端子からの映像に切り替えます。 <ul style="list-style-type: none"> • コンピューター1入力端子 • コンピューター2入力端子 • DisplayPort入力端子

名称	働き
③ 【 ビデオ 】ボタン	押すたびに、以下の入力端子からの映像に切り替えます。 <ul style="list-style-type: none"> • ビデオ入力端子 • HDMI入力端子
④ 【 静止 】ボタン	映像を一時停止/解除します。 ☛「映像を停止させる（静止）」 p.60
⑤ 【 AVミュート 】ボタン	映像と音声を一時的に遮断/解除します。 ☛「映像と音声を一時的に消す（AVミュート）」 p.60
⑥ 【 ページ 】ボタン 【送り】【戻し】	以下のときに、PowerPointファイルなどのページを送り/戻しします。 <ul style="list-style-type: none"> • ワイヤレスマウス機能時 ☛「リモコンでマウスポインターを操作する（ワイヤレスマウス）」 p.63 • USBディスプレイ時 ☛「USBディスプレイで投写する」 p.32 • ネットワーク接続時 スライドショーで投写しているときは、画像ファイルを送り/戻しします。
⑦ 【 入力検出 】ボタン	映像信号が入力されている入力端子からの映像に切り替えます。 ☛「入力信号を自動検出して切り替える（入力検出）」 p.31
⑧ 【 LAN 】ボタン	ネットワーク経由で接続している機器からの映像に切り替えます。 ☛「リモコンで目的の映像に切り替える」 p.32
⑨ 【 USB 】ボタン	押すたびに、以下の映像に切り替えます。 <ul style="list-style-type: none"> • USBディスプレイ • USB(TypeA)端子に接続した機器からの映像
⑩ 【 音量 】ボタン 【 音量下 】【 音量上 】	【 音量下] 音量を下げます。 【 音量上] 音量を上げます。 ☛「音量を調整する」 p.41

メール通知機能で異常を通知する

メール通知機能の設定をしておくことで、異常/警告状態になったとき、設定したメールアドレスに異常状態が電子メールで通知されます。これにより、離れた場所においても本機の異常を知ることができます。

☛ [ネットワーク]-[メール]-[メール通知機能] p.95



- 送信先(宛先)は最大3つまで登録でき、一括して送ることができます。
 - 本機に致命的な異常が発生し、瞬時に起動停止状態になった場合などは、メール送信できないことがあります。
 - [待機モード]を[通信オン]に設定しておくことで、本機がスタンバイ状態(電源OFFの状態)でも、制御ができます。
- ☛ [拡張設定]-[待機モード] p.90

異常通知メールの見方

メール通知機能をオンに設定して本機が異常/警告状態になったときには、次のメールが送付されます。

メール差出人：宛先1のアドレス

メールタイトル：EPSON Projector

1行目：異常が生じたプロジェクターのプロジェクター名

2行目：異常が生じたプロジェクターに設定されているIPアドレス

3行目以降：異常の内容

異常の内容は、1行に1つずつ記載されています。メッセージの示す主な内容は以下のとおりです。

- Internal error(内部異常)
- Fan related error(ファン異常)

- Sensor error(センサー異常)
 - Lamp timer failure(ランプ点灯失敗)
 - Lamp out(ランプ異常)
 - Internal temperature error(内部高温異常/オーバーヒート)
 - High-speed cooling in progress(高温警告)
 - Lamp replacement notification(ランプ交換勧告)
 - No-signal(ノーシグナル)
本機に映像信号が入力されていません。接続状態や、接続している機器の電源が入っているかを確認してください。
 - Auto Iris Error(オートアイリス異常)
 - Power Err. (Ballast)(電源系異常(バラスト))
- 異常/警告の対処方法は、以下をご確認ください。

☛ 「インジケータの見方」 p.102

SNMPを使って管理する

環境設定メニューで[SNMP]を[オン]に設定をしておくことで、異常/警告状態になったとき、設定したコンピューターに異常状態が通知されます。これにより、離れた場所で集中管理している状態でも本機の異常を知ることができます。

☛ [ネットワーク]-[その他]-[SNMP] p.97



- SNMPによる管理は、必ず、ネットワーク管理者などネットワークに詳しい人が行ってください。
- SNMP機能を使って本機を監視するには、コンピューター側にSNMPマネージャプログラムがインストールされている必要があります。
- 通知先のIPアドレスは2つまで登録できます。

ESC/VP21コマンド

ESC/VP21を使うと本機を外部機器から制御できます。

コマンドリスト

本機に電源オンのコマンドを送信すると、電源が入りウォームアップ状態になります。本機は電源オンの状態になったときにコロン ‘:’ (3Ah) を返信します。

このように本機はコマンドを受け取ると、そのコマンドを実行後 ‘:’ を返信し、次のコマンドを受け付けます。

異常終了のときは、エラーメッセージを出力した後に ‘:’ を返信します。

主な内容は以下のとおりです。

項目		コマンド	
電源のオン/オフ	オン	PWR ON	
	オフ	PWR OFF	
信号切り替え	コンピューター1	オート	SOURCE 1F
		RGB	SOURCE 11
		コンポーネント	SOURCE 14
	コンピューター2	オート	SOURCE 2F

項目		コマンド
	RGB	SOURCE 21
		コンポーネント
	HDMI	SOURCE 30
	ビデオ	SOURCE 41
	USB Display	SOURCE 51
	USB	SOURCE 52
	LAN	SOURCE 53
	DisplayPort	SOURCE 70
A/Vミュート機能のオン/オフ	オン	MUTE ON
	オフ	MUTE OFF

各コマンドの最後に、復帰(CR)コード(0Dh)を追加して送信してください。

詳細はお買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

👉 [『お問い合わせ先』](#)

ケーブル配線

シリアル接続

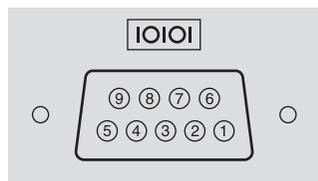
- コネクター形状：D-Sub 9pin(オス)

- プロジェクター入力端子名：RS-232C

<プロジェクター側>



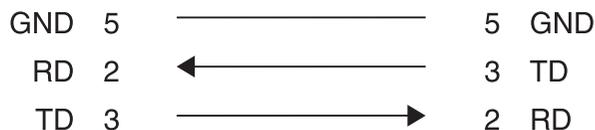
<コンピューター側>



<プロジェクター側>

(PCシリアルケーブル)
ケーブルタイプ：
クロスケーブル

<コンピューター側>



信号名	機能
GND	各信号線の接地
TD	送信データ
RD	受信データ

通信プロトコル

- ボーレート基準速度：9600bps
- データ長：8bit
- パリティ：なし
- ストップビット：1bit
- フロー制御：なし

PJLinkについて

JBMIA(社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会)によりネットワーク対応プロジェクターの制御用プロトコルの標準化が進められ、制御用標準プロトコルPJLink Class1が策定されました。

本機は、JBMIAが策定したPJLink Class1の規格に適合しています。

PJLinkを使うにはネットワーク設定が必要です。ネットワーク設定については以下をご覧ください。

👉 「ネットワークメニュー」 p.92

PJLink Class1で定義されているコマンドのうち、以下の内容を除く全コマンドに対応しており、PJLink 規格適合性検証で適合を確認しています。

URL：<http://pjlink.jbmia.or.jp/>

• 非対応コマンド

機能	PJLinkコマンド	
ミュート設定	映像ミュート設定	AVMT 11
	音声ミュート設定	AVMT 21

• PJLinkで定義している入力名と本機の入力ソースの対応

入力ソース	PJLinkコマンド
コンピューター1	INPT 11
コンピューター2	INPT 12
ビデオ	INPT 21
HDMI	INPT 32
DisplayPort	INPT 35
USB	INPT 41

入力ソース	PJLinkコマンド
LAN	INPT 52
USB Display	INPT 53

- 「メーカー名問合せ」で表示するメーカー名
EPSON
- 「機種情報問合せ」で表示する機種名
EB-1960/EB-C760X/PowerLite 1960
EB-1950/EB-C750X/PowerLite 1950
EB-1940W/EB-C740W/PowerLite 1940W

Crestron RoomView®について

Crestron RoomView®はCrestron®社が提供する統合コントロールシステムです。ネットワークで接続された複数の機器を一括して監視・制御できます。

本機はその制御用プロトコルに対応していますので、Crestron RoomView®で構築されたシステム環境下でご利用いただけます。

Crestron RoomView®の詳細は、Crestron®社のWebページを参照してください。(英語のみの表示となります。)

<http://www.crestron.com>

Crestron RoomView®の概要は次のとおりです。

- **Webブラウザーを利用した遠隔操作**
コンピューターの画面上でリモコンと同様にプロジェクターを操作できます。

• アプリケーションソフトを利用した監視・制御

Crestron®社が提供するアプリケーションソフトCrestron RoomView® Express/Crestron RoomView® Server Editionでシステム内の機器の監視、ヘルプデスクとの通信、緊急時のメッセージ送信を行えます。詳細は以下をご覧ください。

<http://www.crestron.com/getroomview>

本書では、Webブラウザーを利用してコンピューターの画面上で本機を操作する方法を説明します。



- 文字入力に使用できるのは半角英数字と記号のみです。
- Crestron RoomView®使用中は、以下の機能はご利用になれません。
 - ☛ 「Webブラウザーを使って設定を変更する (Web制御)」
[p.73](#)
Message Broadcasting (EasyMP Monitorのプラグイン)
 - [待機モード]を[通信オン]に設定しておく、本機がスタンバイ状態(電源OFFの状態)でも、制御ができます。
 - ☛ [拡張設定]-[待機モード] [p.90](#)

コンピューターの画面上でプロジェクターを操作する

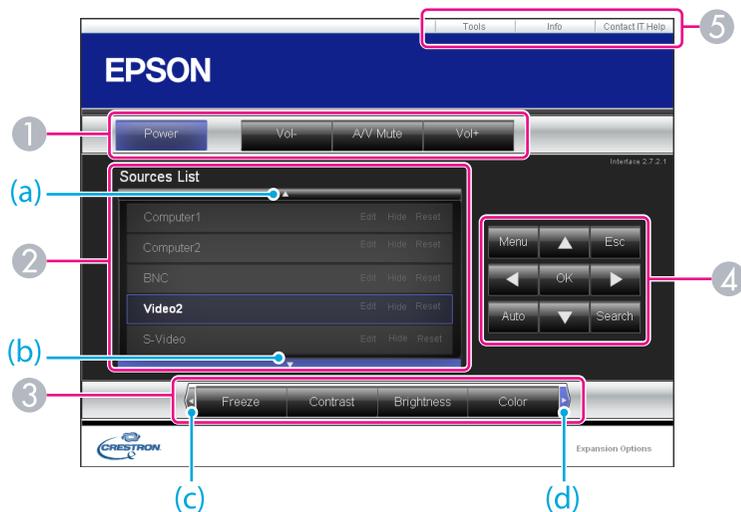
操作画面を表示する

操作の前に以下の点をご確認ください。

- コンピューターとプロジェクターをネットワークに接続できる状態にしておきます。
- [ネットワーク]メニューの[Crestron RoomView]を[オン]に設定してください。
 - ☛ [ネットワーク]-[その他]-[Crestron RoomView] [p.97](#)

- 1 コンピューターでWebブラウザを起動します。
- 2 Webブラウザのアドレス入力部に、プロジェクターのIPアドレスを入力して、キーボードのEnterキーを押します。
操作画面が表示されます。

操作画面の使い方



1 各ボタンをクリックすると、以下の操作を行えます。

ボタン	機能
Power	電源をオン/オフします。
Vol-/Vol+	音量の調整を行います。

ボタン	機能
A/V Mute	映像と音声を一時的に遮断/解除します。 ☞「映像と音声を一時的に消す (A/Vミュート)」 p.60

- 2 クリックした入力ソースの映像に切り替わります。画面に表示されていない入力ソースは(a)、(b)をクリックして上下にスクロールすると表示されます。映像信号が入力されているソースは青色で表示されます。ソース名は任意で変更できます。
- 3 各ボタンをクリックすると、以下の操作を行えます。画面に表示されていないボタンは(c)、(d)をクリックして左右にスクロールすると表示されます。

ボタン	機能
Freeze	映像を一時停止/解除します。 ☞「映像を停止させる (静止)」 p.60
Contrast	映像の明暗の差を調整します。
Brightness	映像の明るさを調整します。
Color	映像の色の濃さを調整します。
Sharpness	映像のシャープ感を調整します。
Zoom	[Z]ボタンをクリックすると、投写サイズを変えずに映像を拡大します。[Z]ボタンをクリックすると、[Z]ボタンで拡大した結果を縮小します。 [▲][▼][◀][▶]ボタンで拡大表示する位置を移動します。 ☞「映像を部分的に拡大する (Eズーム)」 p.62

- 4 [▲][▼][◀][▶]ボタンをクリックするとリモコンの【】【】【】【】ボタンと同様の操作を行えます。その他のボタンをクリックすると以下の操作を行えます。

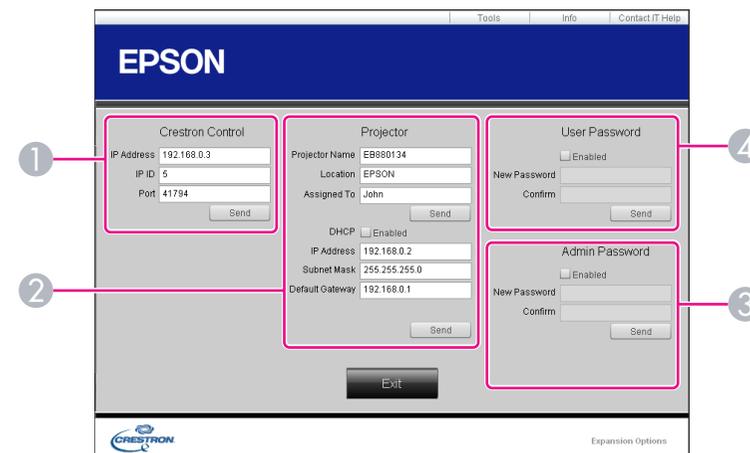
ボタン	機能
OK	リモコンの【↵】ボタンと同じ操作を行えます。 ☛「リモコン」 p.15
Menu	環境設定メニューを表示/終了します。
Auto	コンピューター1入力端子またはコンピューター2入力端子から入力しているアナログRGB信号を投写しているときにクリックすると、トラッキング・同期・表示位置を最適な状態に自動調整します。
Search	映像信号が入力されている入力端子からの映像に切り替えます。 ☛「入力信号を自動検出して切り替える（入力検出）」 p.31
Esc	リモコンの【戻る】ボタンと同じ操作を行えます。 ☛「リモコン」 p.15

⑤ 各タブをクリックすると以下の操作を行えます。

タブ	機能
Contact IT Help	Help Deskウィンドウが表示されます。Crestron RoomView®Expressを利用する管理者に対して、メッセージの送受信を行えます。
Info	現在接続しているプロジェクターの情報を表示します。
Tools	現在接続しているプロジェクターに対して設定の変更を行います。次項を参照してください。

Tools画面の使い方

操作画面で**Tools**タブをクリックすると以下の画面が表示されます。現在接続しているプロジェクターに対して設定の変更を行えます。



- ① **Crestron Control**
Crestron®の集中制御コントローラーに対する各設定を行います。
- ② **Projector**
以下の項目を設定できます。

項目名	機能
Projector Name	現在接続しているプロジェクターを、ネットワーク上で識別するための個別の名前を任意に入力します。（半角英数字15文字以内）
Location	現在接続しているプロジェクターの設置場所名を任意で入力します。（半角英数字記号32文字以内）
Assigned To	プロジェクターの利用者名を任意で入力します。（半角英数字記号32文字以内）
DHCP	DHCPを使用するときは、 Enabled にチェックを入れます。チェックを入れると以降のアドレスの設定はできなくなります。

項目名	機能
IP Address	現在接続しているプロジェクターに割り当てるIPアドレスを入力します。
Subnet Mask	現在接続しているプロジェクターのサブネットマスクを入力します。
Default Gateway	現在接続しているプロジェクターのゲートウェイアドレスを入力します。
Send	Projector で変更した内容を確定するときにクリックします。

③ Admin Password

Tools画面を開くときにパスワードの入力を求めるときは、**Enabled**にチェックを入れます。
以下の項目を設定できます。

項目名	機能
New Password	Tools画面を開くときに入力するパスワードを変更するときは、新しいパスワードを入力します。(半角英数字26文字以内)
Confirm	New Password で入力したパスワードを入力します。一致しないときは、エラーが表示されます。
Send	Admin Password で変更した内容を確定するときにクリックします。

④ User Password

コンピューター上で操作画面を開くときにパスワードの入力を求めるときは、**Enabled**にチェックを入れます。
以下の項目を設定できます。

項目名	機能
New Password	操作画面を開くときに入力するパスワードを変更するときは、新しいパスワードを入力します。(半角英数字26文字以内)
Confirm	New Password で入力したパスワードを入力します。一致しないときは、エラーが表示されます。
Send	User Password で変更した内容を確定するときにクリックします。



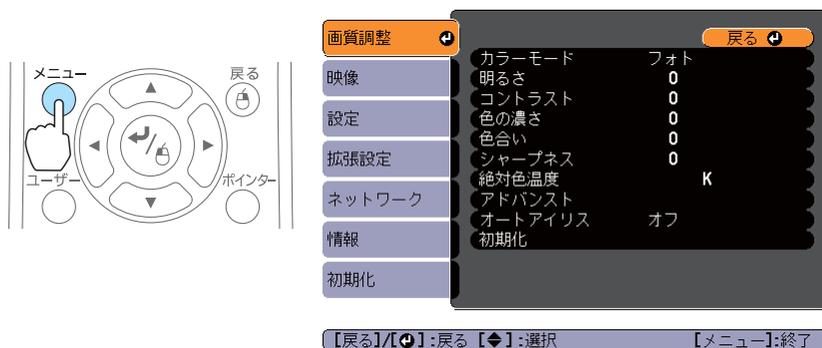
環境設定メニュー

ここでは、環境設定メニューの機能と操作方法について説明しています。

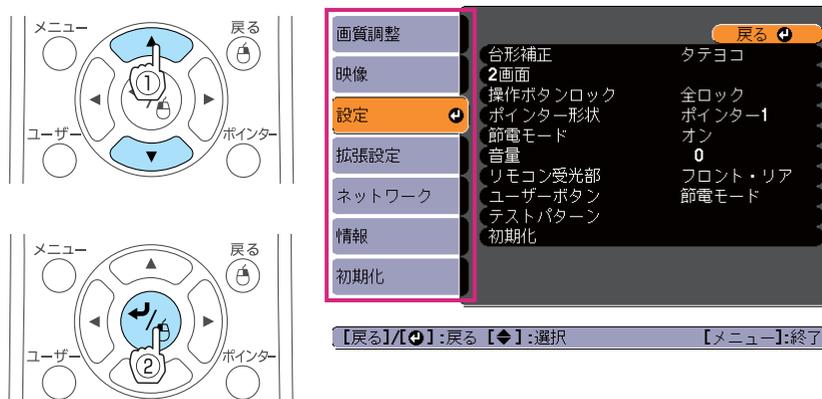
環境設定メニューの操作方法を説明します。

リモコンで操作を行ったときを例に説明していますが、操作パネルでも同様の操作を行えます。使用できるボタンと操作はメニューの下に表示されるガイドでご確認ください。

1 環境設定メニュー画面を表示します。



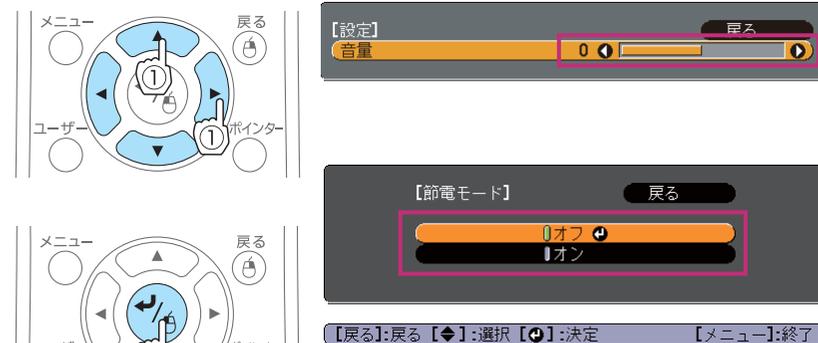
2 トップメニュー項目を選択します。



3 サブメニュー項目を選択します。



4 設定を変更します。



5 【メニュー】ボタンを押して、設定を終了します。

環境設定メニュー一覧

お使いの機種、現在投写している映像信号や入力ソースにより設定できる項目が異なります。

トップメニュー名	サブメニュー名	項目または設定値
画質調整メニュー ☛ p.86	カラーモード	ダイナミック、プレゼンテーション、シアター、フォト、スポーツ、sRGB、黒板、ホワイトボード、DICOM SIM
	明るさ	-24～24
	コントラスト	-24～24
	色の濃さ	-32～32
	色合い	-32～32
	シャープネス	-5～5
	絶対色温度	5000K～10000K
	アドバンスト	ガンマ、RGB、RGBCMY
	オートアイリス	オン、オフ
	映像メニュー ☛ p.87	自動調整
入力解像度		オート、ワイド、ノーマル
トラッキング		-
同期		-
表示位置		上、下、左、右
プログレッシブ変換		オフ、ビデオ、フィルム/オート
ノイズリダクション		オフ、NR1、NR2
HDMI ビデオレベル		オート、通常、拡張
DisplayPortビデオレベル		オート、通常、拡張
入力信号方式		オート、RGB、コンポーネント

トップメニュー名	サブメニュー名	項目または設定値
	ビデオ信号方式	オート、NTSC、NTSC4.43、PAL、M-PAL、N-PAL、PAL60、SECAM
	アスペクト	ノーマル、オート、4:3、16:9、フル、ズーム、リアル
	オーバースキャン	オート、オフ、4%、8%
	映像処理	速い、きれい
設定メニュー ☛ p.89	台形補正	タテヨコ、Quick Corner
	2画面	-
	操作ボタンロック	全ロック、操作ロック、オフ
	ポインター形状	ポインター1、2、3
	節電モード	オフ、オン
	音量	0～20
	リモコン受光部	フロント・リア、フロント、リア、オフ
	ユーザーボタン	節電モード、情報、プログレッシブ変換、テストパターン、マルチスクリーン、入力解像度
	テストパターン	-
	拡張設定メニュー ☛ p.90	表示設定
ユーザーロゴ		-
設置モード		フロント、フロント・天吊り、リア、リア・天吊り
動作設定		ダイレクトパワーオン、スリープモード、スリープモード時間、レンズカバータイマー、高地モード、音声入力
待機モード		通信オン、通信オフ

トップメニュー名	サブメニュー名	項目または設定値
	プロジェクターID	オフ、1~9
	マルチスクリーン	調整レベル、明るさ補正、色補正(緑-赤)、色補正(青-黄)
	言語	15言語
情報メニュー ☛ p.98	ランプ点灯時間	-
	入力ソース	-
	入力信号	-
	入力解像度	-
	ビデオ信号方式	-
	リフレッシュレート	-
	同期情報	-
	ステータス	-
	シリアル番号	-
	Event ID	-
初期化メニュー ☛ p.99	全初期化	-
	ランプ点灯時間初期化	-

ネットワークメニュー

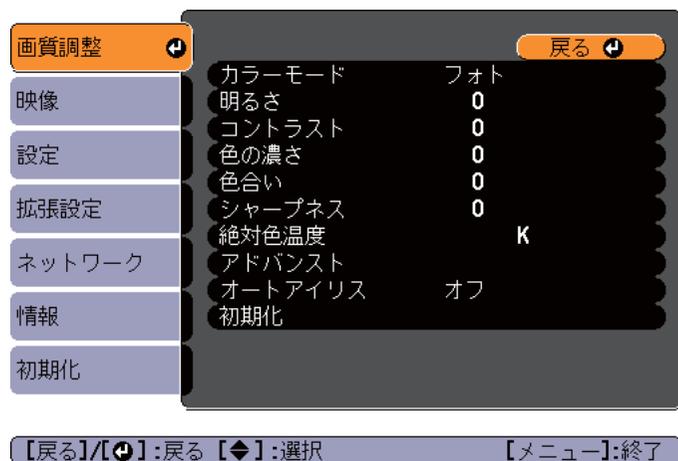
トップメニュー名	サブメニュー名	項目または設定値
基本設定メニュー ☛ p.94	プロジェクター名	-
	PJLinkパスワード	-
	Web制御パスワード	-
	プロジェクターキー ワード	オン、オフ
有線LANメニュー ☛ p.95	IP設定	DHCP、IPアドレス、サブネット マスク、ゲートウェイアドレス
	IPアドレス表示	オン、オフ

トップメニュー名	サブメニュー名	項目または設定値
メールメニュー ☛ p.95	メール通知機能	オン、オフ
	SMTPサーバー	-
	ポート番号	-
	宛先1設定、宛先2設 定、宛先3設定	-
その他メニュー ☛ p.97	SNMP	オン、オフ
	トラップIPアドレス1、 トラップIPアドレス2	-
	AMX Device Discovery	オン、オフ
	Crestron RoomView	オン、オフ
	Bonjour	オン、オフ
	Message Broadcasting	オン、オフ

画質調整メニュー

現在投写している映像信号や入力ソースにより設定できる項目が異なります。設定した内容は映像信号ごとに保持されます。

☛ 「入力信号を自動検出して切り替える（入力検出）」 p.31



サブメニュー	機能
カラーモード	使用シーンに応じて、画質を選択できます。 ☛ 「映り具合を選ぶ（カラーモードの選択）」 p.43
明るさ	映像の明るさを調整します。
コントラスト	映像の明暗の差を調整します。
色の濃さ	(コンポーネントビデオ/コンポジットビデオ信号入力時のみ調整可能) 映像の色の濃さを調整します。
色合い	(コンポーネントビデオ信号入力時に調整可能。コンポジットビデオ信号入力時は、NTSC系の信号入力時のみ調整可能) 映像の色合いを調整します。
シャープネス	映像のシャープ感を調整します。
絶対色温度	映像全体の色合いを調整します。5000K～10000Kの10段階で調整することができます。高い値を選択すると青みがかかった映像になり、低い値を選択すると赤みを帯びた映像になります。

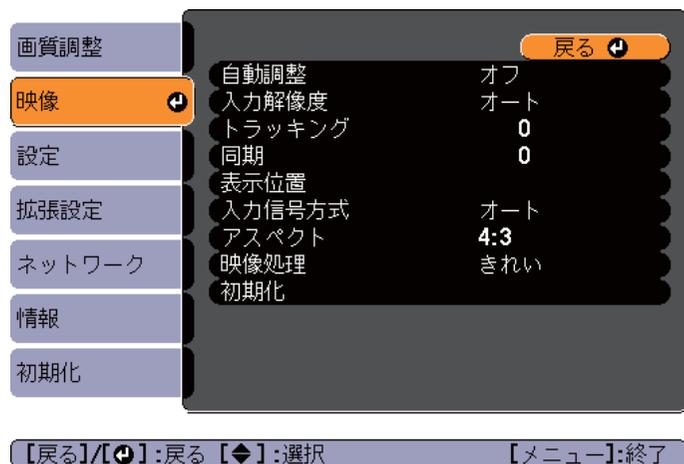
サブメニュー	機能
アドバンスト	以下の項目を選んで調整できます。 [ガンマ]：補正値を選んだり、映像やグラフを見ながら映像の発色を調整します。 [RGB]：オフセット、ゲインをR(赤)、G(緑)、B(青)ごとに調整します。 [RGBCMY]：R(赤)、G(緑)、B(青)、C(シアン)、M(マゼンタ)、Y(イエロー)ごとに色相、彩度、明度を調整します。
オートアイリス	([カラーモード]を[ダイナミック]または[シアター]に設定しているときのみ設定可能) [オン]にすると、映像に合わせて最適な光量に調整します。 設定値はカラーモードごとに保存されます。 ☛ 「オートアイリス（自動絞り）を設定する」 p.44
初期化	[画質調整]メニューの調整値を初期値に戻します。全メニュー項目の設定を初期値に戻すときは以下を参照してください。 ☛ 「初期化メニュー」 p.99

映像メニュー

現在投写している映像信号や入力ソースにより設定できる項目が異なります。設定した内容は映像信号ごとに保持されます。

入力ソースがUSB Display/USB/LANのときは映像メニューの設定は行えません。

☛ 「入力信号を自動検出して切り替える（入力検出）」 p.31

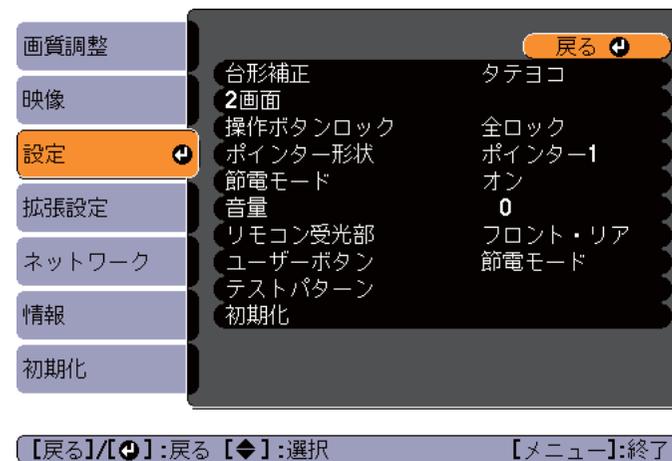


サブメニュー	機能
自動調整	(コンピューターのアナログRGB信号入力時のみ有効) [オン]にすると、入力信号が切り替わったときに、トラッキング・同期・表示位置を最適な状態に自動調整します。
入力解像度	(コンピューターのアナログRGB信号入力時のみ有効) [オート]にすると、入力信号の解像度を自動で判別します。[オート]に設定していて投写映像が欠けるときは、接続しているコンピューターに合わせてワイド画面は[ワイド]に、4:3や5:4画面は[ノーマル]に設定してください。
トラッキング	(コンピューターのアナログRGB信号入力時のみ有効) 映像に縦の縞模様が出るときに調整します。
同期	(コンピューターのアナログRGB信号入力時のみ有効) 映像にちらつき、ぼやけ、横ノイズが出るときに調整します。
表示位置	(入力ソースがHDMIまたはDisplayPortのときは設定不可) 映像の一部が欠けているときに表示位置を上下左右に移動し映像がすべて投写されるように調整します。

サブメニュー	機能
プログレッシブ変換	(コンポジットビデオ/信号入力時に設定可能。コンポーネントビデオ/RGBビデオ信号入力時は、480i/576i/1080i信号入力時のみ設定可能。) インターレース▶(i)信号をプログレッシブ▶(p)信号に変換します。(IP変換) [オフ]:動きの大きい映像に適しています。 [ビデオ]:一般のビデオ映像に適しています。 [フィルム/オート]:映画フィルムやCG、アニメーション映像に適しています。
ノイズリダクション	(デジタルRGB信号入力時、インターレース信号表示中で[プログレッシブ変換]が[オフ]のとき、または480p/576p/1080p信号入力時に[映像処理]が[速い]のときは設定不可) 映像のざらつきを抑えます。モードを2つ用意しています。お好みの設定でご覧ください。DVDなど映像ソースにノイズが少ないときは[オフ]に設定してご覧ください。
HDMIビデオレベル	本機のHDMI入力端子とDVDプレーヤーなどを接続しているときに、DVDプレーヤーのビデオレベルの設定に合わせて本機のビデオレベルを設定します。
DisplayPortビデオレベル	本機のDisplayPort入力端子とコンピューターを接続しているときに、コンピューターのビデオレベルの設定に合わせて本機のビデオレベルを設定します。
入力信号方式	コンピューター入力端子からの入力信号を選択します。 [オート]にすると、接続機器に応じて自動的に入力信号を設定します。 [オート]に設定して、色が正しく表示されないときは、接続している機器の信号に応じて適切な信号を選択してください。
ビデオ信号方式	ビデオ入力端子からの入力信号を選択します。[オート]にすると、ビデオ信号を自動認識します。[オート]に設定して、映像にノイズが入ったり、映像が映らないなどのトラブルが起きるときは、接続している機器の信号に応じて適切な信号を選択してください。

サブメニュー	機能
アスペクト	映像のアスペクト比▶を設定します。  「投写映像のアスペクト比を切り替える」 p.44
オーバースキャン	(コンポーネントビデオ信号、RGBビデオ信号入力時のみ設定可能) 出画率(投写する映像の範囲)を変更します。トリミングする範囲の設定を、[オフ]、[4%]、[8%]のいずれかに変更できます。入力ソースがHDMIのときは[オート]が選択できるようになります。[オート]を選択すると入力信号に応じて自動的に[オフ]あるいは[8%]に切り替わりません。
映像処理	映像処理の設定を切り替えます。 [速い]：映像の表示速度を速くします。オプションのインタラクティブユニットを使用している場合は、ペンの追従性が向上します。 [きれい]：映像の画質が向上します。
初期化	[映像]メニューのうち、[入力信号方式]を除くすべての調整値を初期値に戻します。 全メニュー項目の設定を初期値に戻すときは以下を参照してください。  「初期化メニュー」 p.99

設定メニュー

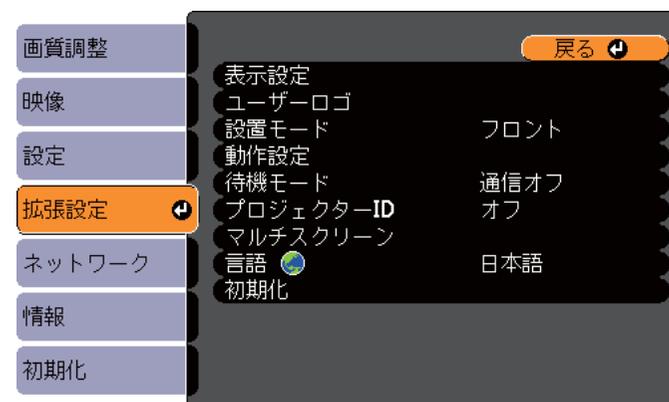


サブメニュー	機能
台形補正	台形にゆがんだ画面を補正します。 <ul style="list-style-type: none"> [タテヨコ]選択時： [タテ補正]、[ヨコ補正]を調整して縦・横方向のゆがみを補正します。 また、[スライド式ヨコ補正]と[自動タテ補正]の[オン]・[オフ]を設定します。  「台形ゆがみを補正する」 p.36 [Quick Corner]選択時： 投写映像の4つの角を選んで補正します。  「Quick Corner」 p.38
2画面	2画面投写時の設定をします。 画面サイズの変更、入力ソースの選択、左右画面入替、音声切替、2画面終了ができます。  「2種類の映像を同時に投写する(2画面)」 p.48
操作ボタンロック	本機操作パネルの操作制限を設定します。  「操作を制限する(操作ボタンロック)」 p.71

サブメニュー	機能
ポインター形状	<p>ポインターの形状を選択します。</p> <p>ポインター1: </p> <p>ポインター2: </p> <p>ポインター3: </p> <p>☛「説明箇所を指し示す（ポインター）」p.61</p>
節電モード	<p>ランプの明るさを2段階で切り替えることができます。</p> <p>暗い部屋で投写したり小さなスクリーンに映す場合に、投写映像が明るすぎるときは[オン]に設定します。[オン]で使用すると、投写中の消費電力、ランプ寿命が次のように変わり、ファン回転音も低下します。</p> <p>消費電力：約25%減、ランプ寿命：約1.4倍</p>
音量	<p>音量を調整します。設定した内容は入力ソースごとに保持されます。</p>
リモコン受光部	<p>リモコンからの操作信号の受信を制限します。</p> <p>[オフ]に設定すると、リモコンからの操作ができなくなります。リモコンから操作したいときは、リモコンの【メニュー】ボタンを15秒以上押して、設定を初期値に戻してください。</p>
ユーザーボタン	<p>リモコンの【ユーザー】ボタンに割り当てる環境設定メニューの項目を選択します。【ユーザー】ボタンを押すと割り当てたメニュー項目の選択/調整画面が直接表示されるのでワンタッチで設定/調整の変更が行えます。【ユーザー】ボタンに割り当てることができるのは以下の項目です。</p> <p>[節電モード]、[情報]、[プログレッシブ変換]、[テストパターン]、[マルチスクリーン]、[入力解像度]</p>

サブメニュー	機能
テストパターン	<p>本機を設置する際に、機器を接続せずに投写状態を調整できるようにテストパターンを表示します。テストパターン表示中はズーム調整、フォーカス調整、台形補正が行えます。テストパターンの表示を解除するときは、リモコンまたは操作パネルの【戻る】ボタンを押します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>注意</p> <p>長時間パターンを表示していると投写映像に残像が残ることがあります。</p> </div>
初期化	<p>[設定]メニューのうち[ユーザーボタン]を除くすべての調整値を初期値に戻します。</p> <p>全メニュー項目の設定を初期値に戻すときは以下を参照してください。</p> <p>☛「初期化メニュー」p.99</p>

拡張設定メニュー



【戻る】/【←】:戻る 【◆】:選択

【メニュー】:終了

サブメニュー	機能
表示設定	<p>本機の表示に関する設定を行います。</p> <p>[メッセージ表示]：[オフ]に設定すると、次の表示がされなくなります。</p> <p>入力ソースやカラーモード、アスペクト比を切り替えたときの項目名の表示、映像信号が入力されていないときなどのメッセージの表示、高温警告などの警告表示。</p> <p>[背景表示]※1：映像信号が入力されていないときなどの画面の状態を[黒]、[青]、[ロゴ]のいずれかで設定します。</p> <p>[スタートアップスクリーン]※1：[オン]にすると、投写開始時に[ユーザーロゴ]を表示します。</p> <p>[AVミュート]※1：リモコンの【AVミュート】ボタンを押したときに表示する画面を[黒]、[青]、[ロゴ]のいずれかで設定します。</p>
ユーザーロゴ※1	<p>背景表示、AVミュート時などに表示するユーザーロゴを変更します。</p> <p>☛ 「ユーザーロゴの登録」 p.67</p>
設置モード	<p>本機の設置状態に合わせて次の中から設定します。</p> <p>[フロント]、[フロント・天吊り]、[リア]、[リア・天吊り]</p> <p>リモコンの【AVミュート】ボタンを約5秒間押し続けると、天吊りの設定を次のように切り替えることができます。</p> <p>[フロント] ↔ [フロント・天吊り]</p> <p>[リア] ↔ [リア・天吊り]</p> <p>☛ 「いろいろな設置方法」 p.20</p>

サブメニュー	機能
動作設定	<p>[ダイレクトパワーオン]：[オン]にすると、電源プラグを差し込むだけで本機の電源が入ります。</p> <p>停電復旧時などにコンセントに電源プラグが差し込まれた状態になっていると本機の電源がオンになりますので、注意してください。</p> <p>[スリープモード]：[オン]に設定すると、映像信号が未入力のまま、なにも操作しないときに自動で電源を切ります。</p> <p>[スリープモード時間]：[スリープモード]を[オン]にしたときに、自動で電源を切るまでの時間を1～30分の範囲で設定します。</p> <p>[レンズカバータイマー]：[オン]に設定するとレンズカバーを閉めてから約30分後に自動で電源を切ります。初期値は[オン]に設定されています。</p> <p>[高地モード]：標高約1500m以上でお使いの場合は[オン]にします。</p> <p>[音声入力]：[オート]に設定すると、入力ソースに対応した音声を出力します。</p> <p>[音声入力1]、[音声入力2]、[音声入力(L/R)]に設定すると、音声を音声入力端子から入力するとき、入力ソースに関わらず選択した端子からの音声を出力します。</p>
待機モード	<p>[通信オン]に設定すると、本機がスタンバイ状態のときでも以下の操作が可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ネットワーク経由で本機を監視・制御する <ul style="list-style-type: none"> ☛ 「監視と制御」 p.73 ● コンピューター1入力端子から入力しているアナログRGB信号を外部モニターへ出力する
プロジェクターID	<p>[1]～[9]までのIDを設定します。[オフ]はIDを設定していない状態です。</p> <p>☛ 「プロジェクターのIDを設定する」 p.65</p>

サブメニュー	機能
マルチスクリーン	<p>プロジェクター複数台を並べて投写した際の各映像の色合いや明るさの差を補正できます。</p> <p>[調整レベル]：黒から白を5段階に区分し各段階をレベル1～5と呼び、この5レベルすべてに対して明るさ補正と色補正を行います。</p> <p>[明るさ補正]：製品ごとの明るさのばらつきを補正します。</p> <p>[色補正(緑-赤)]/[色補正(青-黄)]：製品ごとの色のばらつきを補正します。</p> <p>☛ 「複数台のプロジェクターから投写した時の色差補正」 p.64</p>
言語	メッセージやメニューに表示する言語を設定します。
初期化	<p>[拡張設定]メニューのうち、[表示設定]※1、[動作設定]※2の調整値を初期値に戻します。</p> <p>全メニュー項目の設定を初期値に戻すときは以下を参照してください。</p> <p>☛ 「初期化メニュー」 p.99</p>

※1 [パスワードプロテクト]の[ユーザーロゴ保護]を[オン]にしていると、ユーザーロゴに関する設定の変更はできません。[ユーザーロゴ保護]を[オフ]にしてから設定を変更してください。

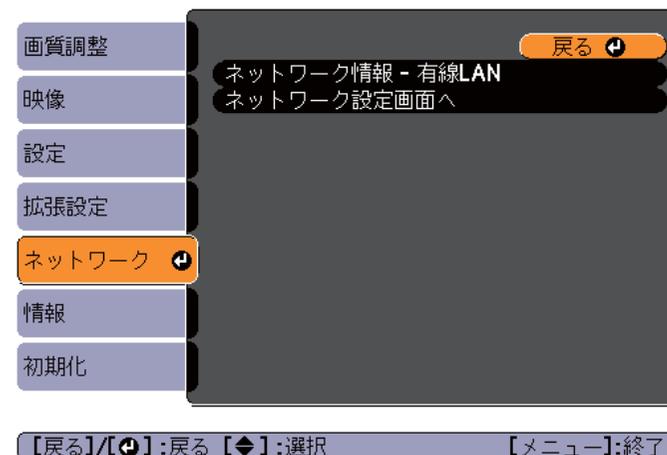
☛ 「利用者を管理する (パスワードプロテクト)」 p.69

※2 高地モードは除く。

ネットワークメニュー

[パスワードプロテクト]の[ネットワーク保護]を[オン]に設定していると、メッセージが表示されネットワークの設定を変更することはできません。[ネットワーク保護]を[オフ]にしてからネットワークの設定を行ってください。

☛ 「パスワードプロテクトの設定方法」 p.69



サブメニュー	機能
ネットワーク情報 - 有線LAN	<p>以下のネットワーク設定状況を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • プロジェクター名 • DHCP • IPアドレス • サブネットマスク • ゲートウェイアドレス • MACアドレス
ネットワーク設定画面へ	<p>以下の項目についてネットワークの設定を行います。</p> <p>[基本設定]、[有線LAN]、[メール]、[その他]、[初期化]</p>



本機とネットワーク接続したコンピューターのWebブラウザーから本機の設定や制御が行えます。この機能をWeb制御と呼びます。Web制御はキーボードを使って設定内容を入力できるので、セキュリティの設定など文字の入力を伴う設定も容易に行えます。

☛ 「Webブラウザーを使って設定を変更する (Web制御)」 p.73

ネットワークメニュー操作上のご注意

トップメニューやサブメニューの選択、選択した項目を変更する操作は環境設定メニューと同様に行います。

ただし、終了するには必ず[設定完了]メニューを選択して、[はい]、[いいえ]、[キャンセル]のいずれかを選択します。[はい]または[いいえ]を選択すると、環境設定メニューに戻ります。



[はい]： 設定を保存してネットワークメニューを終了します。

[いいえ]： 設定を保存しないでネットワークメニューを終了します。

[キャンセル]： ネットワークメニューを続けます。

ソフトキーボードの操作

ネットワークメニューでは英数字を入力して設定する項目があります。その際には以下のようなソフトキーボードが表示されます。リモコンの【<A>】【】【<C>】【<D>】ボタンまたは操作パネルの【<A>】【】【<C>】【<D>】ボタンで目的のキーにカーソルを移動し、【<決定>】ボタンを押して入力します。数字は、リモコンの【Num】ボタンを押したまま、テンキー部の数字のボタンを押して入力することもできます。入力後キーボードの【Finish】

を選択すると入力が入力されます。キーボードの【Cancel】を選択すると入力は取り消されます。



- [CAPS]キーを選択して【<決定>】ボタンを押すたびに、アルファベットキーの大文字/小文字が切り替わります。
- [SYM1/2]キーを選択して【<決定>】ボタンを押すたびに、枠で囲った部分の記号キーが切り替わります。

基本設定メニュー

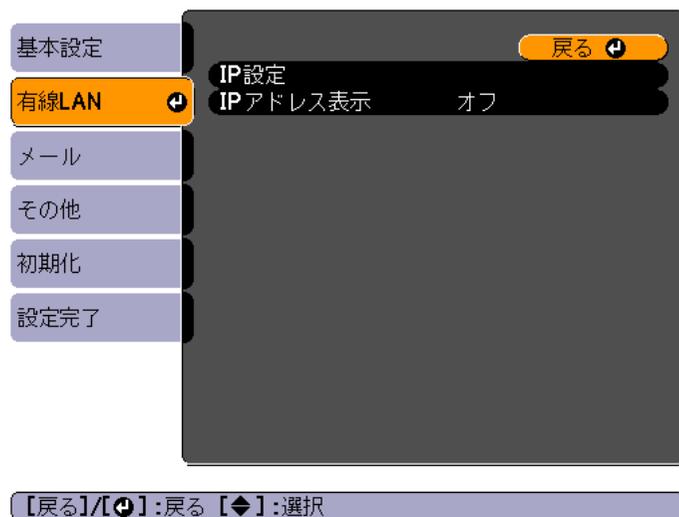


【戻る】/【◀】:戻る 【◆】:選択

サブメニュー	機能
プロジェクトキーワード	<p>[オン]に設定していると、本機とコンピューターをネットワークで接続しようとしたとき、キーワードの入力が求められます。これにより他のコンピューターからの接続でプレゼンテーションが妨害されるのを防ぐことができます。</p> <p>通常は[オン]に設定してお使いください。</p> <p>☛ 『EasyMP Network Projection操作ガイド』</p>

サブメニュー	機能
プロジェクト名	<p>ネットワーク上で本機を識別するための個別の名前を表示しています。</p> <p>変更するときは、半角英数字16文字以内で入力します。</p>
PJLinkパスワード	<p>PJLink対応アプリケーションソフトを使って本機にアクセスするときの認証用パスワードを設定します。</p> <p>半角英数字で最大32文字まで入力できます。</p>
Web制御パスワード	<p>Web制御で本機を設定・制御するときの認証用パスワードを設定します。半角英数字8文字以内で入力します。</p> <p>Web制御はネットワークで接続しているコンピューターのWebブラウザを利用して、コンピューターから本機を設定・制御する機能です。</p> <p>☛ 「Webブラウザを使って設定を変更する (Web制御)」 p.73</p>

有線LANメニュー

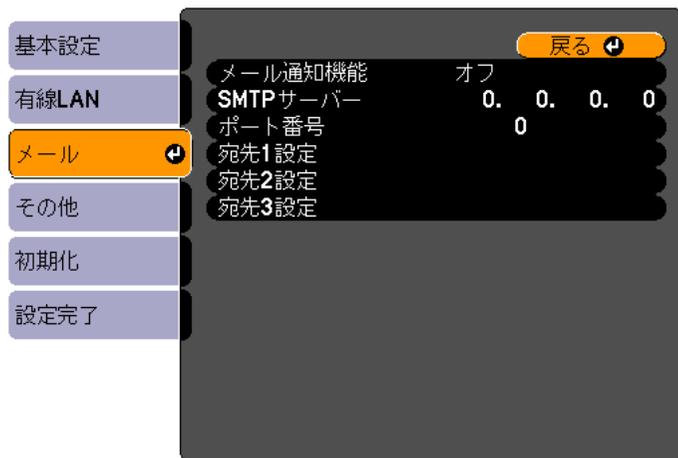


サブメニュー	機能
IP設定	<p>以下のアドレスに関する設定を行います。</p> <p>DHCP▶▶: [オン]にするとDHCPを使用してネットワークを設定します。ここで[オン]に設定すると以降のアドレスの設定はできなくなります。</p> <p>IPアドレス▶▶: 本機に割り当てるIPアドレスを入力します。アドレスの各フィールドには0~255の数字を入力できます。ただし、以下のIPアドレスは使用できません。 0.0.0.0、127.x.x.x、224.0.0.0~255.255.255.255(xは0~255の数字)</p> <p>サブネットマスク▶▶: 本機のサブネットマスクを入力します。アドレスの各フィールドには0~255の数字を入力できます。ただし、以下のサブネットマスクは使用できません。 0.0.0.0、255.255.255.255</p> <p>ゲートウェイアドレス▶▶: 本機のゲートウェイのIPアドレスを入力します。アドレスの各フィールドには0~255の数字を入力できます。ただし、以下のゲートウェイアドレスは使用できません。 0.0.0.0、127.x.x.x、224.0.0.0~255.255.255.255(xは0~255の数字)</p>
IPアドレス表示	<p>ネットワークメニューのネットワーク情報とLAN待機画面上にIPアドレスを表示させないときは、[オフ]に設定します。</p>

メールメニュー

本機が異常/警告状態になったときに、ここで通知先を設定すると電子メールで通知されます。

☛ 「メール通知機能で異常を通知する」 p.76

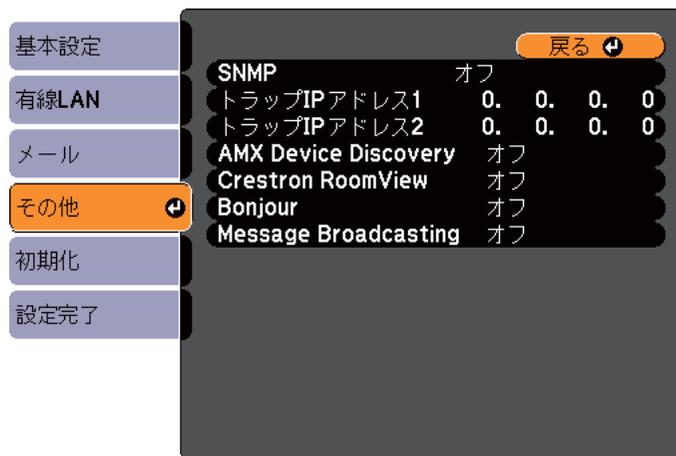


【戻る】/【◀】:戻る 【▶】:選択

サブメニュー	機能
宛先1設定/宛先2設定/宛先3設定	<p>通知メールの送信先のメールアドレスを入力します。送信先は最大3件まで登録できます。メールアドレスは最大32文字まで入力できます。</p> <p>通知メールの送信元は宛先1のアドレスです。</p> <p>メールで通知する本機の異常/警告を選択します。選択した異常/警告が本機で起きたときに、宛先メールアドレスで指定したメールアドレスに異常/警告が発生したことを通知します。表示されている項目より、複数選択できます。</p>

サブメニュー	機能
メール通知機能	[オン]にすると、プロジェクターが異常/警告状態になったときに、設定した宛先にメールで通知します。
SMTPサーバー	本機が使うSMTPサーバーのIPアドレス▶を入力します。アドレスの各フィールドには0~255の数字を入力できます。ただし、以下のIPアドレスは使用できません。 127.x.x.x, 224.0.0.0~255.255.255.255 (xは0~255の数字)
ポート番号	SMTPサーバーのポート番号を入力します。初期値は25です。1~65535までの有効な数値を入力できます。

その他メニュー



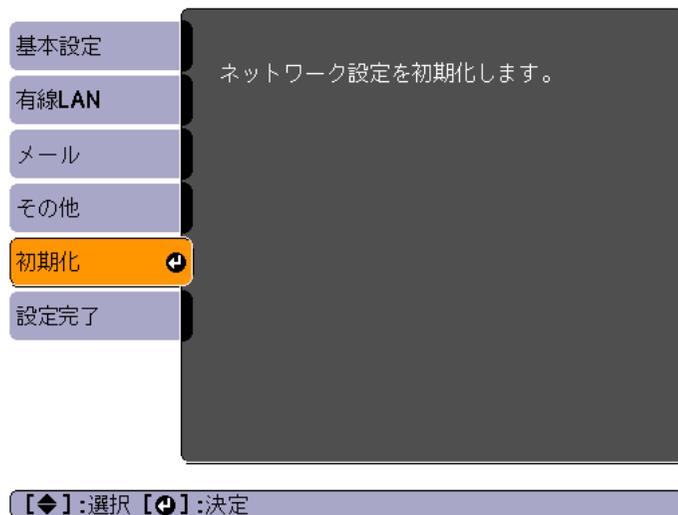
【戻る】/【↶】:戻る 【◆】:選択

サブメニュー	機能
SNMP	[オン]にすると、SNMPを使用して本機の監視をします。本機を監視するには、コンピューター側にSNMPマネージャプログラムがインストールされている必要があります。SNMPによる管理は、必ずネットワーク管理者が行ってください。 初期値は[オフ]に設定されています。
トラップIPアドレス1/トラップIPアドレス2	SNMPのトラップ通知先のIPアドレスを2つまで登録できます。アドレスの各フィールドには0～255の数字を入力できます。ただし、以下のIPアドレスは使用できません。127.x.x.x、224.0.0.0～255.255.255.255(xは0～255の数字)
AMX Device Discovery	AMX Device Discoveryによる本機の検出を有効にしたいときは[オン]に設定します。AMX社のコントローラーやAMX Device Discoveryで制御する環境に接続していないときは、[オフ]に設定してください。

サブメニュー	機能
Crestron RoomView	Crestron RoomView®を使用して、ネットワーク経由で本機の監視・制御を行うときのみ[オン]に設定します。通常は[オフ]に設定してください。 ☛「Crestron RoomView®について」p.79 [オン]に設定したときは、以下の機能はご利用になれません。 <ul style="list-style-type: none"> • Web制御 • Message Broadcasting (EasyMP Monitorのプラグイン)
Bonjour	Bonjourによるネットワーク接続を行うときは[オン]に設定します。 Bonjourサービスの詳しい説明については、Apple社のWebサイトをご覧ください。 http://www.apple.com/
Message Broadcasting	EPSON Message Broadcasting機能の有効、無効を切り替えます。 ソフトウェアおよび取扱説明書は、以下のWebサイトよりダウンロードしてください。 http://www.epson.jp/download/

初期化メニュー

ネットワークの設定をすべて初期化します。

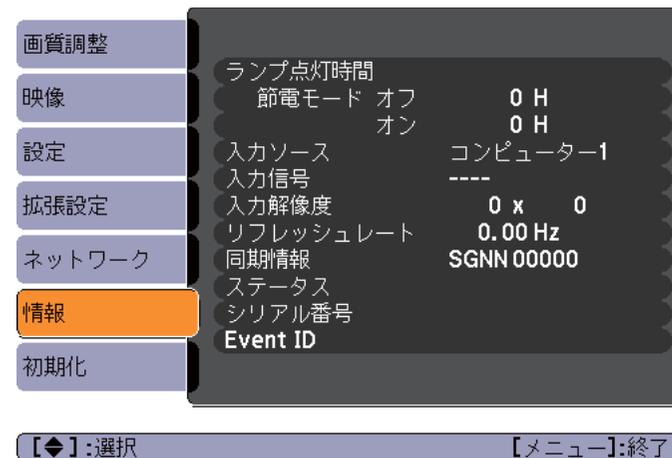


サブメニュー	機能
ネットワーク設定を初期化します。	ネットワーク設定をすべて初期化するときは[はい]を選択します。

情報メニュー(表示のみ)

投写している映像信号や本機の状態を確認できます。現在投写している入力ソースにより表示される項目が異なります。お使いの機種により対応していない入力ソースもあります。

☛ 「入力信号を自動検出して切り替える（入力検出）」 p.31



サブメニュー	機能
ランプ点灯時間	ランプの累積使用時間※を表示しています。ランプ交換の目安時間に達すると、文字が黄色に変わります。
入力ソース	現在投写中の機器を接続している入力ソース名を表示しています。
入力信号	[映像]メニューの[入力信号方式]の設定内容を入力ソースに応じて表示しています。
入力解像度	入力解像度を表示しています。
ビデオ信号方式	[映像]メニューの[ビデオ信号方式]の設定内容を表示しています。
リフレッシュレート	リフレッシュレート▶▶を表示しています。
同期情報	映像信号の情報を表示しています。お問い合わせ時に、この値を確認することがあります。
ステータス	本機に発生した異常についての情報です。お問い合わせ時に、この値を確認することがあります。

サブメニュー	機能
シリアル番号	本機のシリアル番号を表示します。
Event ID	アプリケーションエラーログを表示します。 ☛ 「Event IDについて」 p.116

※ 累積使用時間が0～10時間までは「0H」と表示されます。10時間以上は「10H」、
「11H」と1時間単位で表示されます。

初期化メニュー



サブメニュー	機能
全初期化	環境設定メニューの全項目を初期設定に戻します。 [入力信号方式]、[ユーザーロゴ]、[ネットワーク]メニューの全項目、[ランプ点灯時間]、[言語]、[パスワード]、[ユーザーボタン]は初期値に戻りません。
ランプ点灯時間初期化	ランプ点灯時間の累積をクリアします。ランプを交換したときに行ってください。



困ったときに

ここでは、想定されるトラブルと、その対処法などについて説明しています。

トラブル発生時の解決方法を投写映像に表示できます。質問に答えていくと適切な状態に設定することもできます。

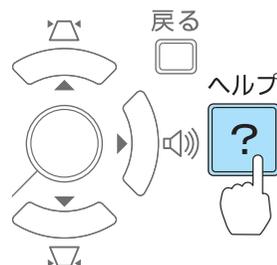
1 【ヘルプ】ボタンを押します。

ヘルプ画面が表示されます。

リモコンの場合



操作パネルの場合



2 項目を選択します。

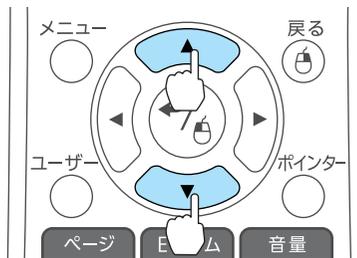
【ヘルプ】

- 映像が小さい。⬇
- 映像が台形に投写される。
- 色合いがおかしい。
- 音が出ない・小さい。

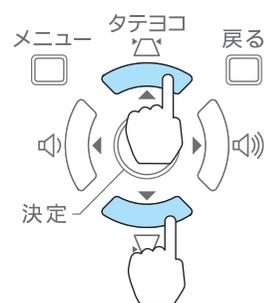
【◀▶】:選択 【⬇】:決定

【ヘルプ】:終了

リモコンの場合

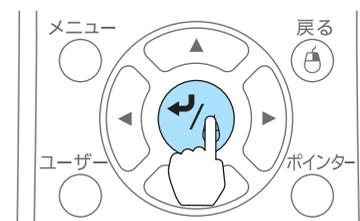


操作パネルの場合

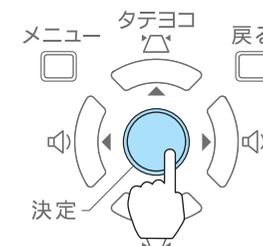


3 項目を決定します。

リモコンの場合



操作パネルの場合



以下の画面のように質問と対処法が表示されます。

【ヘルプ】ボタンを押すとヘルプは解除されます。

映像が小さい。

- ズームが最小になっていませんか？
・ズームリングで映像の大きさを変更してください。
- プロジェクターがスクリーンに近すぎませんか？
・プロジェクターをスクリーンから離してください。

【戻る】:戻る

【ヘルプ】:終了



ヘルプ機能を使ってもわからないときは、以下をご覧ください。

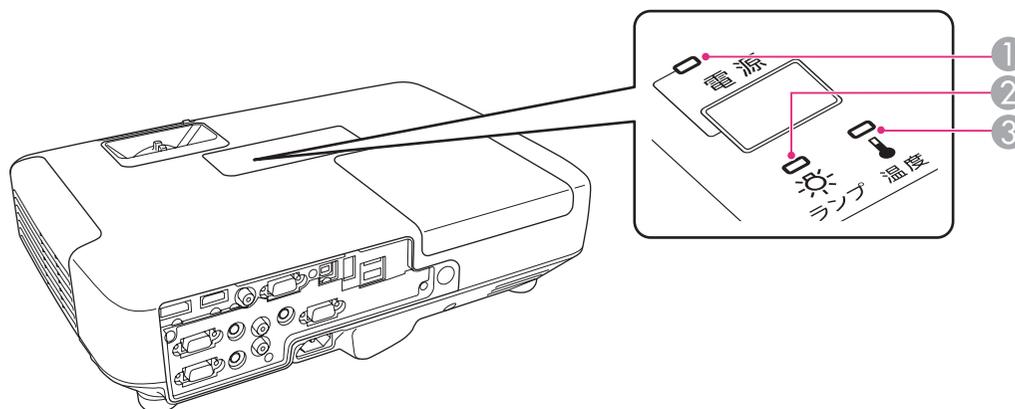
👉 「故障かなと思ったら」 p.102

故障かな?と思ったら、まず本機のインジケーターをご覧になり下記の「インジケーターの見方」で本機の状態をご確認ください。
インジケーターをご覧になってもわからないときは、以下をご覧ください。

☛ 「インジケーターを見てもわからないとき」 [p.105](#)

インジケーターの見方

本機には、次の3種類のインジケーターがあり本機の状態をお知らせします。



① パワーインジケーター

動作状態をお知らせします。

-  スタンバイ状態
この状態で【⏻】ボタンを押すと投写を開始します。
-  ネットワーク監視準備中または、クールダウン中
点滅中はすべてのボタン操作ができません。
-  ウォームアップ中
ウォームアップの時間は約30秒です。ウォームアップ終了後、緑色の点灯に変わります。
ウォームアップ中は【⏻】ボタンを押しても、機能しません。
-  投写中

② ランプインジケーター

ランプの状態をお知らせします。

③ 温度インジケーター

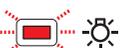
内部温度の状態をお知らせします。

インジケータの状態とその対処方法については、次の表を参照してください。

インジケータがすべて消灯している場合は、電源コードが正しく接続されていないか、または電気が十分に供給されていません。

電源コードを抜いても【】インジケータがしばらく点灯したままになることがあります。故障ではありません。

 : 点灯  : 点滅  : 消灯  : 本機の状態により異なる場合

状態	原因	処置または状態
  	内部異常	<p>ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先に修理を依頼してください。</p> <p>☞『お問い合わせ先』</p>
  	ファン異常 センサー異常	<p>ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先に修理を依頼してください。</p> <p>☞『お問い合わせ先』</p>
  	内部高温異常 (オーバーヒート)	<p>ランプが自動的に消灯し、投写できなくなります。約5分間は、そのままの状態待ちます。約5分後、スタンバイ状態になりますので、次の2点を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> エアフィルター・排気口がふさがれていないか、壁際に設置されていないか確認します。 エアフィルターが目詰まりしているときは、掃除または交換をします。 <ul style="list-style-type: none"> ☞「エアフィルターの掃除」 p.118 ☞「エアフィルターの交換」 p.122 <p>上記を確認後も異常が発生するとき:ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先に修理を依頼してください。</p> <p>☞『お問い合わせ先』</p>
		<p>標高1500m以上の場所でお使いのときは、[高地モード]を[オン]にしてください。</p> <p>☞「拡張設定メニュー」 p.90</p>
  	ランプ異常 ランプ点灯失敗	<p>次の2点を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ランプを取り出してランプが割れていないか確認します。 <ul style="list-style-type: none"> ☞「ランプの交換」 p.119 エアフィルターを掃除します。 <ul style="list-style-type: none"> ☞「エアフィルターの掃除」 p.118

状態	原因	処置または状態
		<p>割れていないとき：ランプを再セットして、電源を入れます。</p> <p>それでもエラーになるとき：新しいランプに交換してから電源を入れます。</p> <p>それでもエラーになるとき：ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先に修理を依頼してください。</p> <p>☞『お問い合わせ先』</p> <p>割れているとき：お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください(ランプを交換しないと映像を投写することはできません)。</p> <p>☞『お問い合わせ先』</p> <p>標高1500m以上の場所でお使いのときは、[高地モード]を[オン]にしてください。</p> <p>☞「拡張設定メニュー」p.90</p>
     	オートアイリス異常 電源系異常	<p>ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先に修理を依頼してください。</p> <p>☞『お問い合わせ先』</p>
     	高温警告	<p>(異常ではありません。ただし、さらに高温になると投写を自動停止します。)</p> <ul style="list-style-type: none"> エアフィルター・排気口がふさがれていないか、壁際に設置されていないか確認してください。 エアフィルターが目詰まりしている場合は、掃除または交換をしてください。 <p>☞「エアフィルターの掃除」p.118</p> <p>☞「エアフィルターの交換」p.122</p>
     	ランプ交換勧告	<p>新しいランプに交換してください。</p> <p>☞「ランプの交換」p.119</p> <p>交換時期を超えて使い続けると、ランプが破裂する可能性が一段と高くなります。すみやかに新しいランプと交換してください。</p>



- インジケータは異常を示してないのに、投写映像が異常のときは、以下をご覧ください。
- ☞「インジケータを見てもわからないとき」p.105
- 各インジケータがこの表にない状態のときは、ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先に修理を依頼してください。
- ☞『お問い合わせ先』

インジケータを見てわからないとき

まず、下記をご覧になりどのトラブルに該当するかを確認し、参照先で詳細な内容をご覧ください。

映像に関するトラブル

<ul style="list-style-type: none"> 映像が表示されない 投写を開始しない、真っ黒の映像になる、青い映像になる 	☞ p.106
<ul style="list-style-type: none"> 動画が表示されない コンピューターで再生する動画が黒くなり映像が投写されない、コンピューターで動画が再生されない。 	☞ p.107
<ul style="list-style-type: none"> 自動的に投写が消える 	☞ p.107
<ul style="list-style-type: none"> 「この信号は本プロジェクターでは受けられません。」と表示される 	☞ p.107
<ul style="list-style-type: none"> 「映像信号が入力されていません。」と表示される 	☞ p.107
<ul style="list-style-type: none"> ぼやける、ピントが合わない、ゆがむ 	☞ p.108
<ul style="list-style-type: none"> ノイズが入る、乱れる 	☞ p.109
<ul style="list-style-type: none"> 映像が切れる(大きい)、小さい、アスペクト比が合っていない、反転している 映像の一部分しか投写されない、映像の縦横の比率が正しくない、映像の上下左右が反転している 	☞ p.110
<ul style="list-style-type: none"> 色合いが違う 全体が赤紫がかっている、緑色がかっている、モノクロになる、色がくすむ 	☞ p.110
<ul style="list-style-type: none"> 暗い 	☞ p.111

投写開始時のトラブル

<ul style="list-style-type: none"> 電源が入らない 	☞ p.112
---	---------

その他のトラブル

<ul style="list-style-type: none"> 音が出ない、小さすぎる 	☞ p.112
---	---------

<ul style="list-style-type: none"> リモコンで操作できない 	☞ p.113
<ul style="list-style-type: none"> メッセージやメニューの言語を変更したい 	☞ p.114
<ul style="list-style-type: none"> プロジェクターに異常が起きてもメール通知されない 	☞ p.114
<ul style="list-style-type: none"> スライドショーで画像ファイル名が正しく表示されない 	☞ p.114

映像に関するトラブル

映像が表示されない

確認	対処法
【 ⏻ 】ボタンを押しましたか？	【 ⏻ 】ボタンを押して電源を入れます。
インジケータがすべて消灯していませんか？	電源コードが正しく接続されていない、または電気が供給されていません。 本機に電源コードを正しく接続してください。 ☛ 「設置から投写までの流れ」 p.30 または、電気が供給されるようにブレーカーなどを確認してください。
A/Vミュートの状態になっていませんか？	リモコンの【A/Vミュート】ボタンを押してA/Vミュートを解除します。 ☛ 「映像と音声を一時的に消す（A/Vミュート）」 p.60
レンズカバーが完全に開いていますか？	レンズカバーを開けます。 ☛ 「前面/上面」 p.11
環境設定メニューの設定で間違っているものはありませんか？	全初期化してみてください。 ☛ 「初期化」 - 「全初期化」 p.99
入力映像そのものが真っ黒になっていませんか？ (コンピューター投写時のみ)	スクリーンセーバーなどで入力映像が真っ黒になっていることがあります。
映像の信号形式の設定は合っていますか？ (ビデオ機器投写時のみ)	接続している機器の信号に応じて適切な設定にします。 ☛ 「映像」 - 「ビデオ信号方式」 p.87
USBケーブルが正しく接続されていますか？ (USBディスプレイ投写時のみ)	USBケーブルが正しく接続されているかを確認します。接続されていなかったり間違っていて接続されているときは、接続し直します。
Windows Media Centerを全画面表示にしていますか？ (USBディスプレイ、ネットワーク接続時のみ)	Windows Media Centerを全画面で表示すると、USBディスプレイまたはネットワーク接続で投写できません。縮小画面表示にしてください。
WindowsのDirectX機能を使用するアプリケーションを表示していませんか？ (USBディスプレイ、ネットワーク接続時のみ)	WindowsのDirectX機能を使用するアプリケーションは、正しく表示されない可能性があります。

動画が表示されない

確認	対処法
コンピュータ映像信号が外部と液晶画面の両方に出力されていませんか？ (ノートや液晶一体型タイプのコンピュータ投写時のみ)	コンピュータ側の映像信号を外部のみの出力に切り替えます。コンピュータに添付の取扱説明書、あるいはお使いのコンピュータのメーカーにお問い合わせください。
動画コンテンツが著作権保護されていませんか？	著作権保護された動画コンテンツをコンピュータで再生すると、プロジェクターから投写されないことがあります。詳しくはプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

自動的に投写が消える

確認	対処法
[スリープモード]を[オン]にしていますか？	【⓪】 ボタンを押して電源を入れます。スリープモードを働かせないときは設定を[オフ]にしてください。  [拡張設定] - [動作設定] - [スリープモード] p.90

「この信号は本プロジェクターでは受けられません。」と表示される

確認	対処法
映像の信号形式の設定は合っていますか？ (ビデオ機器投写時のみ)	接続している機器の信号に応じて適切な設定にします。  [映像] - [ビデオ信号方式] p.87
映像信号の解像度やリフレッシュレートが対応するモードですか？ (コンピュータ投写時のみ)	コンピュータから出力されている映像信号の解像度・リフレッシュレートの変更は、コンピュータの取扱説明書などでご確認ください。  「対応解像度一覧」 p.129

「映像信号が入力されていません。」と表示される

確認	対処法
ケーブル類が正しく接続されていますか？	投写に必要なケーブルが確実に接続されているか確認します。 ケーブルが断線・接触不良を起こしていないか確認します。  「設置から投写までの流れ」 p.30

確認	対処法
接続した入力端子を正しく選択していますか？	リモコンか操作パネルの【入力検出】ボタンを押して映像を切り替えます。 ☛「入力信号を自動検出して切り替える（入力検出）」p.31
接続されたコンピューターやビデオ機器の電源は入っていますか？	それぞれの機器の電源を入れます。
プロジェクターに映像信号が出力されていますか？ (ノートや液晶一体型タイプのコンピューター投写時のみ)	映像信号がコンピューターの液晶モニターや付属モニターにだけ出力されている場合は、外部にも出力するように切り替えてください。外部に映像信号を出力すると、液晶モニターや付属モニターに映像が出せないモデルもあります。 本機やコンピューターの電源を入れた状態で接続を行うと、コンピューターの映像信号を外部に切り替えるFnキー(ファンクションキー)が働かないことがあります。本機およびコンピューターの電源を入れ直してください。 ☛「設置から投写までの流れ」p.30 ☛コンピューターの取扱説明書など

ぼやける、ピントが合わない、ゆがむ

確認	対処法
[自動タテ補正]を[オフ]に設定していませんか？	[オン]に設定すると自動タテ補正が機能します。 ☛ [設定]-[台形補正]-[タテヨコ]-[自動タテ補正]p.89 オフのまま使用する場合は、手動で投写映像を調整してください。 ☛「手動で補正する」p.37
ピントは正しく調整されていますか？	フォーカスリングでピントを合わせます。 ☛「ピントのズレを補正する」p.40
投写距離は最適ですか？	投写距離の推奨範囲を外れていませんか？ 推奨範囲内で設置してください。 ☛「スクリーンサイズと投写距離」p.126
台形補正の調整値を大きくしていませんか？	投写角度を小さくして台形補正の調整値を小さくしてください。 ☛「映像の高さを調整する」p.40
レンズが結露していませんか？	寒い部屋から急に暖かい部屋に持ち込んだり急激に暖房したときなど、レンズの表面が結露して映像がぼやけることがあります。お使いになる1時間くらい前に使用する部屋に本機を設置するようにします。結露してしまったときは、電源を切ってしばらくそのまま放置してください。

ノイズが入る、乱れる

確認	対処法
映像の信号形式の設定は合っていますか？ (ビデオ機器投写時のみ)	接続している機器の信号に応じて適切な設定にします。 ☛ [映像] - [ビデオ信号方式] p.87
ケーブル類は正しく接続されていますか？	投写に必要なケーブルが確実に接続されているか確認します。 ☛ 「接続する」 p.23
ケーブルを延長していませんか？	ケーブルを延長するとノイズが入ることがあります。同梱のケーブルを接続して確認してください。
解像度の選択は正しいですか？ (コンピューター投写時のみ)	本機に対応する信号にコンピューターを合わせてください。 ☛ 「対応解像度一覧」 p.129 ☛ コンピューターの取扱説明書など
同期▶▶・トラッキング▶▶は正しく調整されていますか？ (コンピューター投写時のみ)	リモコンの【自動調整】ボタンまたは操作パネルの【↶】ボタンを押して、自動調整を行います。自動調整を行っても調整しきれないときは、環境設定メニューから調整することもできます。 ☛ [映像] - [トラッキング]、[同期] p.87
[入力解像度]を[オート]以外に設定していますか？ (2画面投写時のみ)	環境設定メニューの[入力解像度]で設定している解像度と、投写している映像の入力解像度が異なるときは、映像が乱れることがあります。 映像が乱れるときは[入力解像度]を[オート]に設定してください。 ☛ [映像] - [入力解像度] p.87
[レイヤードウィンドウの転送]にチェックマークが入っていませんか？ (USBディスプレイ投写時のみ)	コンピューターで[すべてのプログラム] - [EPSON Projector] - [Epson USB Display] - [Epson USB Display Vx.xx の設定]の順にクリックして、[レイヤードウィンドウの転送]のチェックを外します。

マウスカーソルがちらつく(USBディスプレイ投写時のみ)

確認	対処法
[デスクトップ画面のマウスカーソルをきれいにする]にチェックマークが入っていますか？	コンピューターで[すべてのプログラム] - [EPSON Projector] - [Epson USB Display] - [Epson USB Display Vx.xx の設定]の順にクリックして、[デスクトップ画面のマウスカーソルをきれいにする]にチェックを入れます。(Windows 2000は対応していません。) Windows Vista/7の場合、チェックを入れるとWindows Aeroが無効になります。

映像が切れる(大きい)、小さい、アスペクトが合っていない、反転している

確認	対処法
ワイドパネルのコンピューター映像を投写していますか？ (コンピューター投写時のみ)	接続している機器の信号に応じて適切な設定にします。 ☛ [映像] - [入力解像度] p.87
Eズームで拡大したままになっていませんか？	リモコンの【戻る】ボタンを押してEズーム機能を解除します。 ☛ 「映像を部分的に拡大する (Eズーム)」 p.62
表示位置は正しく調整されていますか？	(コンピューター入力端子から入力しているアナログRGB信号の投写時のみ) リモコンの【自動調整】ボタンまたは操作パネルの【↵】ボタンを押して、表示位置を調整します。 表示位置は環境設定メニューからも調整できます。 ☛ [映像] - [表示位置] p.87
デュアルディスプレイの設定をしていませんか？ (コンピューター投写時のみ)	接続しているコンピューターのコントロールパネルの[画面のプロパティ]でデュアルディスプレイの設定をしていると、コンピューター画面の映像が半分くらいしか投写されません。コンピューター画面の映像をすべて投写するときは、デュアルディスプレイの設定を解除します。 ☛ コンピューターのビデオドライバーの取扱説明書
解像度の選択は正しいですか？ (コンピューター投写時のみ)	本機に対応する信号にコンピューターを合わせてください。 ☛ 「対応解像度一覧」 p.129 ☛ コンピューターの取扱説明書など
設置モードは正しいですか？	設置状況に合わせて、設置モードを[フロント][フロント・天吊り][リア][リア・天吊り]から設定します。 ☛ [拡張設定] - [設置モード] p.90 ☛ 「いろいろな設置方法」 p.20

色合いが違う

確認	対処法
入力信号の設定が接続機器の信号と合っていますか？	以下のとおり接続している機器の信号に応じて適切な設定にします。 <ul style="list-style-type: none"> • コンピューター入力端子に接続した機器の映像のとき ☛ [映像] - [入力信号方式] p.87 • ビデオ入力端子に接続した機器の映像のとき ☛ [映像] - [ビデオ信号方式] p.87

確認	対処法
映像の明るさは正しく調整されていますか？	環境設定メニューの[明るさ]を調整してください。 ☛ [画質調整] - [明るさ] p.86
ケーブル類が正しく接続されていますか？	投写に必要なケーブルが確実に接続されているか確認します。 ケーブルが断線・接触不良を起こしていないか確認します。 ☛ 「接続する」 p.23
コントラスト▶▶は正しく調整されていますか？	環境設定メニューの[コントラスト]を調整してください。 ☛ [画質調整] - [コントラスト] p.86
適切なカラー調整に設定されていますか？	環境設定メニューの[ガンマ]、[RGB]、[RGBCMY]を調整してください。 ☛ [画質調整] - [アドバンスト] p.86 ☛ 「画質を調整する」 p.41
色の濃さ、色合いは正しく調整されていますか？ (ビデオ機器投写時のみ)	環境設定メニューの[色の濃さ]、[色合い]を調整してください。 ☛ [画質調整] - [色の濃さ]、[色合い] p.86

暗い

確認	対処法
映像の明るさは正しく設定されていますか？	環境設定メニューから[明るさ]や[節電モード]を設定してください。 ☛ [画質調整] - [明るさ] p.86 ☛ [設定] - [節電モード] p.89
コントラスト▶▶は正しく調整されていますか？	環境設定メニューから[コントラスト]を調整してください。 ☛ [画質調整] - [コントラスト] p.86
ランプの交換時期ではありませんか？	ランプの交換時期が近づくと映像が暗くなったり、色合いが悪くなります。新しいランプと交換してください。 ☛ 「ランプの交換」 p.119

投写開始時のトラブル

電源が入らない

確認	対処法
【⏻】ボタンを押しましたか？	【⏻】ボタンを押して電源を入れます。
インジケーターがすべて消灯していませんか？	電源コードが正しく接続されていない、または電気が供給されていません。 電源コードを抜いて差し直してください。 ☛「設置から投写までの流れ」 p.30 または、電気が供給されるようにブレーカーなどを確認してください。
電源コードを触ると、インジケーターが点いたり消えたりしませんか？	電源コードが接触不良を起こしているか、電源コードが故障している可能性があります。電源コードを差し直してください。それでも直らないときは、ご使用をやめ電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。 ☛『 お問い合わせ先 』
[操作ボタンロック]が[全ロック]になっていませんか？	リモコンの【⏻】ボタンを押します。[操作ボタンロック]を働かせないときは設定を[オフ]にしてください。 ☛ [設定] - [操作ボタンロック] p.89
リモコン受光部の設定は正しいですか？	環境設定メニューの[リモコン受光部]の設定を確認してください。 ☛ [設定] - [リモコン受光部] p.89

その他のトラブル

音が出ない、小さすぎる

確認	対処法
オーディオケーブルは正しく接続されていますか？	音声入力端子からケーブルを抜いて差し直してください。
プロジェクターの音量調整が最小になっていませんか？	聞こえる音量に調整してください。 ☛ [設定] - [音量] p.89 ☛ 「音量を調整する」 p.41
コンピューターまたは映像機器の音量調整が最小になっていませんか？	聞こえる音量に調整してください。

確認	対処法
AVミュートの状態になっていませんか？	リモコンの【AVミュート】ボタンを押してAVミュートを解除します。 ☛「映像と音声を一時的に消す（AVミュート）」p.60
オーディオケーブルの仕様は「抵抗なし」となっていますか？	市販のオーディオケーブルを使う場合は「抵抗なし」と表記されているものをお使いください。
HDMIケーブルで接続していますか？	HDMIケーブルで接続していて音声が出ないときは、接続先の機器の設定をPCM出力にしてください。
[音声をプロジェクターで出力する]にチェックマークが入っていますか？ (USBディスプレイ投写時のみ)	コンピューターで[すべてのプログラム] - [EPSON Projector] - [Epson USB Display] - [Epson USB Display Vx.xx の設定]で、[音声をプロジェクターで出力する]にチェックを入れます。

リモコンで操作できない

確認	対処法
リモコンの発光部を本機のリモコン受光部に向けて操作していますか？	リモコン受光部に向かって操作してください。 ☛「リモコンの操作可能範囲」p.18
本機から離れすぎていませんか？	操作可能距離は、約6mです。 ☛「リモコンの操作可能範囲」p.18
リモコン受光部に直射日光や蛍光灯の強い光が当たっていませんか？	強い光などがリモコン受光部に当たる場所を避けて設置してください。または、環境設定メニューの[リモコン受光部]で光の影響を受けている方の受光部を[オフ]にしてください。 ☛ [設定] - [リモコン受光部] p.89
[リモコン受光部]の設定は正しいですか？	環境設定メニューの[リモコン受光部]の設定を確認してください。 ☛ [設定] - [リモコン受光部] p.89
乾電池が消耗していたり、乾電池の向きを間違えてセットしていませんか？	新しい乾電池を正しい向きにセットします。 ☛「リモコンの電池交換」p.17
マルチスクリーンカラーアジャストメント機能で色差補正をするとき、操作したいプロジェクターのプロジェクターIDを指定していますか？	【ID】ボタンを押しながら、操作対象プロジェクターのIDと同じ数字のボタンを押します。 ☛「IDを設定してリモコンを使用する」p.64

メッセージやメニューの言語を変更したい

確認	対処法
言語の設定を変更します。	環境設定メニューの言語で目的の言語を選択してください。 ☛ [拡張設定] - [言語] p.90

プロジェクターに異常が起きてもメール通知されない

確認	対処法
[待機モード]を[通信オン]に設定していますか？	本機がスタンバイ状態のときもメール通知機能を使うためには、環境設定メニューの[待機モード]を[通信オン]に設定します。 ☛ [拡張設定] - [待機モード] p.90
致命的な異常が発生し、本機が瞬時に起動停止状態になっていませんか？	瞬時に起動停止したときはメール送信できません。 本機を確認しても異常状態が復帰しないときは、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先に修理を依頼してください。 ☛ 『お問い合わせ先』
本機に電源が供給されていますか？	本機が設置されている地域が停電になっていたり、本機の電源を取っているコンセントのブレーカーが切れていないか確認してください。
環境設定メニューでメール通知機能が正しく設定されていますか？	異常通知のメールは環境設定メニューの[メール]の設定に従って発信されます。正しく設定されているか確認してください。 ☛ 「メールメニュー」 p.95

スライドショーで画像ファイル名が正しく表示されない

確認	対処法
ファイル名が長すぎませんか？	ファイル名に使用できる文字数は8文字までです。それより長いファイル名は、後半を省略して表示します。
ファイル名に2バイト文字が使われていませんか？	ファイル名に使用できる文字は英数字と記号のみです。それ以外の文字は「?」に置き換えて表示します。

Webブラウザを使って設定を変更できない

確認	対処法
ユーザーID、パスワードは正しいですか？	ユーザーIDには「EPSONWEB」を入力します。変更はできません。パスワードの設定が無効でも、ユーザーIDを入力します。 パスワードは、Web制御パスワードで設定した文字を入力します。パスワードの初期設定は「admin」です。

番号を確認して以下のとおり対処してください。問題が解決しない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせいただくか、次に記載の連絡先にお問い合わせください。

☛ 『お問い合わせ先』

Event ID	要因	対処法
0432 0435	EasyMP Network Projectionの起動に失敗しました。	プロジェクターを再起動してください。
0434 0481 0482 0485	ネットワークの通信状態が不安定です。	ネットワークの通信状態を確認して、しばらくしてから再接続してください。
0433	転送された画像を再生できません。	EasyMP Network Projectionを再起動してください。
0484	コンピューターから通信が切断されました。	
04FE	EasyMP Network Projectionが予期せず終了しました。	ネットワークの通信状態を確認して、プロジェクターを再起動してください。
04FF	プロジェクターにシステムエラーが発生しました。	プロジェクターを再起動してください。
0894	不正なアクセスポイントに接続したため通信が切断されました。	ネットワーク管理者に確認して指示に従ってください。
0898	DHCPの取得に失敗しました。	DHCPサーバーが正しく動作しているか、またはLANケーブルが正しく接続されているか確認してください。DHCPを使用しないときは、DHCPの設定をオフにしてください。 ☛「ネットワークメニュー」 p.92
0899	その他、接続に関するエラー	プロジェクターまたはEasyMP Network Projectionを再起動しても問題が解決しない場合は、次に記載の連絡先にお問い合わせください。 ☛『お問い合わせ先』



メンテナンス

ここでは、メンテナンス方法など、本機を今後も長くお使いいただくための補足的な知識について説明しています。

本機が汚れたり、映像の映りが悪くなったら掃除をしてください。

注意

掃除をするときは、本機の電源をオフにしてから行ってください。感電の原因となることがあります。

本機の掃除

本機の汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。

汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に布をひたしてかたくしぼり、軽くふき取ってから乾いた布で仕上げてください。

注意

ワックス、ベンジン、シンナーなど揮発性のものは使わないでください。ケースが変質、変色することがあります。

レンズの掃除

レンズの汚れは、市販のメガネ拭きなどで軽くふき取ってください。

警告

レンズに付着したゴミ・ホコリの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。本機内部ではランプが高温になっているため、引火による火災の原因となります。

注意

レンズの表面は傷つきやすいので、かたいものでこすったり、たたいたりしないでください。

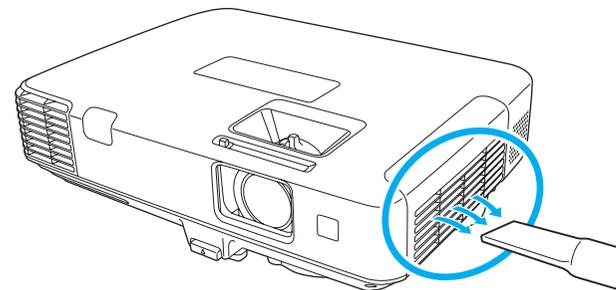
エアフィルターの掃除

下記のメッセージが表示されたらエアフィルターや吸気口の掃除をしてください。

「内部温度が上昇しています。吸排気口付近の障害物を取り除き、エアフィルターの掃除、または交換をしてください。」

注意

- エアフィルターにホコリがたまると、本機内部の温度が上昇して故障や光学部品の早期劣化の原因となります。メッセージが表示されたらすみやかにエアフィルターを掃除してください。
- エアフィルターは水洗いできません。洗剤や溶剤も使わないでください。



- 掃除をしても頻繁にメッセージが表示される場合は交換時期です。新しいエアフィルターに交換してください。
 - 「エアフィルターの交換」 p.122
- 約3ヶ月に一度は掃除を行うことをお奨めします。ホコリの多い環境でお使いの場合は、より短い周期で掃除を行ってください。

ここでは、ランプ、エアフィルターの交換方法について説明します。

ランプの交換

ランプの交換時期

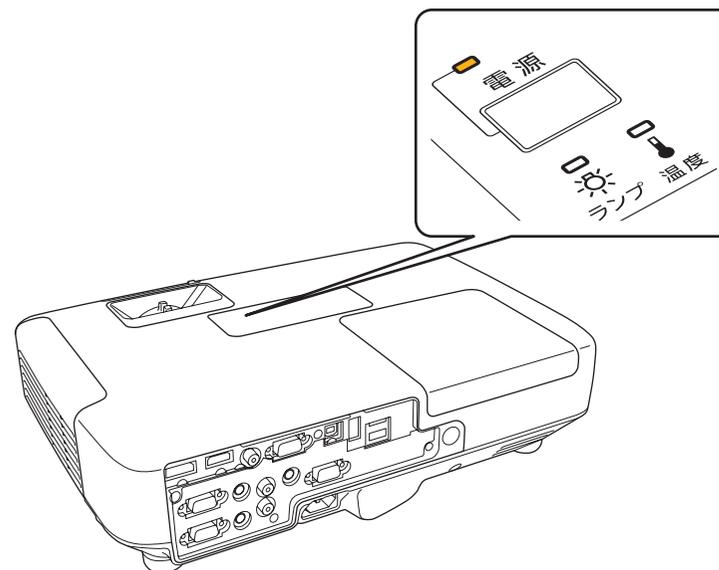
次の場合は、ランプを交換してください。

- 以下のメッセージが表示されたとき
「ランプの交換時期です。交換用ランプの情報につきましては取扱販売店にお問い合わせいただくか、www.epson.jpをご覧ください。」



メッセージは30秒経過すると消えます。

- ランプインジケータがオレンジ色に点滅したとき



- 初期に比べ、明るさや画質が落ちたとき

注意

- 交換メッセージは、初期の明るさや画質を維持するため、次の時間で表示されます。
[節電モード]：[オフ]で使い続けた場合：約2400時間
[節電モード]：[オン]で使い続けた場合：約3900時間
☛ [設定]-[節電モード] p.89
- 交換時期を超えて使い続けると、ランプが破裂する可能性が一段と高くなります。ランプ交換のメッセージが表示されたら、まだランプが点灯する状態でも、すみやかに新しいランプと交換してください。
- 電源オフ直後に電源をオンにする操作を繰り返さないでください。頻繁に電源オフ/オンを繰り返すと、ランプ寿命が短くなるおそれがあります。
- 個々のランプの特性や使用条件などで、メッセージが表示される前に暗くなったり、点灯しなくなるものがあります。交換用ランプをあらかじめ準備しておくことをお勧めします。

ランプの交換方法

本機は天吊り設置したままでもランプの交換ができます。

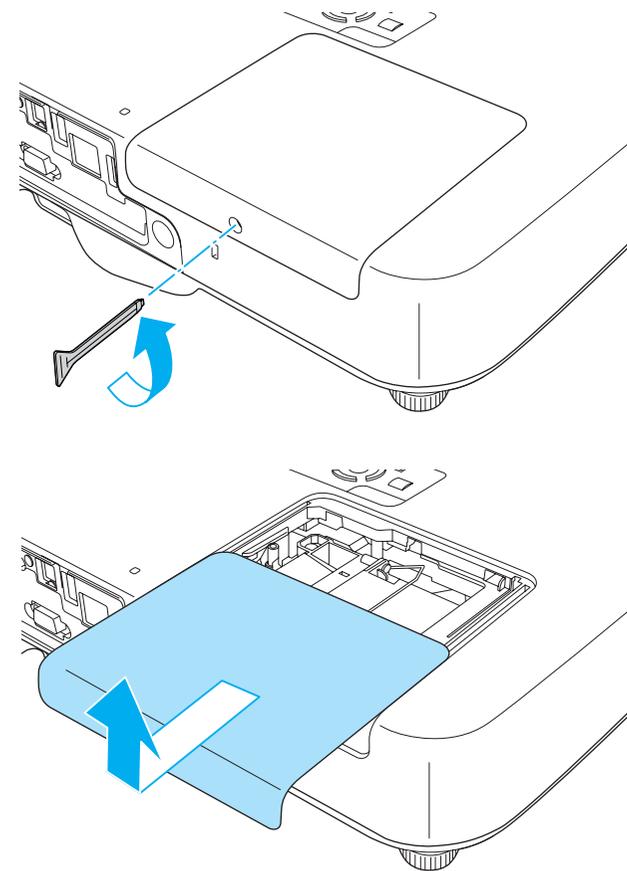
⚠ 警告

- ランプが点灯しなくなり交換するときは、ランプが割れている可能性があります。本機を天吊り設置していてランプ交換を行うときは、ランプが割れていることを想定しランプカバーの真下に立たずに横から作業してください。また、ランプカバーをそっと取り外してください。ランプカバーを取り外す際に細かいガラス破片が落ちてくる可能性があります。けがの原因となります。万一、目や口にガラス破片が入ったときは、直ちに医師の診察を受けてください。
- ランプの分解・改造は、絶対にしないでください。分解・改造したランプをセットして本機を使用すると、火災・感電・事故の原因となります。

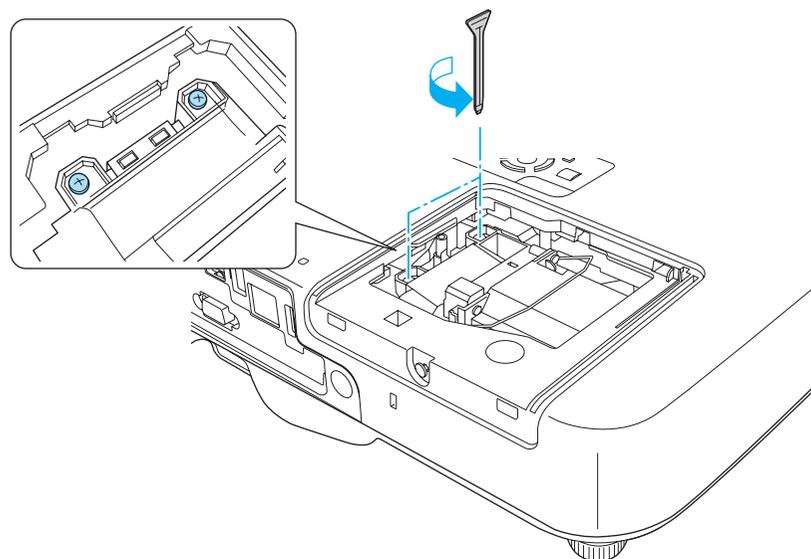
⚠ 注意

ランプが十分冷えてからランプカバーを外してください。熱で、やけど・けがの原因となることがあります。ランプが十分冷えるには、電源を切ってから約1時間必要です。

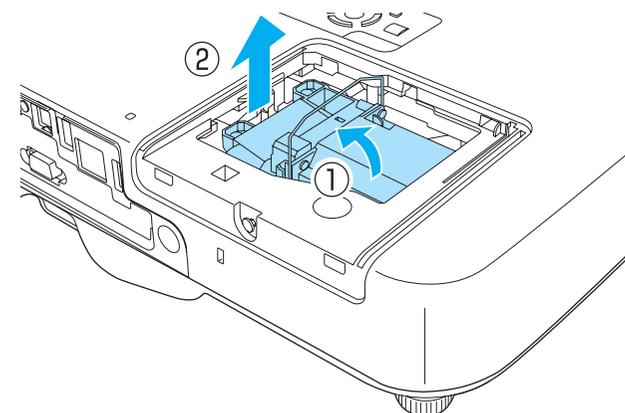
- 1** 本機の電源を切り、「ピッピッ」と終了音が鳴ってから電源コードを外します。
- 2** ランプが十分冷えてから、本機上面のランプカバーを外します。
ランプカバーの固定ネジを交換用ランプに同梱のドライバー、または+のドライバーでゆるめます。ランプカバーをまっすぐスライドさせて、持ち上げて外します。



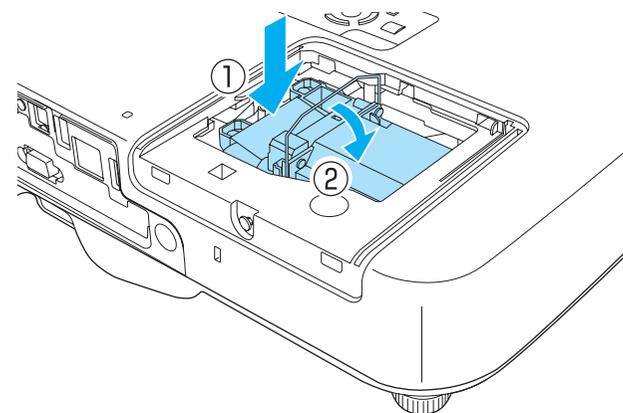
- 3** ランプ固定ネジ2本をゆるめます。

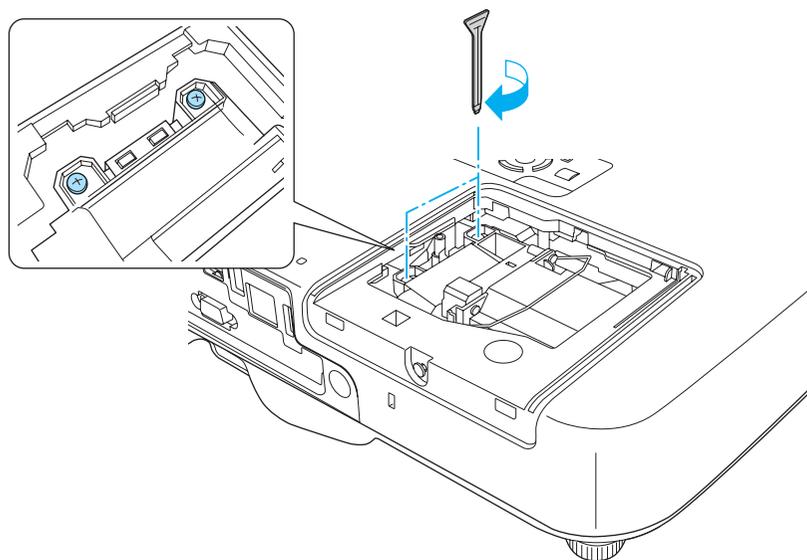


- 4** 古いランプを取っ手をつまんで取り出します。
ランプが割れているときは、お買い上げの販売店または「お問い合わせ先」に記載の連絡先にご相談ください。
- ☛ [『お問い合わせ先』](#)

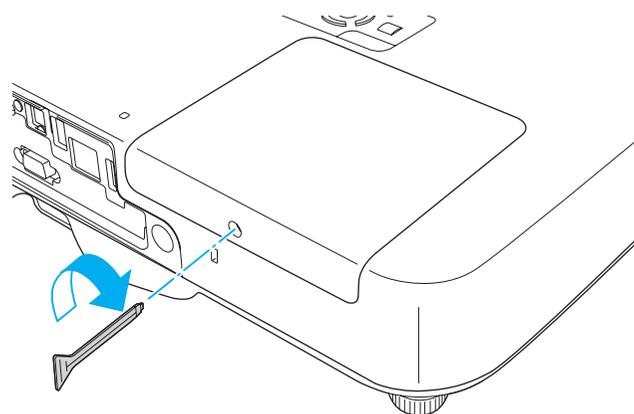


- 5** 新しいランプを取り付けます。
ランプを収納部の形に合う向きでガイドレールに沿って入れ、しっかりと押し込み、ランプ固定ネジ2本を締めます。





6 ランプカバーを取り付けます。



注意

- ランプは確実に取り付けてください。本機は安全のため、ランプカバーを外すと自動的に電源がオフになります。ランプやランプカバーの取り付けが不十分だと電源が入りません。
- ランプには水銀が含まれています。使用済みのランプは、地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。会社等でお使いのときは、会社の廃棄ルールに従ってください。

ランプ点灯時間の初期化

本機はランプ点灯時間を記憶し、累計が交換時間に達するとメッセージやインジケータでお知らせします。ランプ交換を実施した後は、環境設定メニューでランプ点灯時間の累計を初期化してください。

☛ 「初期化メニュー」 p.99



ランプ点灯時間の初期化は、ランプを交換したとき以外には行わないでください。ランプの交換時期が正しく表示されなくなります。

エアフィルターの交換

エアフィルターの交換時期

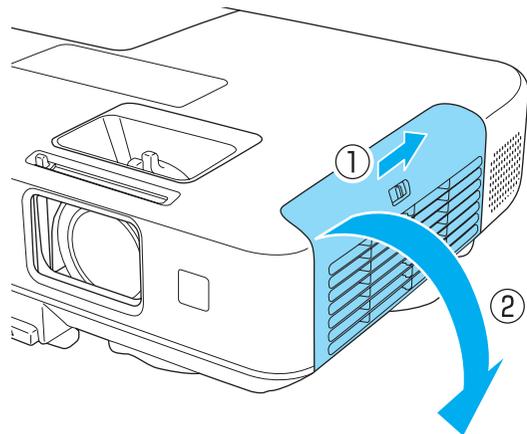
エアフィルターの掃除をしても頻繁にメッセージが表示されるときは、エアフィルターを交換してください。

エアフィルターの交換方法

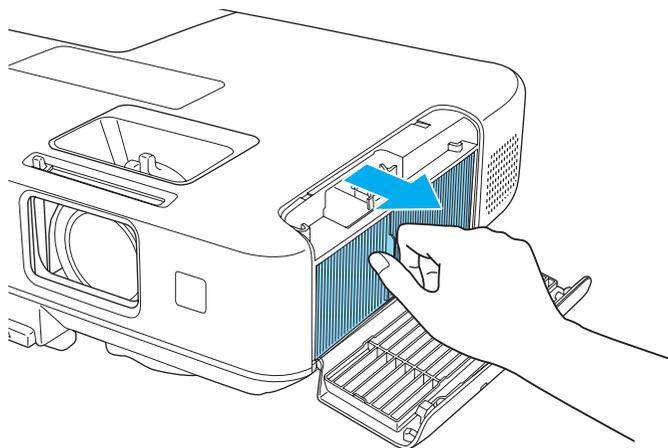
本機は天吊り設置したままでもエアフィルターの交換ができます。

1 本機の電源を切り、「ピッピッ」と終了音が鳴ってから電源コードを外します。

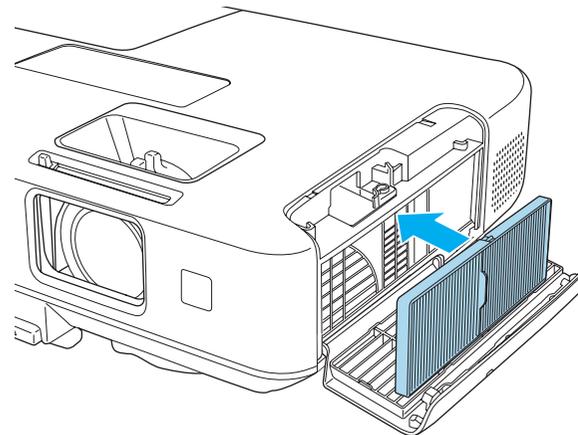
2 エアフィルターカバーを開けます。
エアフィルターカバー操作つまみを横に動かして、フィルターカバーを開けます。



3 エアフィルターを取り外します。
エアフィルター中央の突起をつまみ、まっすぐに取り出します。



4 新しいエアフィルターを取り付けます。
カチッと音がするまで押し込みます。



5 エアフィルターカバーを閉めます。

 使用済みのエアフィルターは、地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。会社等でお使いのときは、会社の廃棄ルールに従ってください。
枠部分の材質：ポリプロピレン
フィルター部分の材質：ポリプロピレン



付録

下記のオプション・消耗品を用意しています。用途に合わせてお買い求めください。これらのオプション類は2012年2月現在のものです。予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

オプション

インタラクティブユニット ELPIU02 投写面上でコンピューター画面の操作をするときに使います。
書画カメラ ELPDC06/ELPDC11 書籍やOHP原稿、スライドを投写するときなどに使います。
ソフトキャリングケース ELPKS65 本機の持ち運びに便利なソフトケースです。
携帯スクリーン(50型) ELPSC32 持ち運びに便利なコンパクトスクリーンです。(アスペクト比▶▶4:3)
60型スクリーン ELPSC27 80型スクリーン ELPSC28 100型スクリーン ELPSC29 携帯型ロールスクリーンです。(アスペクト比4:3)
70型スクリーン ELPSC23 80型スクリーン ELPSC24 90型スクリーン ELPSC25 携帯型ロールスクリーンです。(アスペクト比16:10)
53型スクリーン ELPSC30 64型スクリーン ELPSC31 携帯型マグネットスクリーンです。(アスペクト比4:3)
80型スクリーン ELPSC26 マルチアスペクトスクリーンです。
コンピューターケーブル ELPKC02 (ミニD-Sub 15pin/ミニD-Sub 15pin用1.8m) 製品同梱のコンピューターケーブルと同等品です。

コンピューターケーブル ELPKC09 (ミニD-Sub 15pin/ミニD-Sub 15pin用 3m) コンピューターケーブル ELPKC10 (ミニD-Sub 15pin/ミニD-Sub 15pin用 20m) 製品同梱のコンピューターケーブルでは短いときの延長ケーブルです。
D端子ケーブル ELPKC22 (ミニD-Sub 15pin/D端子用 3m) 映像機器のD端子と接続するときに使います。
コンポーネントビデオケーブル ELPKC19 (ミニD-Sub 15pin/RCAオス×3用 3m) コンポーネントビデオ▶▶▶を投写するときに使います。
クイックワイヤレス用USBキー ELPAP09 本機とWindows搭載のコンピューターを1対1で即接続して投写するときに使います。
パイプ450(450mm)※ ELPFP13 パイプ700(700mm)※ ELPFP14 高天井および化粧天井に取り付けるときに使います。
天吊り金具※ ELPMB23 本機を天井に取り付けるときに使います。

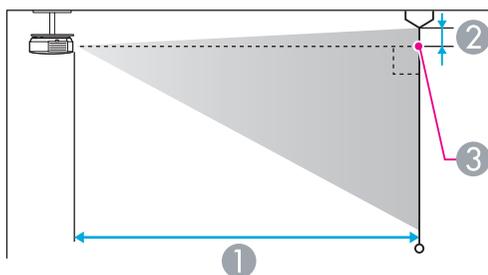
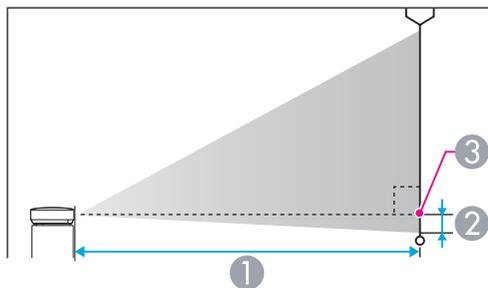
※ 天吊り設置には特別な技術が必要となります。お買い求めいただいた販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

☛ [『お問い合わせ先』](#)

消耗品

交換用ランプ ELPLP75 使用済みランプと交換します。
エアフィルター ELPAF41 使用済みエアフィルターと交換します。

EB-1960/EB-1950の投写距離表



- ① 投写距離
- ② レンズ中心からスクリーン下端
(天吊りの場合はスクリーン上端)までの高さ
- ③ レンズ中心

単位：cm

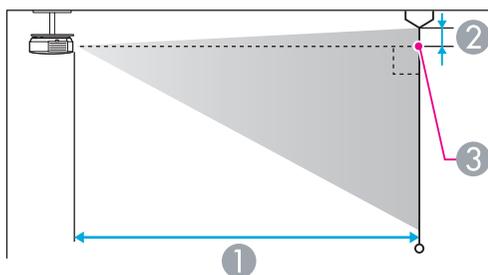
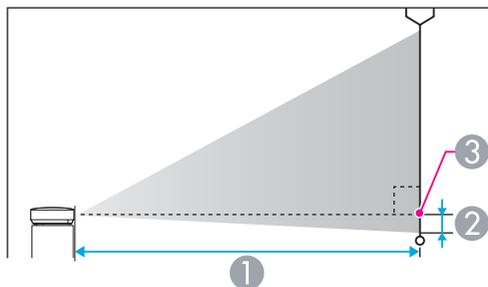
4:3スクリーンサイズ		① 最短(ワイド)~最長(テレ)	②
30型	61x46	83 ~ 136	-5
40型	81x61	111 ~ 182	-6
50型	100x76	140 ~ 229	-8

4:3スクリーンサイズ		① 最短(ワイド)~最長(テレ)	②
60型	120x91	169 ~ 275	-10
80型	160x120	226 ~ 368	-13
100型	200x150	283 ~ 460	-16
150型	300x230	426 ~ 692	-24
200型	410x300	568 ~ 923	-32
250型	500x380	711 ~ 1155	-40
300型	610x457	854 ~ 1386	-48

単位：cm

16:9スクリーンサイズ		① 最短(ワイド)~最長(テレ)	②
30型	66x37	91 ~ 149	+1
40型	89x50	122 ~ 199	+1
50型	110x62	153 ~ 249	+2
60型	130x75	184 ~ 300	+2
80型	180x100	246 ~ 401	+3
100型	220x120	308 ~ 502	+3
150型	330x190	464 ~ 754	+5
200型	440x250	619 ~ 1006	+7
250型	550x310	775 ~ 1258	+9
275型	609x343	853 ~ 1384	+10

EB-1940Wの投写距離表



- ① 投写距離
- ② レンズ中心からスクリーン下端
(天吊りの場合はスクリーン上端)までの高さ
- ③ レンズ中心

単位：cm

4:3スクリーンサイズ		①	②
		最短(ワイド)~最長(テレ)	
30型	61x46	100 ~ 164	-1
40型	81x61	134 ~ 219	-2
50型	100x76	169 ~ 275	-2

4:3スクリーンサイズ		①	②
		最短(ワイド)~最長(テレ)	
60型	120x91	203 ~ 331	-2
80型	160x120	271 ~ 442	-3
100型	200x150	340 ~ 553	-4
120型	244x183	408 ~ 664	-5
150型	300x230	511 ~ 831	-6
200型	410x300	682 ~ 1108	-8
250型	500x380	854 ~ 1386	-10

単位：cm

16:9スクリーンサイズ		①	②
		最短(ワイド)~最長(テレ)	
30型	66x37	91 ~ 149	+1
40型	89x50	122 ~ 199	+1
50型	110x62	153 ~ 249	+2
60型	130x75	184 ~ 300	+2
80型	180x100	246 ~ 401	+3
100型	220x120	308 ~ 502	+3
150型	330x190	464 ~ 754	+5
200型	440x250	619 ~ 1006	+7
250型	550x310	775 ~ 1258	+9
275型	609x343	853 ~ 1384	+10

単位：cm

16:10スクリーンサイズ		①	②
		最短(ワイド)~最長(テレ)	
30型	64x40	88 ~ 144	-1

16:10スクリーンサイズ		①	②
		最短(ワイド)~最長(テレ)	
40型	86x54	118 ~ 193	-1
50型	110x67	149 ~ 243	-2
60型	130x81	179 ~ 292	-2
80型	170x110	239 ~ 390	-3
100型	220x130	300 ~ 488	-3
150型	320x200	451 ~ 733	-5
200型	430x270	603 ~ 979	-7
250型	540x340	754 ~ 1224	-8
280型	605x377	845 ~ 1371	-9

対応解像度

コンピューター映像(アナログRGB)

信号	リフレッシュレート(Hz)	解像度(ドット)
VGA	60/72/75/85	640x480
SVGA	56/60/72/75/85	800x600
XGA	60/70/75/85	1024x768
WXGA	60	1280x768
	60	1366x768
	60/75/85	1280x800
WXGA+	60/75/85	1440x900
WXGA++	60	1600x900
SXGA	70/75/85	1152x864
	60/75/85	1280x1024
	60/75/85	1280x960
SXGA+	60/75	1400x1050
WSXGA+※1,2	60	1680x1050
UXGA	60	1600x1200
MAC13"	67	640x480
MAC16"	75	832x624
MAC19"	75	1024x768
	59	1024x768

信号	リフレッシュレート(Hz)	解像度(ドット)
MAC21"	75	1152x870

※1 EB-1940Wのみ

※2 環境設定メニューの[入力解像度]で[ワイド]を選択しているときに限り対応します。

上記以外の信号が入力された場合でも、映像を投写できることがあります。ただし、この場合、機能が制限されることがあります。

コンポーネントビデオ

信号	リフレッシュレート(Hz)	解像度(ドット)
SDTV(480i)	60	720x480
SDTV(576i)	50	720x576
SDTV(480p)	60	720x480
SDTV(576p)	50	720x576
HDTV(720p)	50/60	1280x720
HDTV(1080i)	50/60	1920x1080

コンポジットビデオ

信号	リフレッシュレート(Hz)	解像度(ドット)
TV(NTSC)	60	720x480
TV(SECAM)	50	720x576
TV(PAL)	50/60	720x576

HDMI入力端子、DisplayPort入力端子からの入力信号

信号	リフレッシュレート(Hz)	解像度(ドット)
VGA	60	640x480

信号	リフレッシュレート(Hz)	解像度(ドット)
SVGA	60	800x600
XGA	60	1024x768
WXGA	60	1280x800
	60	1280x768※1
	60	1366x768
WXGA+	60	1440x900
WXGA++	60	1600x900
WSXGA+	60	1680x1050
SXGA	60	1280x960
	60	1280x1024
SXGA+	60	1400x1050
UXGA	60	1600x1200
SDTV (480i※2/480p)	60	720x480
SDTV (576i※2/576p)	50	720x576
HDTV(720p)	50/60	1280x720
HDTV(1080i)	50/60	1920x1080
HDTV(1080p)	24※2/30※2/50/60	1920x1080

※1 DisplayPort 入力時のみ

※2 HDMI 入力時のみ

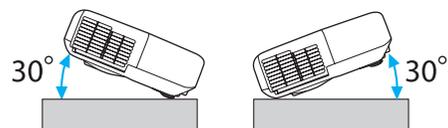
本機仕様

商品名	EB-1960	EB-1950	EB-1940W
外形サイズ	幅377x高さ108x奥行271mm		
液晶パネルサイズ	0.63型		0.59型ワイド
表示方式	ポリシリコンTFT アクティブマトリクス		
画素数	786,432個 XGA(横1024x縦768ドット)x3		1,024,000個 XGA(横1280x縦800ドット)x3
フォーカス調整	手動		
ズーム調整	1-1.6		
ランプ	UHEランプ 定格245W 型番：ELPLP75		
音声最大出力	10W		
スピーカー	1個		
電源	100-240V AC±10% 50/60Hz 3.6-1.6A		
消費電力	100-120Vエリア	定格消費電力：353W 待機時消費電力(通信オン)：3.8W 待機時消費電力(通信オフ)：0.36W	
	220-240Vエリア	定格消費電力：337W 待機時消費電力(通信オン)：4.3W 待機時消費電力(通信オフ)：0.44W	
動作高度	標高 0～2286m		
動作温度範囲	5～+35℃(結露しないこと)		
保存温度範囲	-10～+60℃(結露しないこと)		
質量	約3.7kg		

接続端子	コンピューター1入力端子	1系統	ミニD-Sub 15pin(メス)
	コンピューター2入力端子	1系統	ミニD-Sub 15pin(メス)
	DisplayPort入力端子	1系統	DsisplayPort
	ビデオ入力端子	1系統	RCAピンジャック
	音声入力1端子	1系統	ステレオミニピンジャック(3.5Φ)
	音声入力2端子	1系統	ステレオミニピンジャック(3.5Φ)
	音声入力(L-R)端子	1系統	RCAピンジャック×2(L-R)
	音声出力端子	1系統	ステレオミニピンジャック(3.5Φ)
	モニター出力端子	1系統	ミニD-Sub 15pin(メス)
	HDMI入力端子	1系統	HDMI(音声はPCMにのみ対応)
	USB(TypeA)端子※1	1系統	USBコネクタ(Aタイプ)
	USB(TypeB)端子	1系統	USBコネクタ(Bタイプ)
	LAN端子	1系統	RJ-45
	RS-232C端子	1系統	ミニD-Sub 9pin(オス)

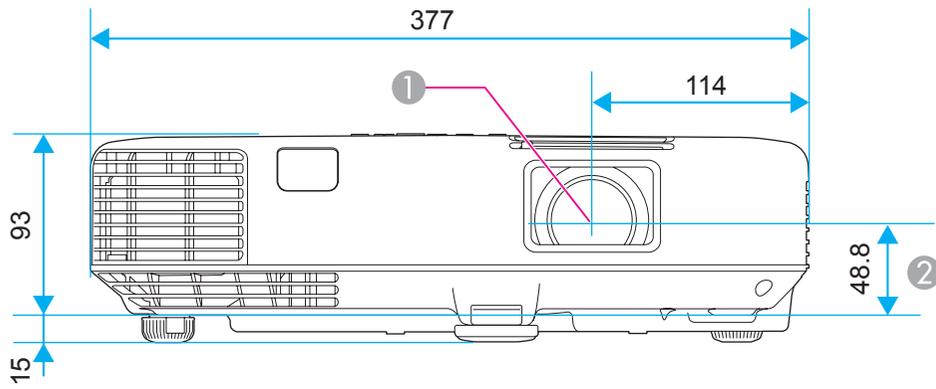
※1 USB2.0に対応しています。ただし、USB対応機器すべての動作を保証するものではありません。

傾斜角度

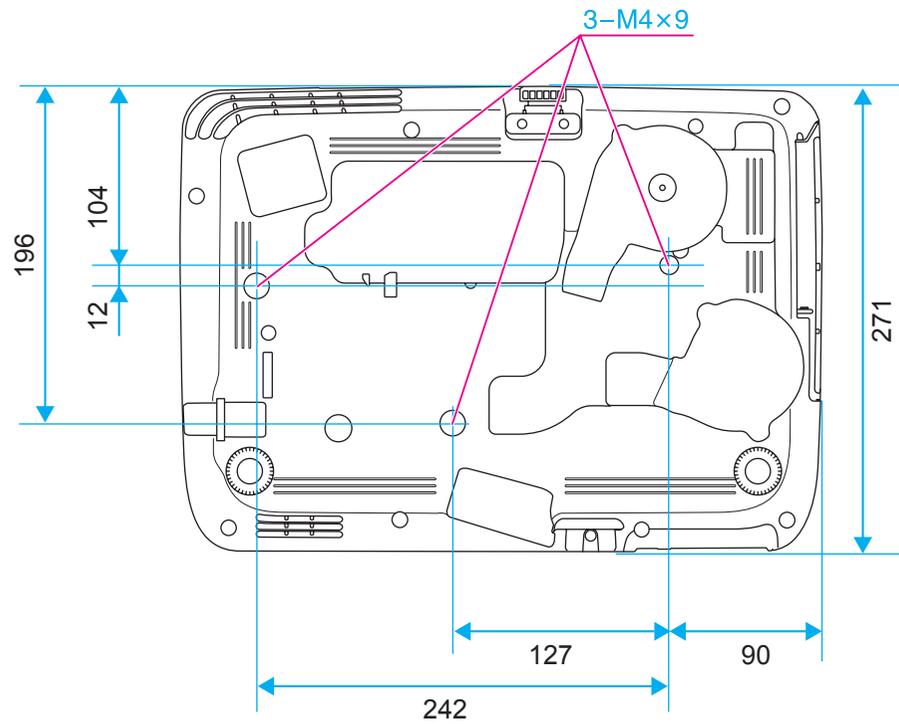


30°以上傾けてお使いになると、故障や事故の原因となります。

単位：mm



- ① レンズ中心
- ② レンズ中心から天吊り固定部までの寸法



本書で使用している用語で、本文中に説明がないものや難しいものを簡単に説明します。詳細は市販の書籍などでご確認ください。

AMX Device Discovery	AMX Device Discoveryとは、AMX社のコントロールシステムとその対象機器の構成を容易にする、AMX社の提唱する技術です。エプソンでは、その技術のプロトコルを導入して、そのプロトコル機能を有効(ON)にできる設定を用意しました。詳細に関しては、AMX社のWebサイトを参照してください。 URL http://www.amx.com/
DHCP	Dynamic Host Configuration Protocolの略で、ネットワークに接続する機器に、 IPアドレス を自動的に割り当てるプロトコルのことです。
DICOM	Digital Imaging and Communication in Medicineの略称です。医用画像の画像規格および通信プロトコルを定義した世界標準規格です。
HDCP	High-bandwidth Digital Content Protectionの略でDVIやHDMI端子を経由して送受信するデジタル信号を暗号化し、不正なコピーを防止する著作権保護技術です。本機のHDMI入力端子、DisplayPort入力端子はHDCPに対応しているためHDCP技術で保護されたデジタル映像を投写できます。ただし、HDCPの規格変更等が行われたときは、変更後の規格で保護されたデジタル映像を投写できなくなる場合があります。
HDTV	High-Definition Televisionの略で、次の条件を満たす高精細なシステムに適用されます。 <ul style="list-style-type: none"> • 垂直解像度720p、1080i以上(pはプログレッシブ走査、iはインターレース走査) • 画面のアスペクト比は16:9
IPアドレス	ネットワークに接続されたコンピューターを識別するための数字のことです。
SDTV	Standard Definition Televisionの略で、 HDTV の条件を満たさない標準テレビ放送のことです。
SNMP	Simple Network Management Protocolの略で、TCP/IPネットワークにおいてルーターやコンピューター、端末などネットワークに接続された通信機器をネットワーク経由で監視・制御するためのプロトコルです。
sRGB	各画像装置が表現する色をコンピューターのオペレーティングシステム(OS)やインターネットで簡単に扱うために規定された色空間に関する国際標準です。接続している機器にsRGBモードがある場合、本機と接続機器の両方ともsRGBに設定します。
SVGA	画面サイズの規格で横800ドットx縦600ドットのもの呼びます。
SXGA	画面サイズの規格で横1,280ドットx縦1,024ドットのもの呼びます。
VGA	画面サイズの規格で横640ドットx縦480ドットのもの呼びます。
XGA	画面サイズの規格で横1,024ドットx縦768ドットのもの呼びます。
アスペクト比	画面の横と縦の比率をいいます。横：縦の比率が16：9の、HDTVなどの画面をワイド画面といいます。SDTVや、一般的なコンピューターのディスプレイのアスペクト比は4：3です。
アドホックモード	無線LANの通信方式の一つで、アクセスポイントを経由せずに機器同士が直接通信を行う方式です。
インターレース	1つの画面を作り出す情報を上から下へ1つ飛ばしに伝送します。1フレームの表示が1ラインおきとなるため、ちらつき(フリッカー)が出やすくなります。

ゲートウェイアドレス	サブネットマスク▶▶によって分割したネットワーク(サブネット)を超えて通信するためのサーバー(ルーター)のことです。
コントラスト	色の明暗の差を強くしたり弱くしたりすることにより、文字や絵がハッキリ見えたり、ソフトに見えたりすることです。この調整をコントラストの調整といいます。
コンポーネントビデオ	映像信号を、輝度信号(Y)や青色差信号(CbまたはPb)と赤色差信号(CrまたはPr)に分離して伝送する方式です。
コンジットビデオ	映像信号の輝度信号や色信号を、1本のケーブルで伝送する方式です。
サブネットマスク	IPアドレスから、分割したネットワーク(サブネット)のネットワークアドレスに使用するビット数を定義する数値のことです。
同期	コンピューターから出力される信号は、ある決まった周波数で出力されます。その周波数にプロジェクターの周波数を合わせないときれいな映像になりません。信号の位相(山のずれ)を合わせることを同期を合わせるといいます。同期が合っていないと映像にちらつき、ぼやけ、横方向のノイズが出ます。
トラッキング	コンピューターから出力される信号は、ある決まった周波数で出力されます。その周波数に本機の周波数を合わせないときれいな映像になりません。信号の周波数(山の数)を合わせることをトラッキングを合わせるといいます。トラッキングが合っていないと映像に幅広の縦の縞模様が出ます。
トラップIPアドレス	SNMPで異常を通知する場合の、通知先のコンピューターのIPアドレス▶▶のことです。
プログレッシブ	1つの画面を作り出す情報を一度で映し出して1フレーム分の映像を表示します。そのため走査線の本数が同じでもインターレースと比べて時間あたりの情報量が2倍になるためちらつきが少ない映像になります。
リフレッシュレート	ディスプレイの発光体は、その明るさと色をごく短時間保持します。そのため発光体をリフレッシュするために1秒間に何度も画像を走査しなければなりません。その速度をリフレッシュレートと呼び、ヘルツ(Hz)で表します。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしました。万が一不審な点や誤り、お気づきの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
- (4) 運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- (5) 本製品がお客様により不適當に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者(「お問い合わせ先」参照)以外の第三者により、修理、変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (6) エプソン純正品、およびエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品、交換部品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (7) 本書中のイラストや画面図は実際と異なる場合があります。

使用限定について

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認のうえ、ご判断ください。

本機を日本国外へ持ち出す場合の注意

電源ケーブルは販売国の電源仕様にに基づき同梱されています。本機を販売国以外でお使いになるときは、事前に使用する国の電源電圧や、コンセントの形状を確認し、その国の規格に適合した電源ケーブルを現地にてお求めください。

瞬低(瞬時電圧低下)基準について

本装置は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお勧めします。

JIS C 61000-3-2適合品

本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。

表記について

Microsoft® Windows® 2000 operating system

Microsoft® Windows® XP operating system

Microsoft® Windows Vista® operating system

Microsoft® Windows® 7 operating system

本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、「Windows 98」、「Windows Me」、「Windows 2000」、「Windows XP」、「Windows Vista」、「Windows 7」と表記しています。また、Windows 98、Windows Me、Windows 2000、Windows XP、Windows Vista、Windows 7を総称する場合はWindows、複数のWindowsを併記する場合はWindows 98/Me/2000/XP/Vistaのように、Windowsの表記を省略することがあります。

Mac OS X 10.3.x

Mac OS X 10.4.x

Mac OS X 10.5.x

Mac OS X 10.6.x

Mac OS X 10.7.x

本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、「Mac OS X 10.3.9」、「Mac OS X 10.4.x」、「Mac OS X 10.5.x」、「Mac OS X 10.6.x」、「Mac OS X 10.7.x」と表記しています。またこれらを総称する場合は「Mac OS X」と表記します。

商標と著作権について

IBM、DOS/V、XGAは、International Business Machines Corp.の商標または登録商標です。

Mac、Mac OS、App Storeは、Apple Inc.の商標です。

Microsoft、Windows、Windows Vista、PowerPoint、Windows ロゴは、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

The DisplayPort Certified Logo and DisplayPort Icons are Registered Trademarks of the Video Electronics Standards Association (VESA).

The word DisplayPort is a Registered Trademark of VESA in various countries around the world.

HDMIとHigh-Definition Multimedia InterfaceはHDMI Licensing LLCの商標、または登録商標です。 

PJLinkは、日本、米国、その他の国や地域における商標または登録商標です。

Foxit PDF SDK Copyright ©2011, Foxit Software Company www.foxitsoftware.com, All rights reserved.

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

©SEIKO EPSON CORPORATION 2012. All rights reserved.

数字・アルファベット

2画面設定	49
A/Vミュート	60
Crestron RoomView	79
DICOM SIM	43
DisplayPort入力端子	12
EasyMP Monitor	73
ESC/VP21	77
Eズーム	62
HDMI入力端子	12
HDMIビデオレベル	88
IPアドレス	96
Message Broadcasting	73
PJLink	78
PJLinkパスワード	94
Quick Corner	89
RoomView	79
SMTP サーバー	96
SNMP	76
sRGB	43
USB(TypeA)端子	12
USB(TypeB)端子	12
Web Remote	74

ア

明るさ	87
アスペクト	44, 89
色合い	87
色の濃さ	87
インジケーター	102
Web制御	74
Web制御パスワード	94
Webブラウザ	73

エアフィルター・吸気口の掃除	118
エアフィルターの交換時期	122
エアフィルターの交換方法	122
映像メニュー	87
オートアイリス	44, 87
オーバーヒート	103
オプション品	125
音声入力	91
温度インジケーター	102
音量	90

カ

解像度	129
拡張設定メニュー	90
各部の名称と働き	11
画像を回転	54
画質調整メニュー	86
画面サイズ	50
カラー調整	87
カラーモード	43, 87
環境設定メニュー	84
基本設定メニュー	94
繰り返し	59
ゲートウェイアドレス	95
言語	92
高地モード	91
黒板	43
故障かなと思ったら	102
コントラスト	87
コンピューター入力端子	12

サ

サブネットマスク	95
----------------	----

左右画面入替	50
シアター	43
自動タテ補正	89
自動調整	88
シャープネス	87
仕様一覧	131
情報メニュー	98
消耗品	125
書画カメラ	125
初期化メニュー	98, 99
ズームリング	11
スクリーンサイズ	126
スタートアップスクリーン	91
スポーツ	43
スライド式ヨコ補正	89
スライドショー	53, 57
スリープモード	91
静止	60
絶対色温度	87
設置モード	91
設定メニュー	89
節電モード	90
全初期化	99
全ロック	71
操作パネル	14
操作ボタンロック	71, 89
掃除	118
ソフトキーボード	93

タ

ターゲットスコープ	62
対応解像度	129
待機モード	91

台形補正	89
ダイナミック	43
ダイレクトパワーオン	91
電源端子	12
電源投入時	69
電池の交換方法	17
天吊り	20, 91
天吊り固定部	13
問い合わせコード	71
同期	88
同期情報	98
動作温度範囲	131
動作設定	91
投写距離	126
ドライブの選択	54
トラッキング	88

ナ

入力解像度	98
入力検出	14, 31
入力信号	98
入力信号方式	88
入力ソース	49, 98
ネットワーク情報	92
ネットワーク設定画面	92
ネットワークメニュー	92
ノイズリダクション	88

ハ

排気口	11
背景表示	91
パスワードプロテクト	69
パスワードプロテクトシール	70

パターン	90
パワーインジケータ	102
ビデオ信号方式	88, 98
ビデオ入力端子	12
表示位置	88
表示時間設定	59
表示順序設定	59
表示設定	59, 91
フォーカスリング	11
フォト	43
フットレバー	11
プレゼンテーション	43, 52
プログレッシブ変換	88
プロジェクターID	65, 91
プロジェクターキーワード	94
プロジェクターの設定	74
プロジェクター名	94
フロント	20, 91
フロントフット	11
ヘルプ機能	101
ポインター	61
ポインター形状	90
ポート番号	96
保存温度範囲	131
ボリュームボタン	14
ホワイトボード	43
本機の掃除	118

マ

マウスポインター	63
マルチスクリーン	64, 92
メールアドレス	96
メール通知機能	76, 96

メール通知メニュー	95
メールの見方	76
メッセージ表示	91
メニュー	84

ヤ

ユーザーボタン	90
ユーザーロゴ	67
ユーザーロゴ保護	69
有線LANメニュー	95

ラ

ランプインジケータ	102
ランプカバー	11
ランプ点灯時間	98
ランプ点灯時間の初期化	99, 122
ランプの交換時期	119
ランプの交換方法	120
リア	20, 91
リアスクリーン	20
リアフット	13
リフレッシュレート	98
リモコン	15
リモコン受光部	11, 12
レンズカバータイマー	91

ワ

ワイヤレスマウス機能	63
------------------	----